

THE LEGEND OF 1900

ピアノ・ソロ

映画「海の上のピアニスト」

DOREMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

CONTENTS

1900's Theme 【"1900" のテーマ】 — P.4

The Legend of the Pianist 【伝説のピアニスト】 — P.6

The Crisis 【ザ・クライシス】 — P.12

The Crave 【ザ・クレイヴ】 — P.14

A Goodbye to Friends 【友との別れ】 — P.17

Study for Three Hands 【3手のための練習曲】 — P.20

Playing Love 【愛を奏でて】 — P.24

A Mozart Reincarnated 【モーツァルト再来】 — P.28

Child 【チャイルド】 — P.30

1900's Madness #1 【"1900" マッドネス No.1】 — P.34

Danny's Blues 【ダニーズ・ブルース】 — P.39

Second Crisis 【セカンド・クライシス】 — P.42

Peacherine Rag 【ピーチェリン・ラグ】 — P.44

Nocturne with No Moon 【ノクターン・ウィズ・ノー・ムーン】 — P.48

Before the End 【ビフォー・ジ・エンド】 — P.50

Playing Love 【愛を奏でて（ピアノ編）】 — P.52

I Can and Then 【アイ・キャン・アンド・ゼン】 — P.54

1900's Madness #2 【"1900" マッドネス No.2】 — P.55

Silent Goodbye 【サイレント・グッドバイ】 — P.60
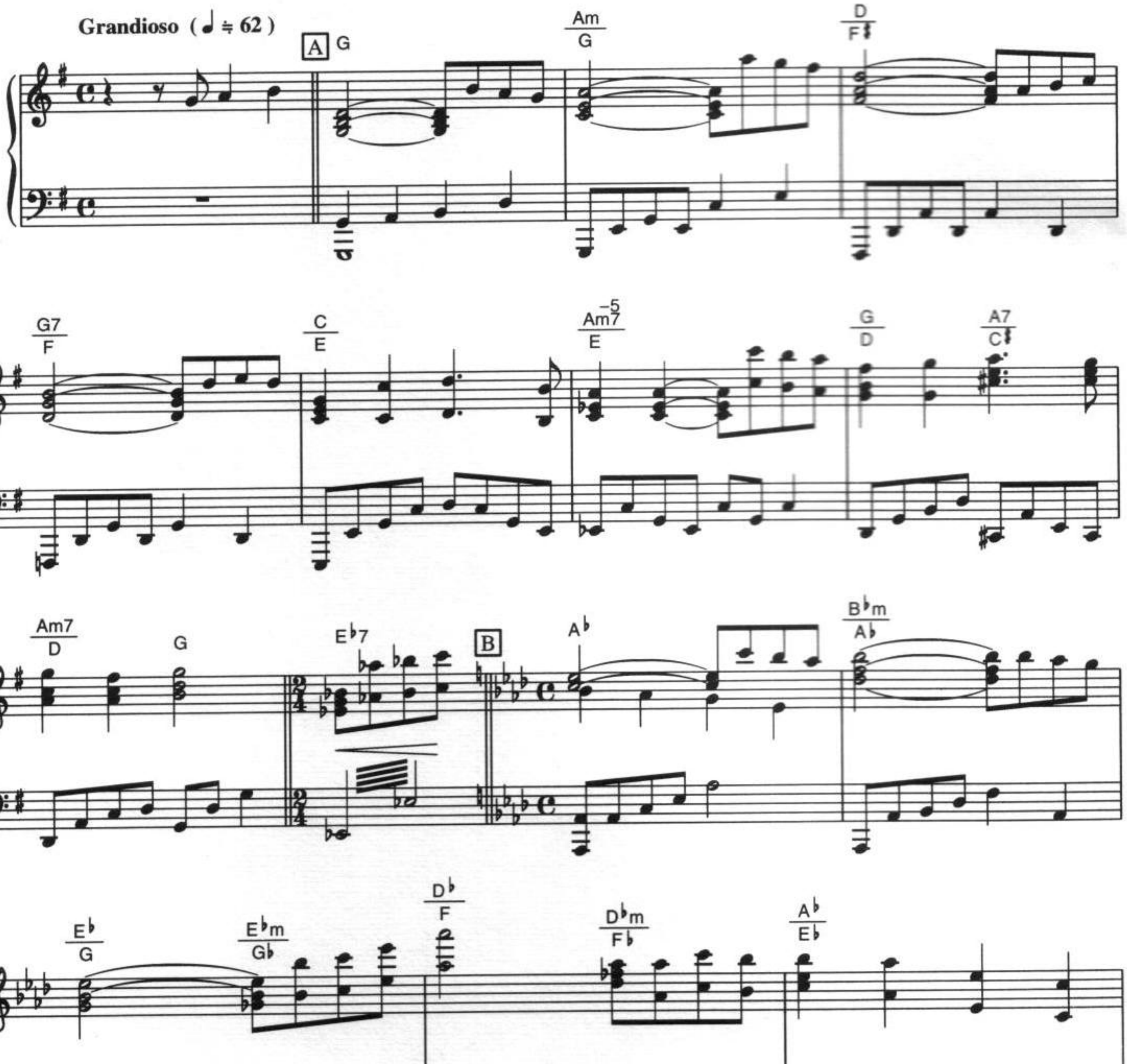
Ships and Snow 【シップス・アンド・スノウ】 — P.62
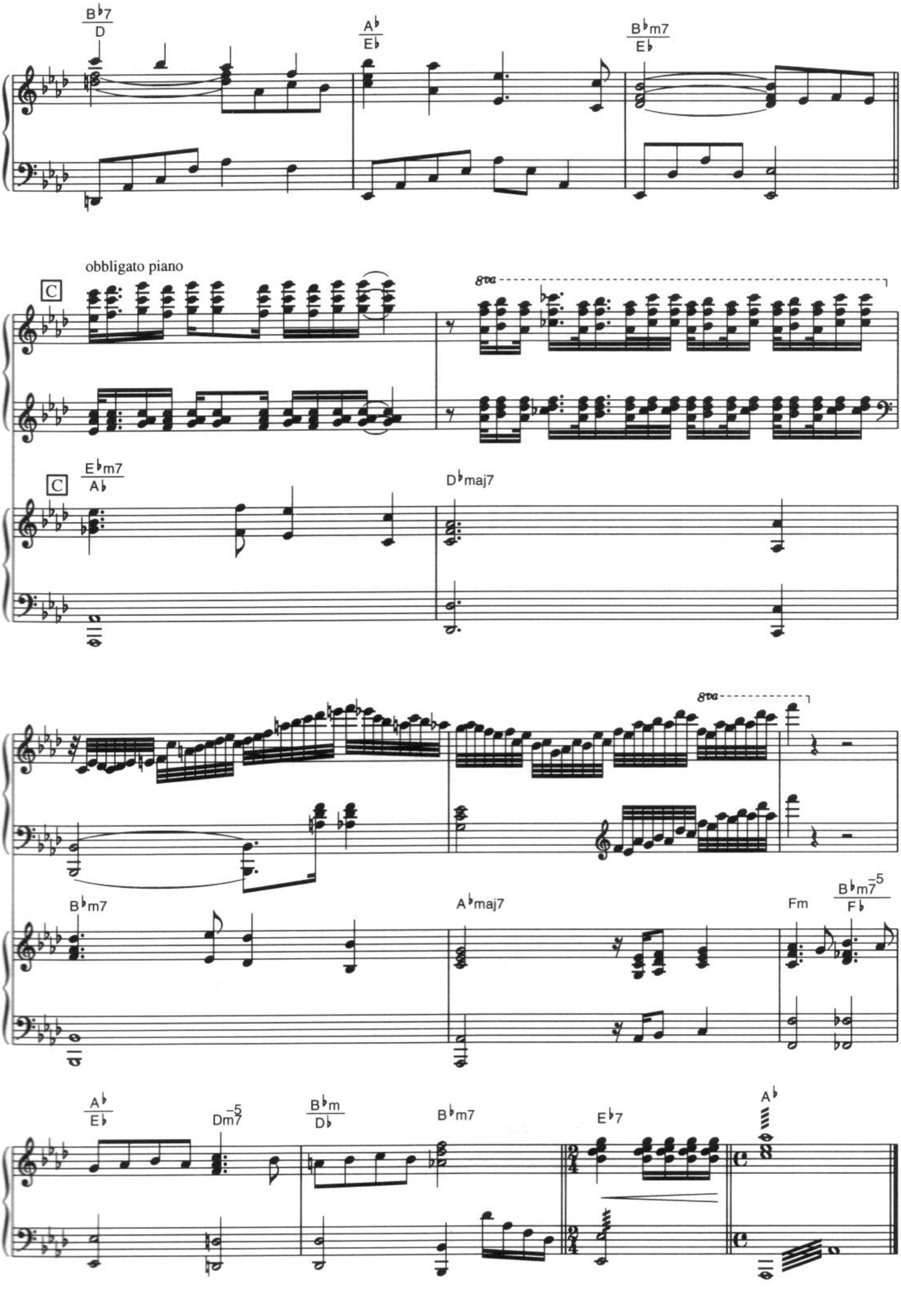
1900's Theme

【"1900"（ナイティーン・ハンドレッド）のテーマ】

music by Ennio Morricone

壮大に、ダイナミックに表現していきましょう。深みのある音色で、ゆったり弾きます。♩≒62です。「間」がもたなくて急いでしまわないように、よくピアノを歌わせて下さい。Ⓒからのオブリガートフレーズにもチャレンジしてみましょう。流麗なフレーズの嵐をご披露下さい。ラストは、フォルテでトレモロをダ～っとかき鳴らします。
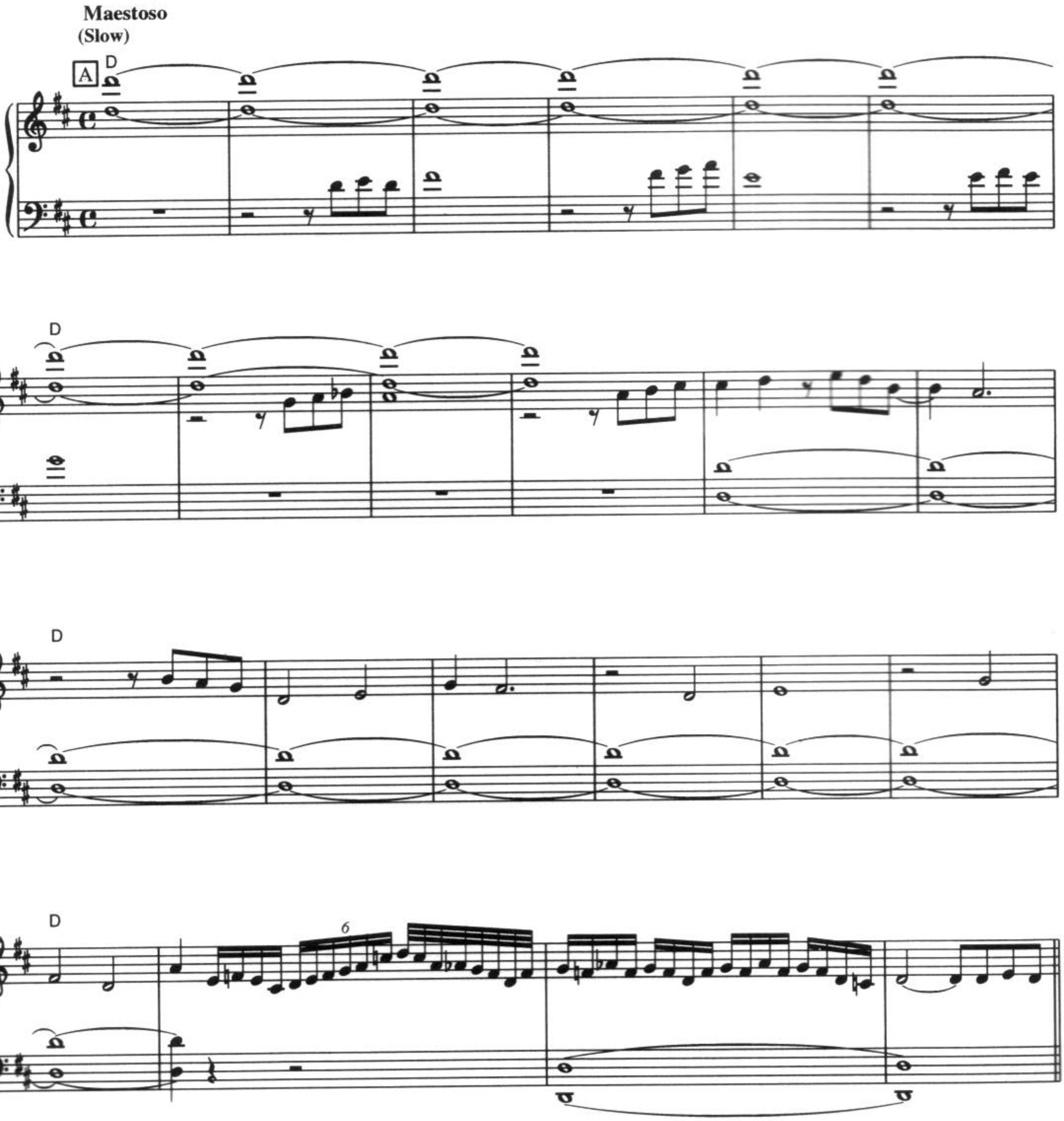



B♭7/D
A♭/E♭
B♭m7/E♭
C
obbligato piano
8va
C
E♭m7/A♭
D♭maj7
8va
B♭m7
A♭maj7
Fm
B♭m7−5/F♭
A♭/E♭
Dm7−5
B♭m/D♭
B♭m7
E♭7
A♭
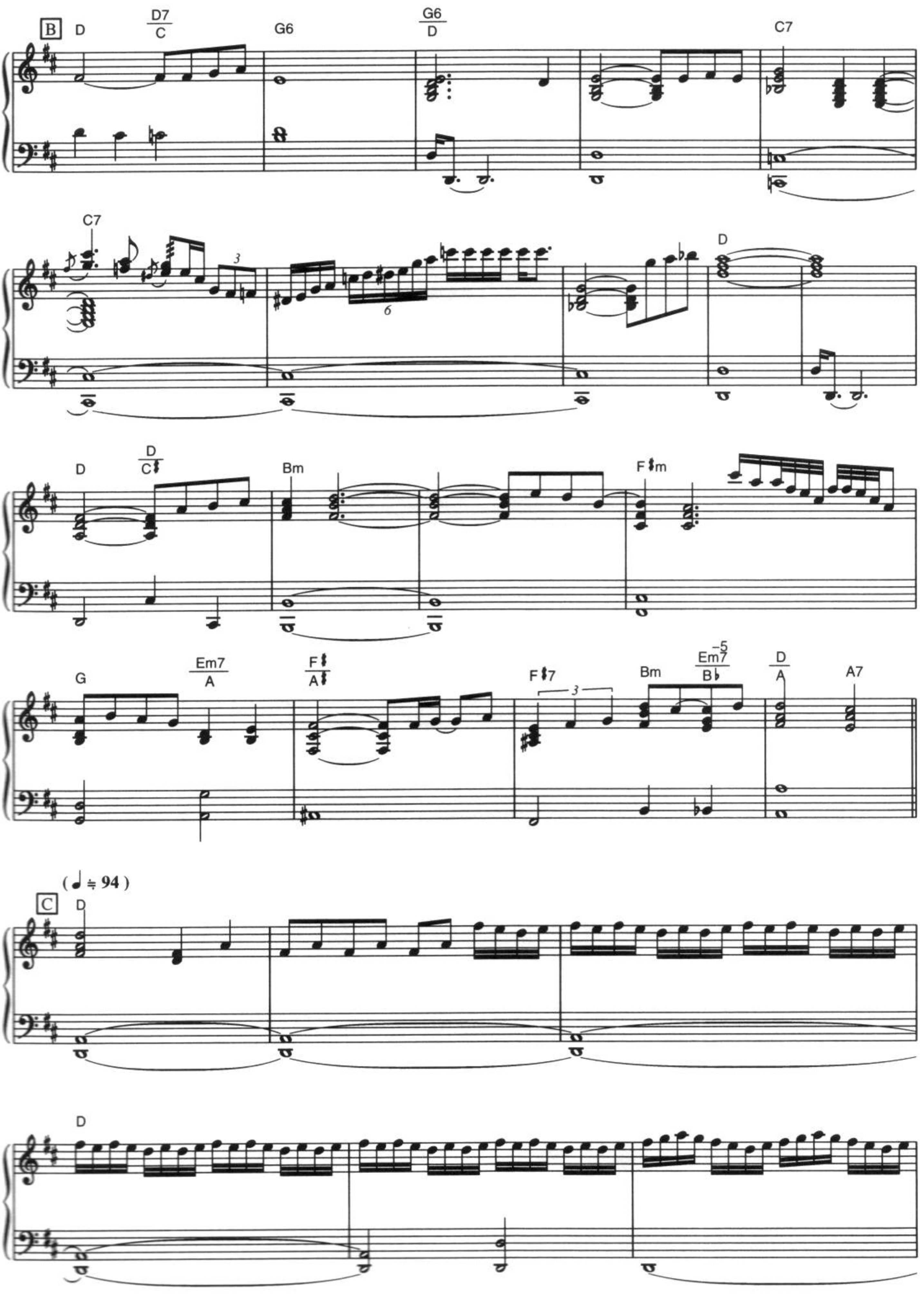
The Legend of the Pianist
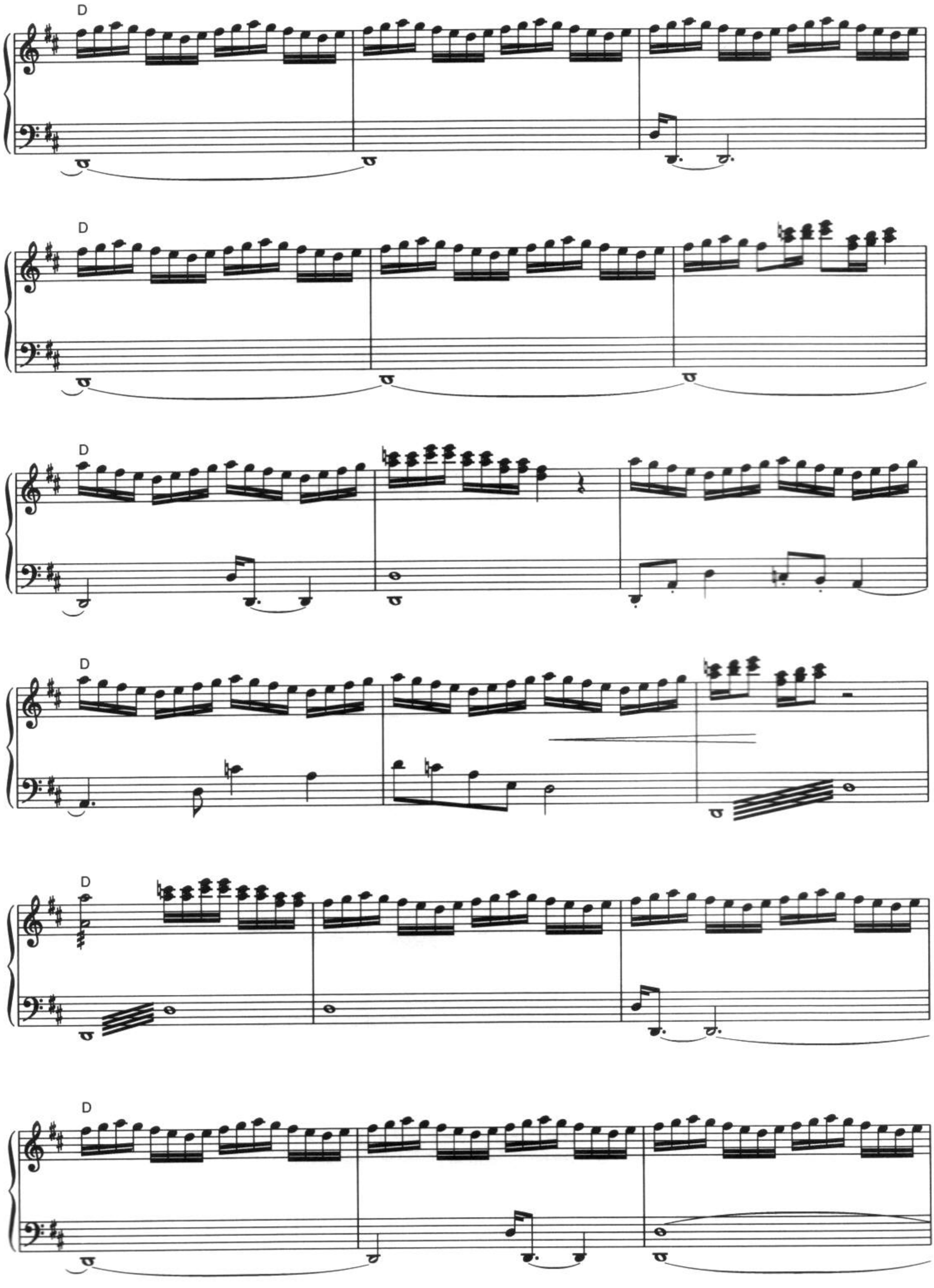
【伝説のピアニスト】
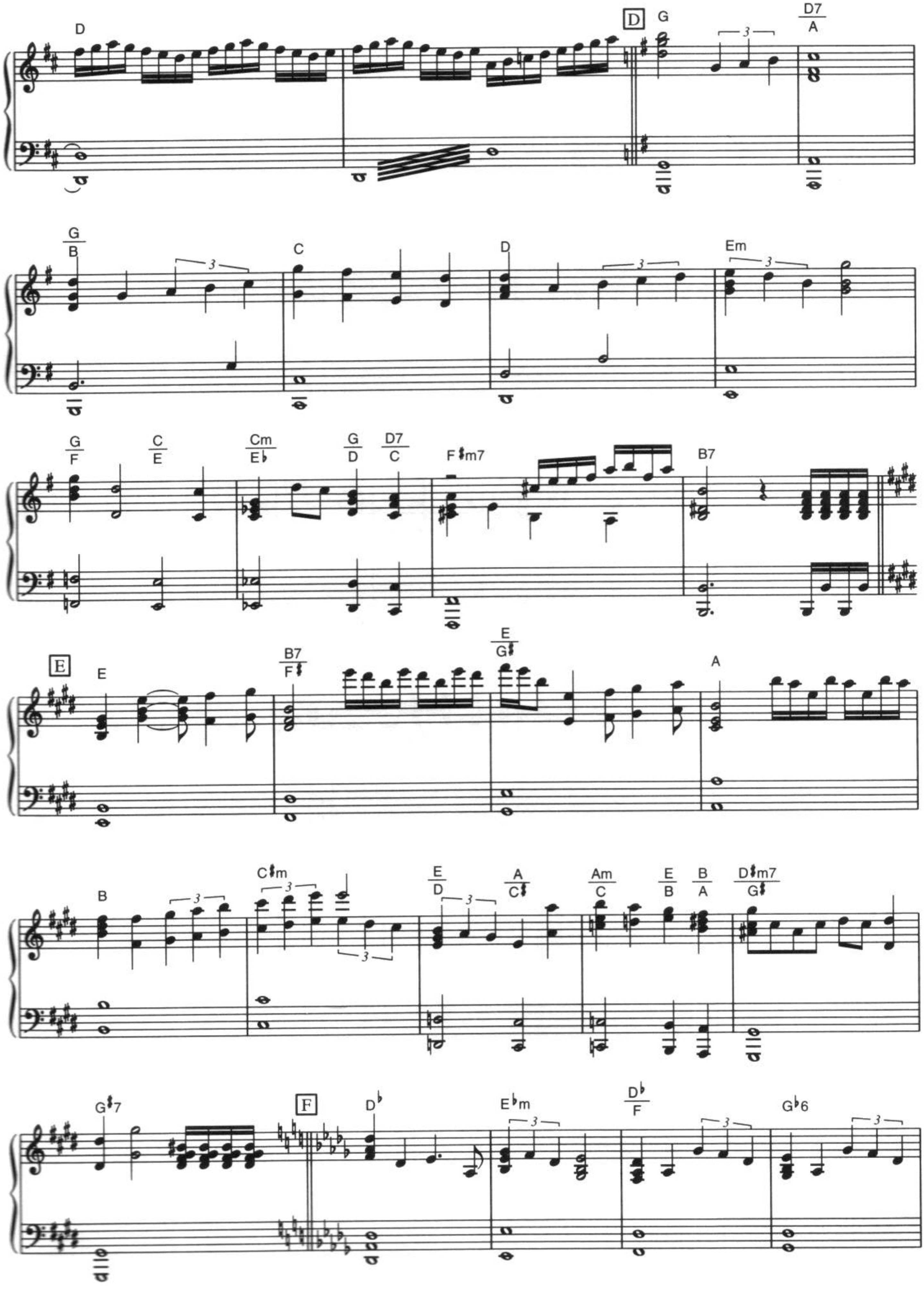
music by Ennio Morricone
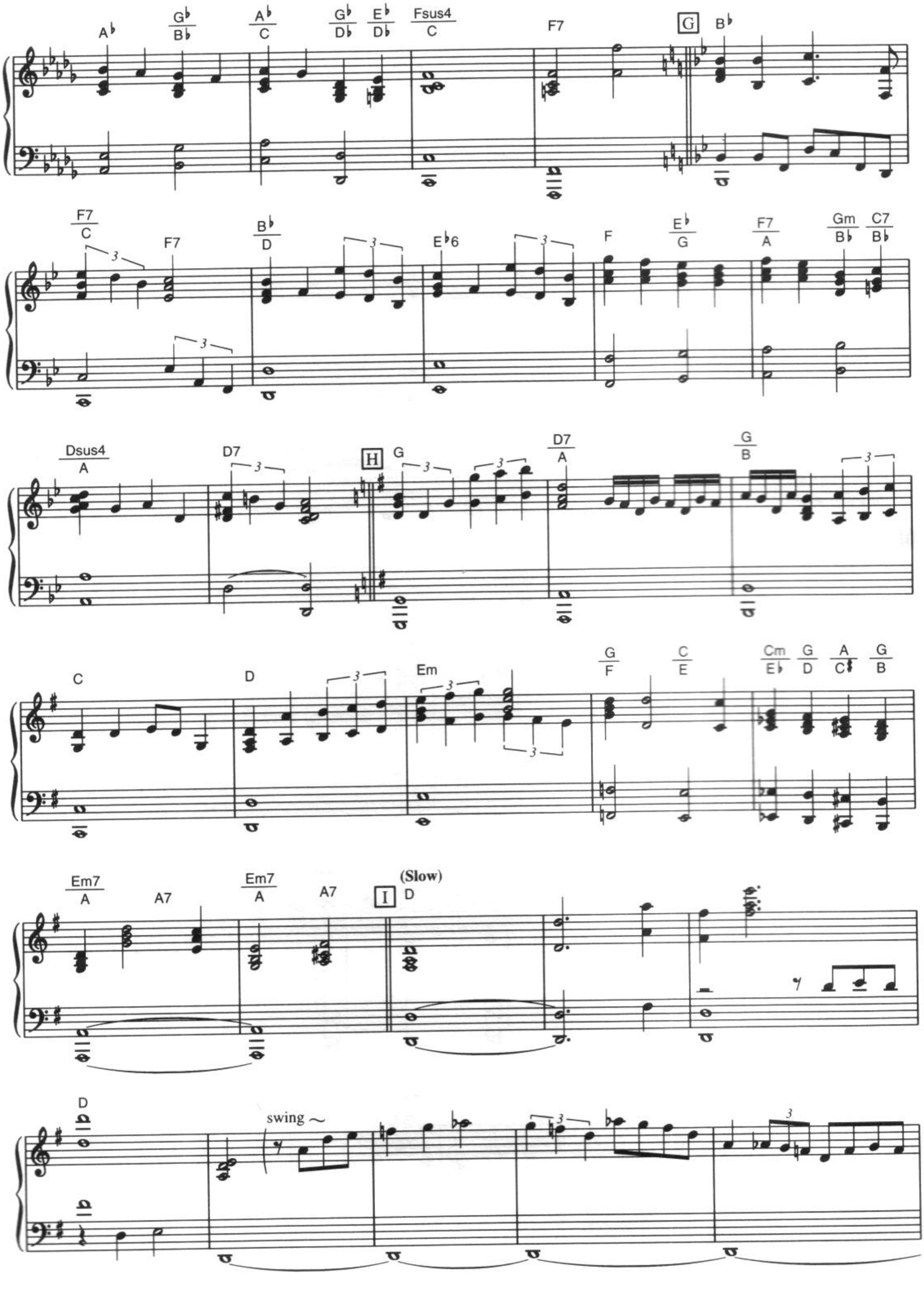
厳かなる空気、その中に、ふわ～、ゆらりと存在が見え隠れして始まります。余韻を味わいながらvery slowのサウンドであたりをふんわりと包み込んでしまいましょう。一滴、一滴、音の粒を大事に置いていきましょう。時折顔を覗かせるようなオブリガートフレーズの遊び心を面白がりながら弾いてみて下さい。Key Changeに即応を。
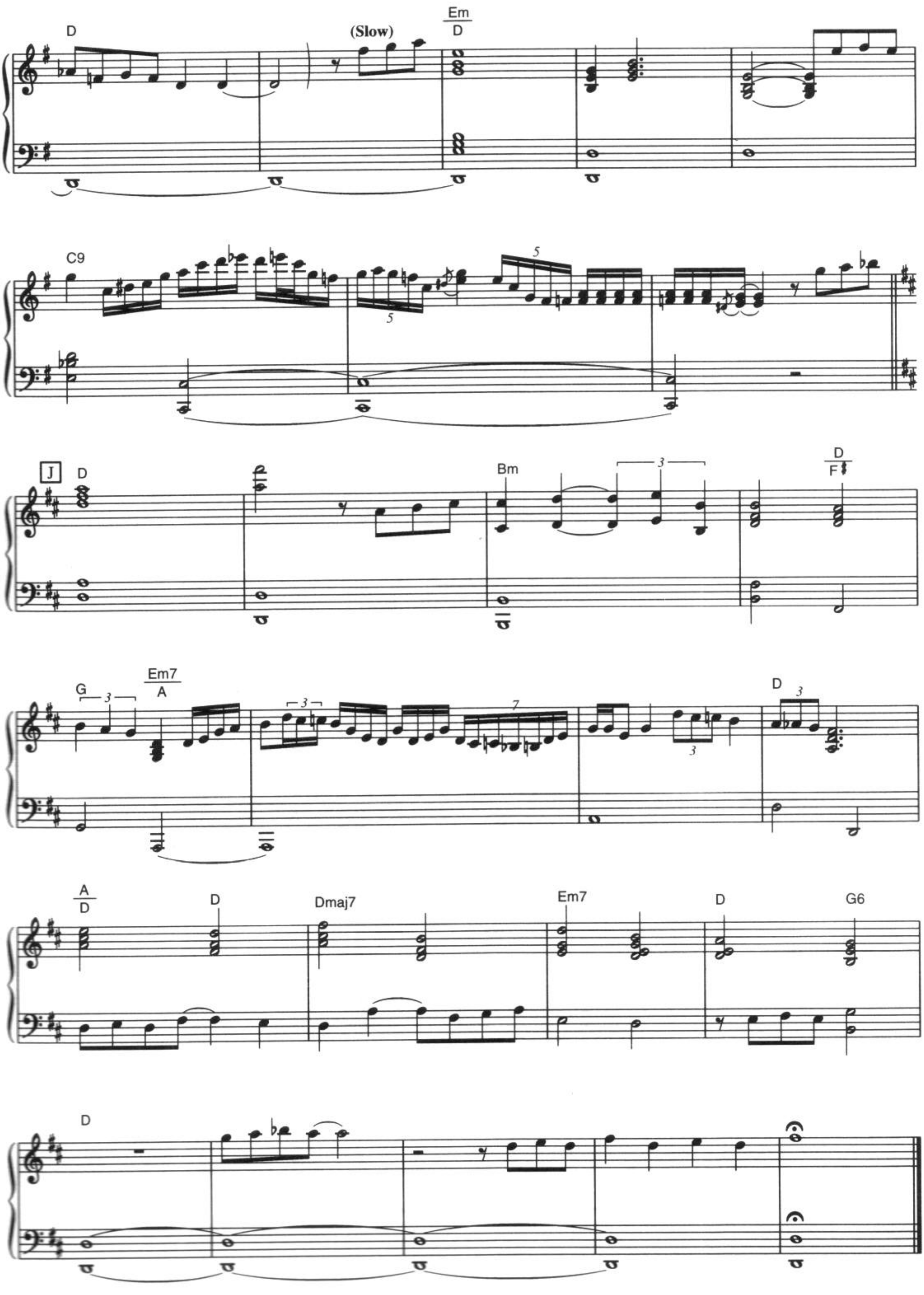



B
D
D7/C
G6
G6/D
C7
C7
3
6
D
D
D/C♯
Bm
F♯m
G
Em7/A
F♯/A♯
F♯7
3
Bm
Em7-5/B♭
D/A
A7
(♩ ≒ 94)
C
D
D


D
D
D
D
D
D


D
D G D7/A
G/B C D Em
G/F C/E Cm/E♭ G/D D7/C F♯m7 B7
E E B7/F♯ E/G♯ A
B C♯m E/D A/C♯ Am/C E/B B/A D♯m7/G♯
G♯7
F D♭ E♭m D♭/F G♭6
3


A♭
G♭/B♭
A♭/C
G♭/D♭
E♭/D♭
Fsus4/C
F7
G
B♭
F7/C
F7
B♭/D
E♭6
F
E♭/G
F7/A
Gm/B♭
C7/B♭
Dsus4/A
D7
H
G
D7/A
G/B
C
D
Em
G/F
C/E
Cm/E♭
G/D
A/C♯
G/B
Em7/A
A7
Em7/A
A7
I
(Slow)
D
D
swing ~
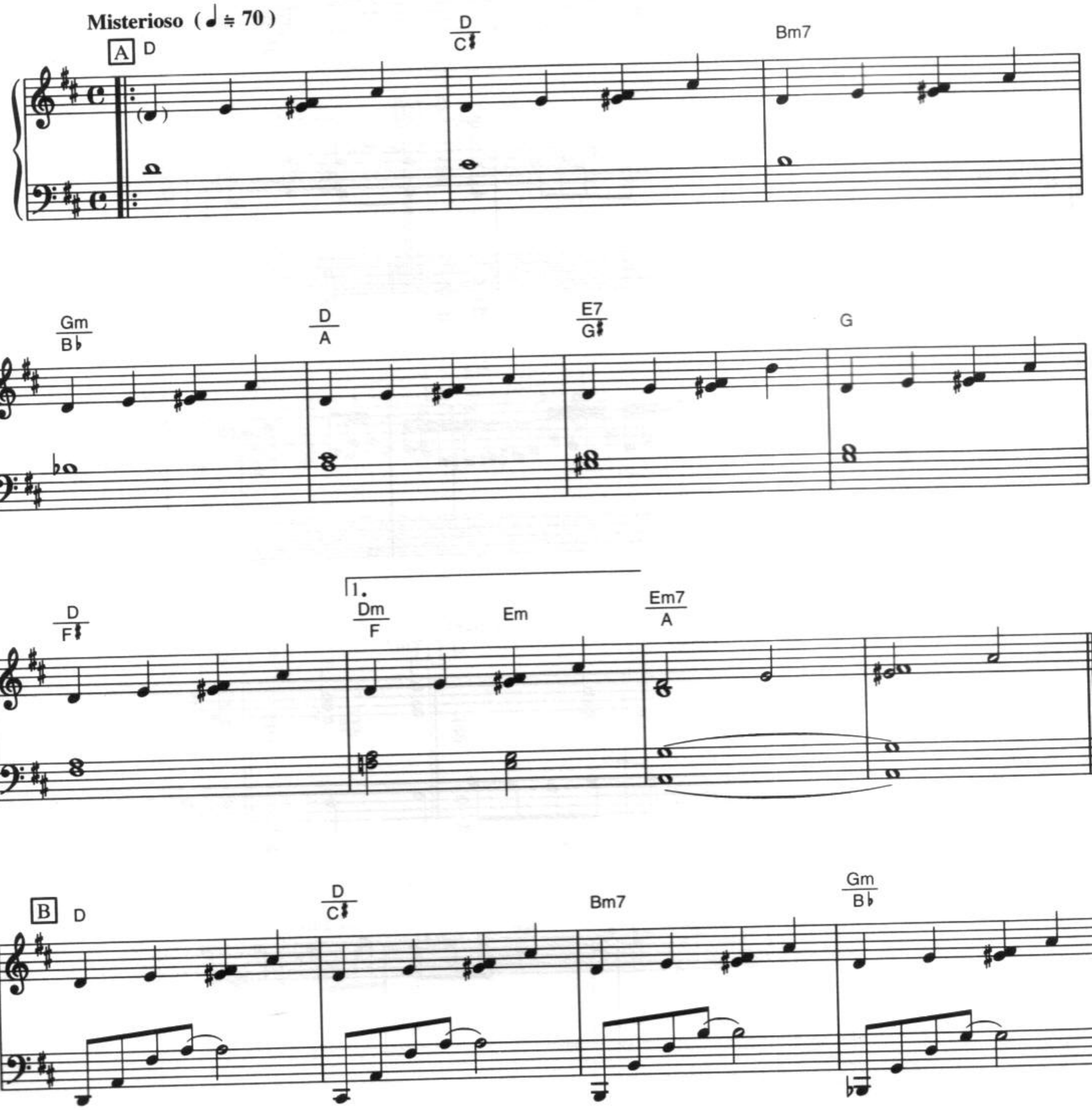

D
(Slow)
Em
D
C9
J
D
Bm
D
F
G
Em7
A
D
A
D
D
Dmaj7
Em7
D
G6
D
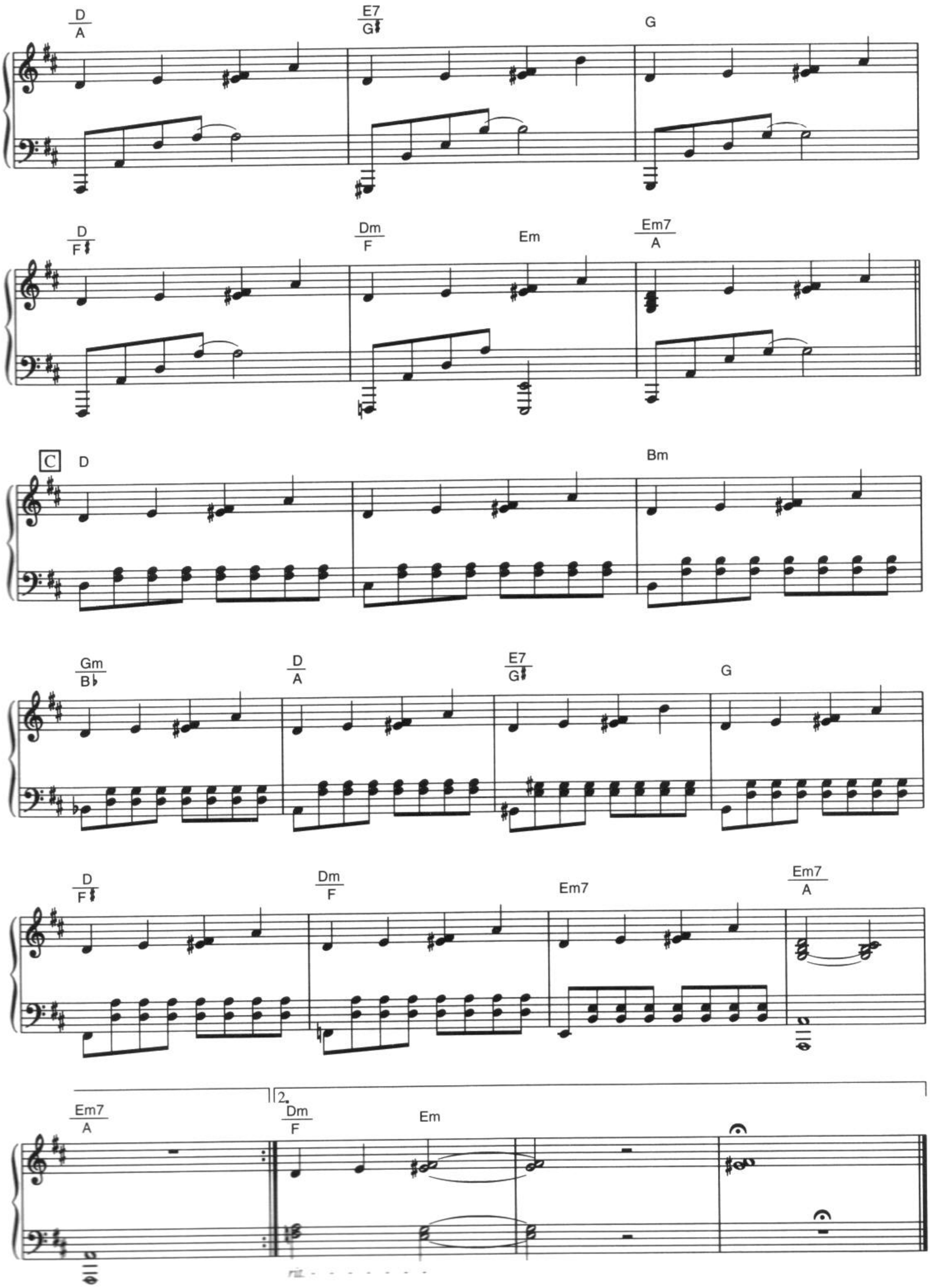
The Crisis

【ザ・クライシス】

music by Ennio Morricone

フシギ、オモシロ、厳粛なる静寂！の中、ゆるやかに進んでいきます。短２度和音の効果を耳に印象づけることになりますね。[B]からの左手は、レガート奏を心がけて下さい。サスティンペダルと仲良く、おおらかに奏でましょう。[C]左手８分きざみは、モタらぬように、ゆったりと。ラストは、まさにその短２度をシトーンとそっと鳴らして終わります。
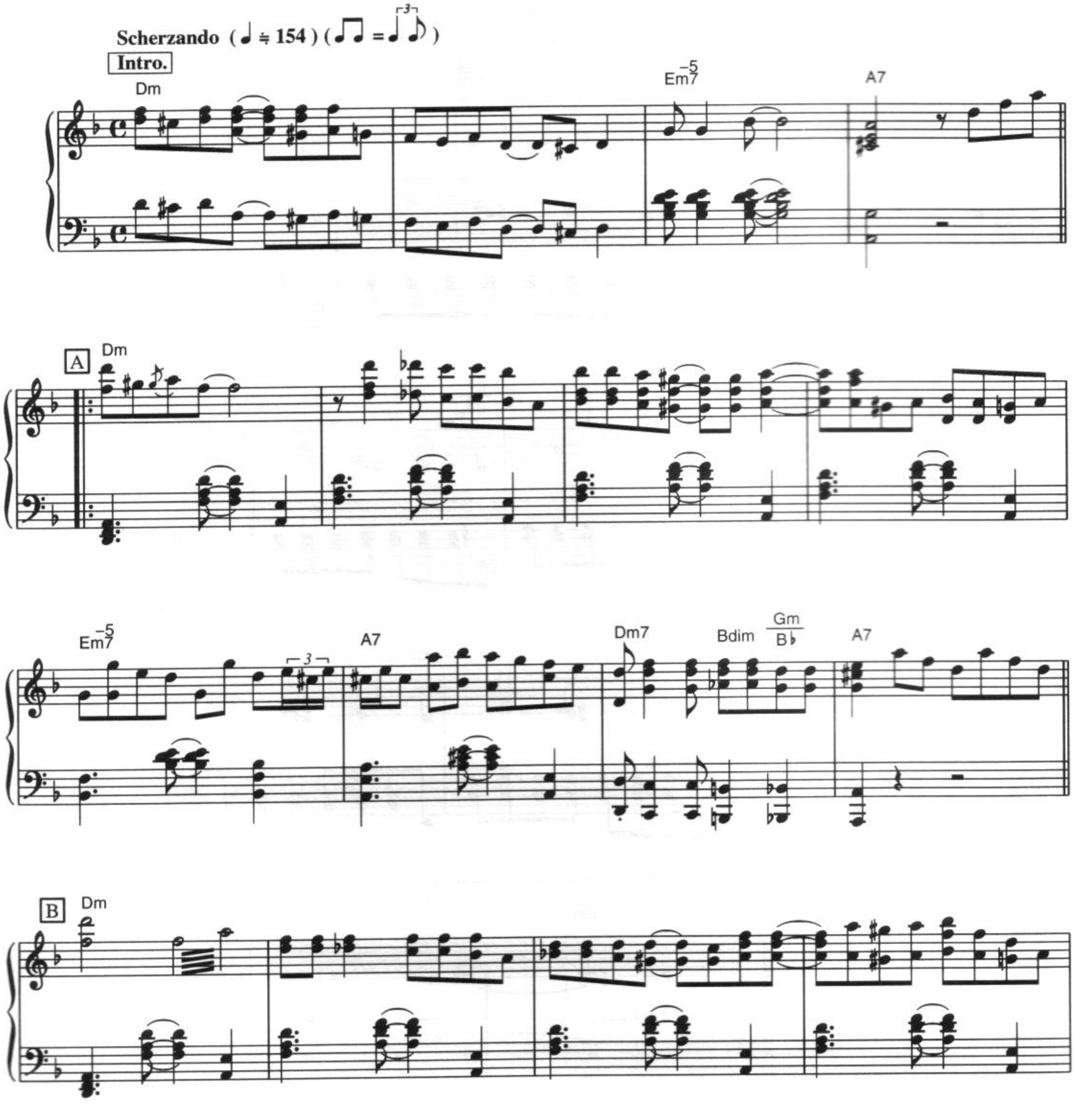



D/A
E7/G♯
G
D/F♯
Dm/F
Em
Em7/A
C
D
Bm
Gm/B♭
D/A
E7/G♯
G
D/F♯
Dm/F
Em7
Em7/A
Em7/A
2.
Dm/F
Em
rit.
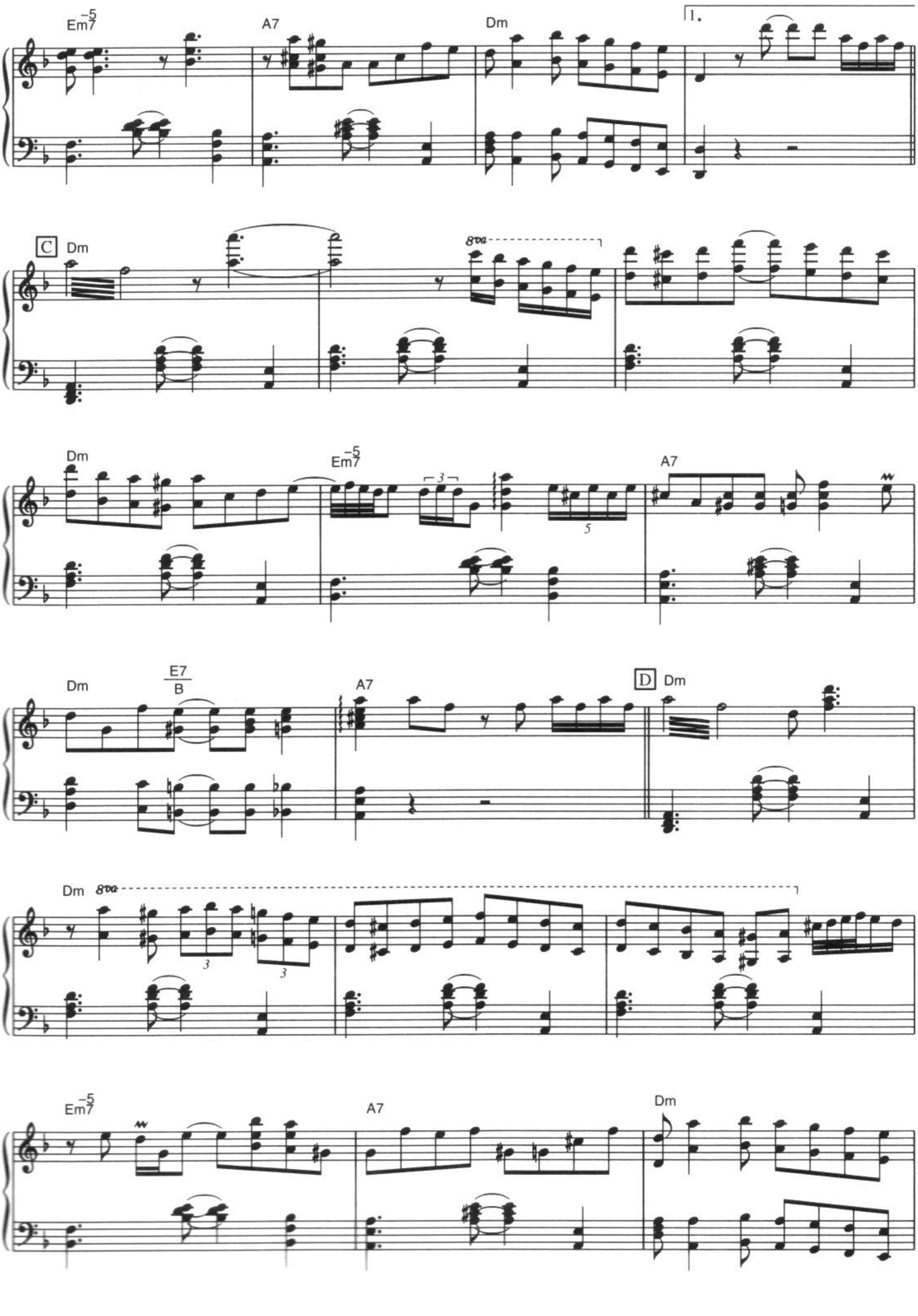
The Crave
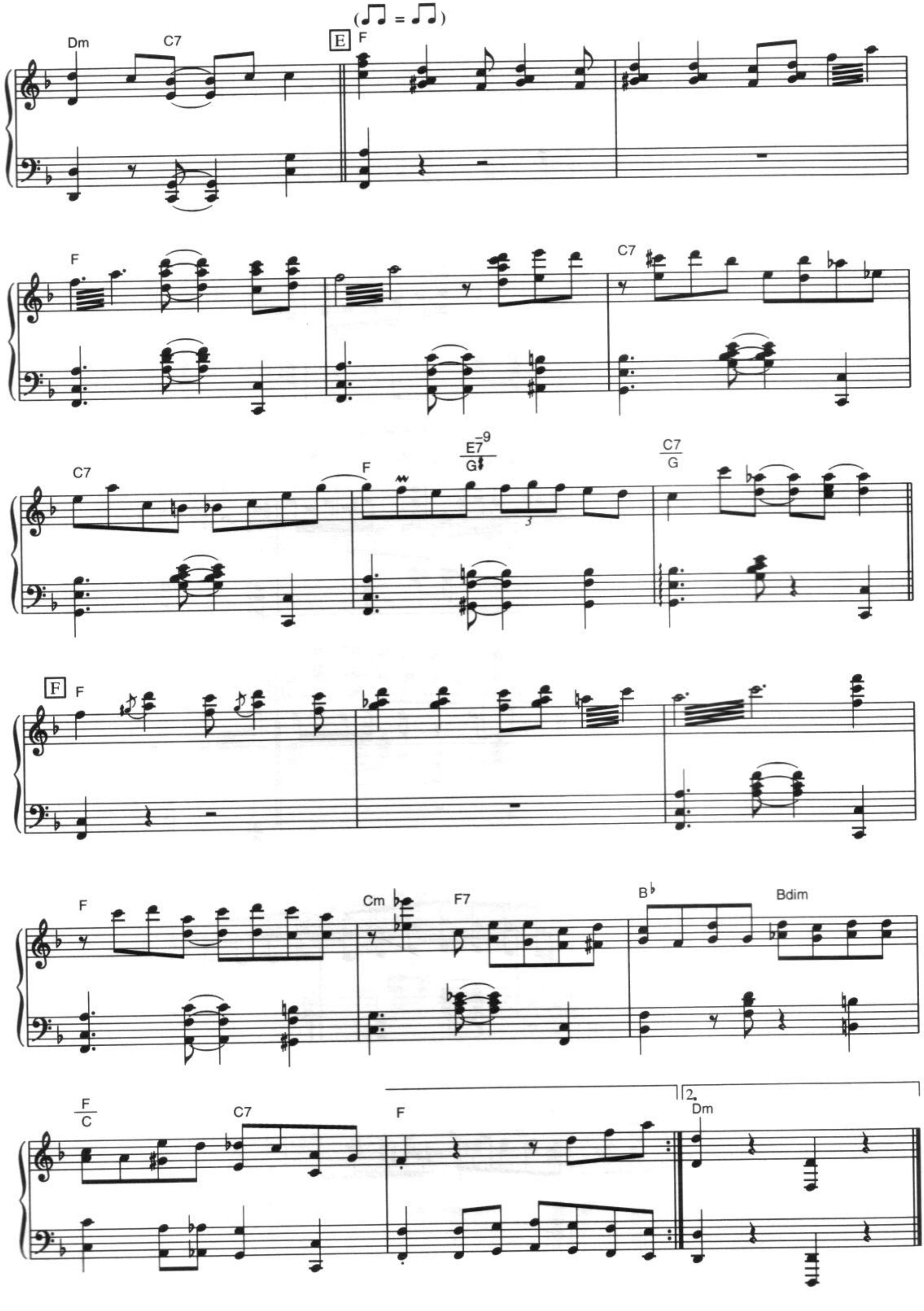
【ザ・クレイヴ】

music by Jelly Roll Morton

鍵盤と戯れてみて下さい。♫=♩♪ の３連はあまりにハネすぎてしまわないよう気をつけたいですね。A からの左手伴奏は、音程跳び、位置跳躍もなんのそので、モタることなく、スッスッと順調な打鍵をキープです。その上で右手が自由にDancin'していきます。E、F は、コミカルムードをプラスして、陽気に弾いてみましょう。最後は、簡潔にDオクターヴを確実に置いてendです。タッチをぴったりそろえて。




Em7-5
A7
Dm
1.
C
Dm
8va
Dm
Em7-5
3
5
A7
Dm
E7/B
A7
D
Dm
Dm
8va
3
3
Em7-5
A7
Dm
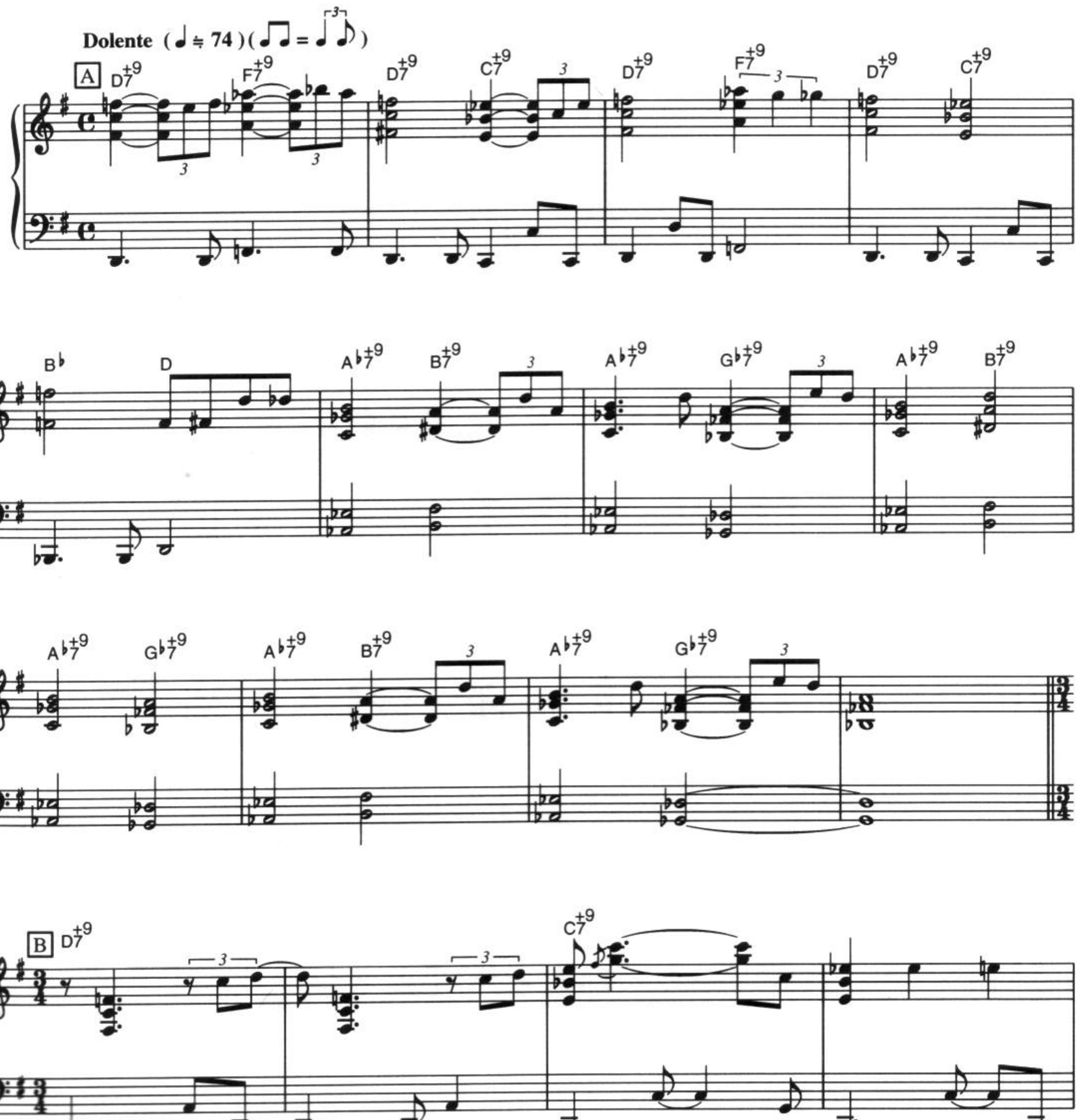

Dm C7
E F
F
C7
C7
F
E7-9/G#
C7/G
F F
F
Cm F7
B♭ Bdim
F/C C7
F
2.
Dm
3
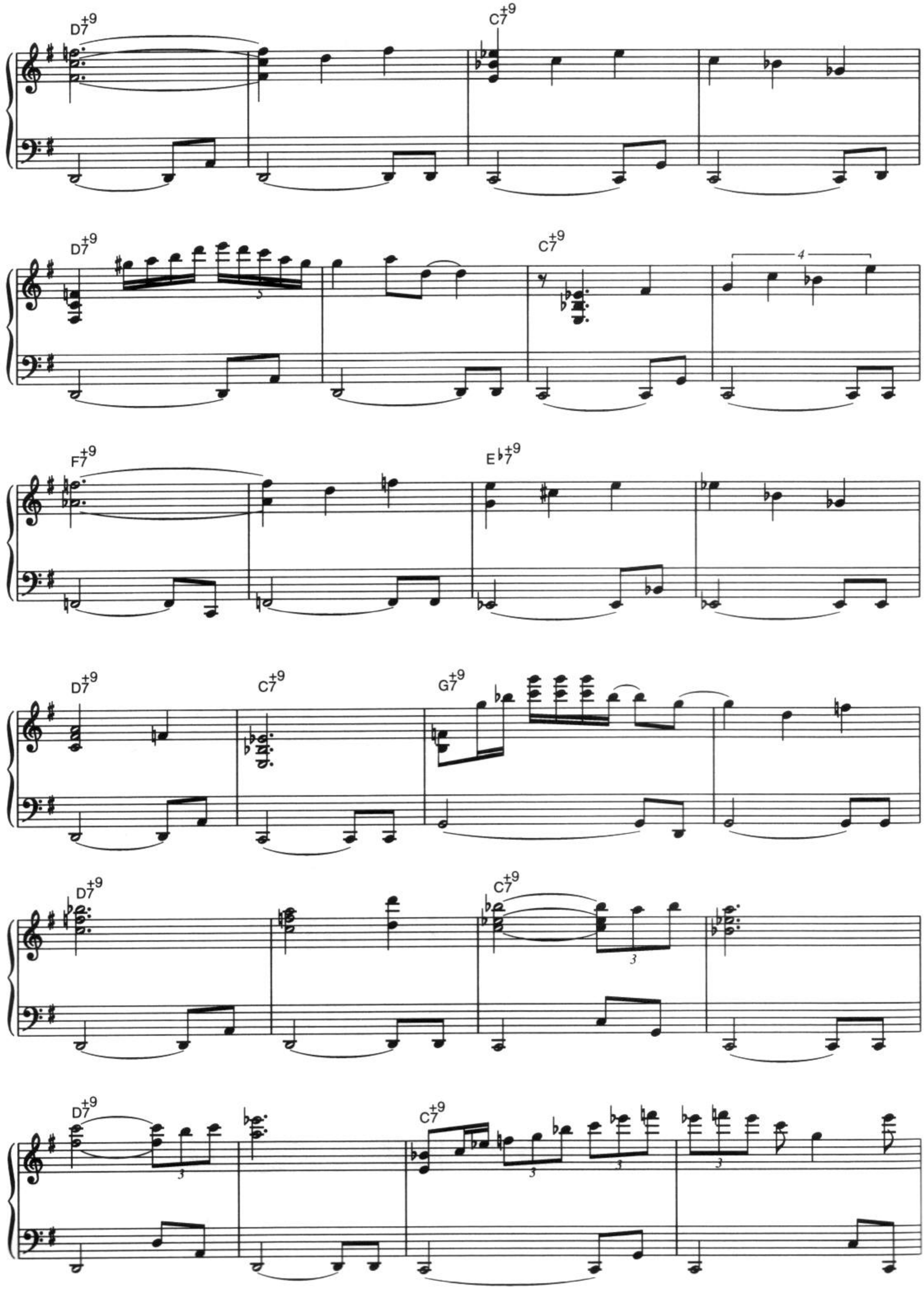
A Goodbye to Friends
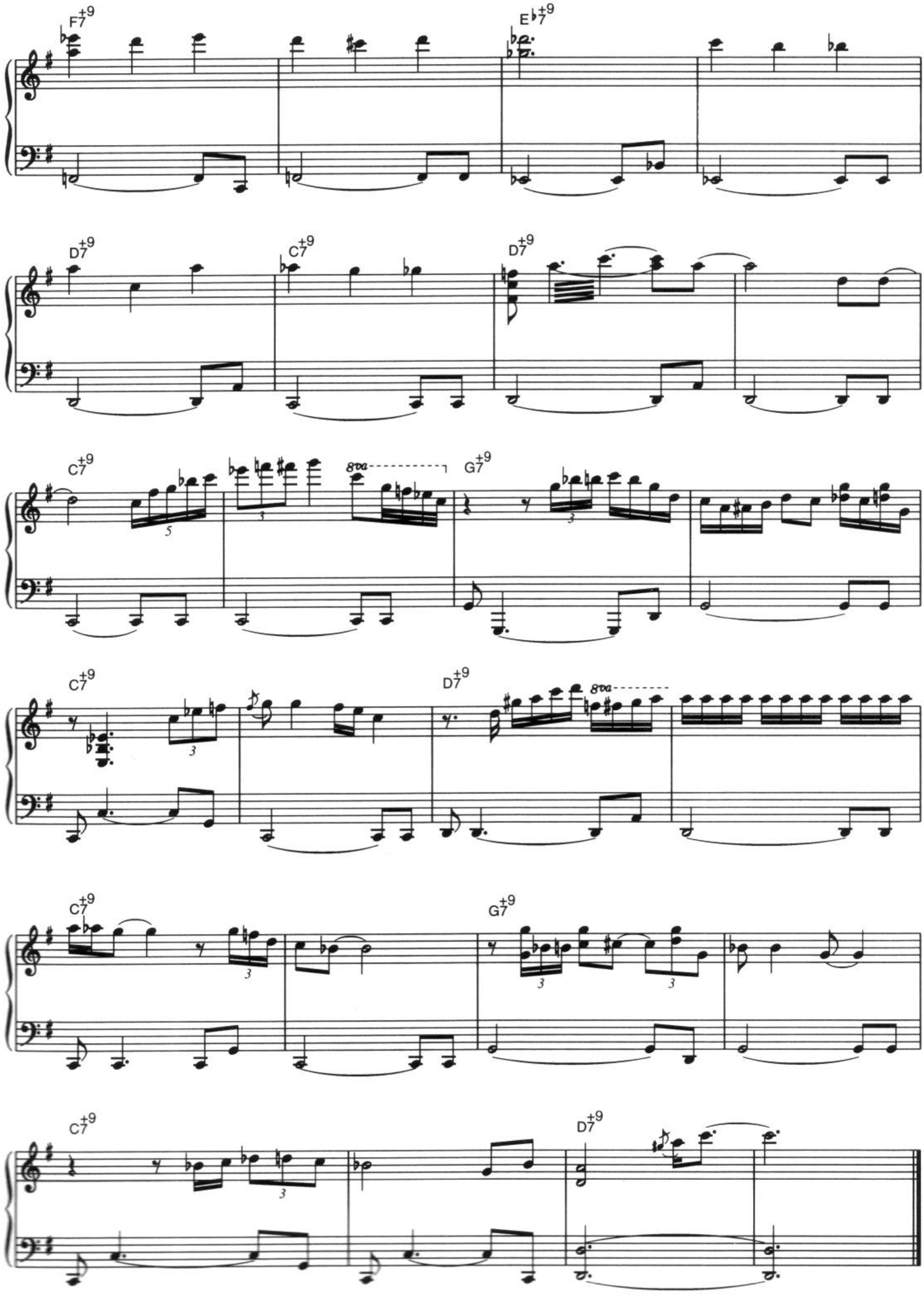
【友との別れ】

music by Ennio Morricone

ユラリ、フワリ揺れながら、哀しみの時を過ごしていきます。7th + 9thのサウンドをじっくり味わい、どっぷり浸り切りましょう。Bからの右手高音域フレーズは、カリーンときらめかせて、泣きのFeelin'を漂わせながら演奏してみましょう。気持ちの高ぶり、そしてどんより暗い気分、そんな心の上下動が聴こえ、見え隠れします。




D7+9
C7+9
D7+9
C7+9
4
F7+9
E♭7+9
D7+9
C7+9
G7+9
D7+9
C7+9
D7+9
C7+9
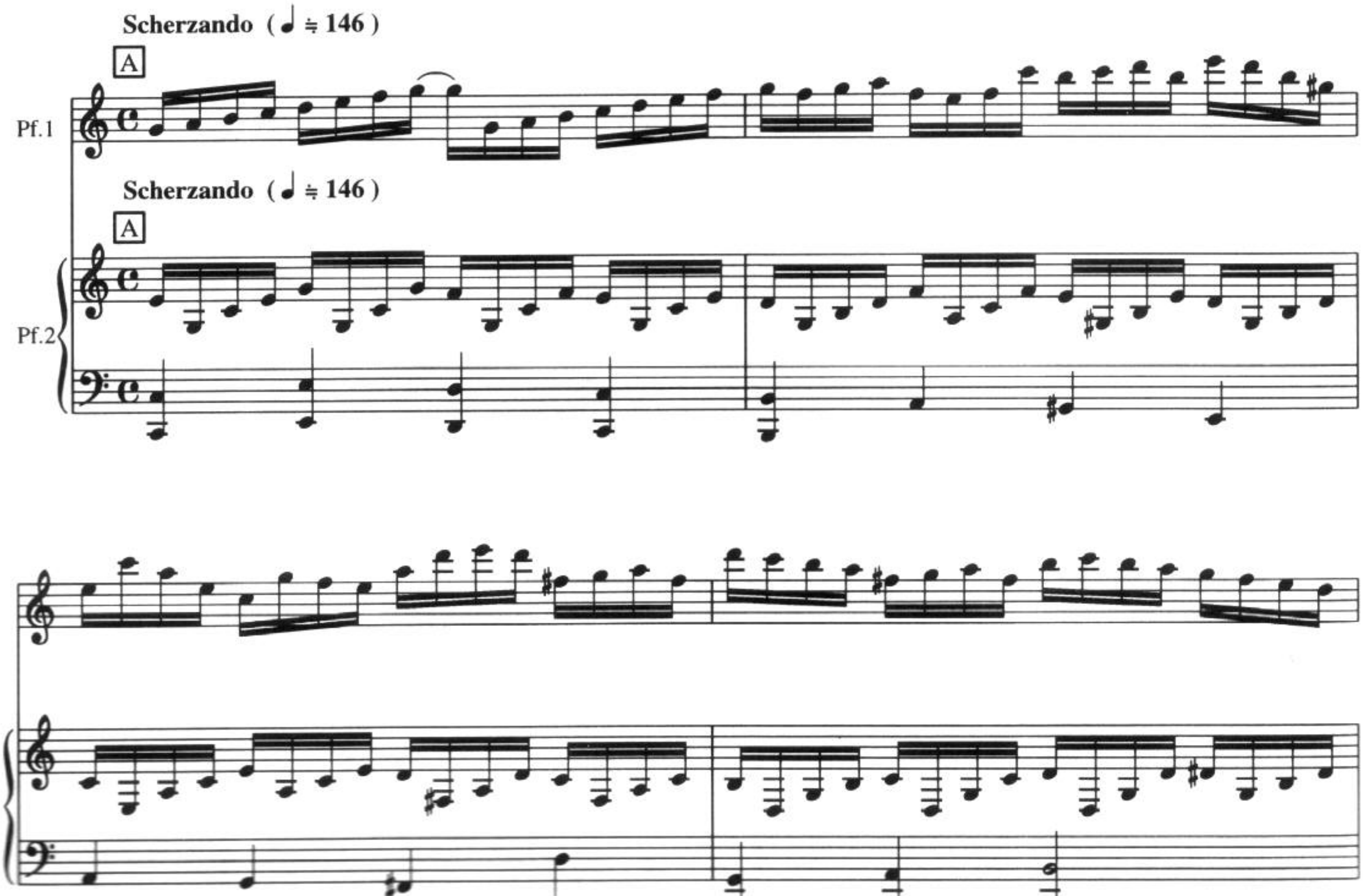

F7+9
E♭7+9
D7+9
C7+9
D7+9
C7+9
8va
G7+9
C7+9
D7+9
8va
C7+9
G7+9
C7+9
D7+9
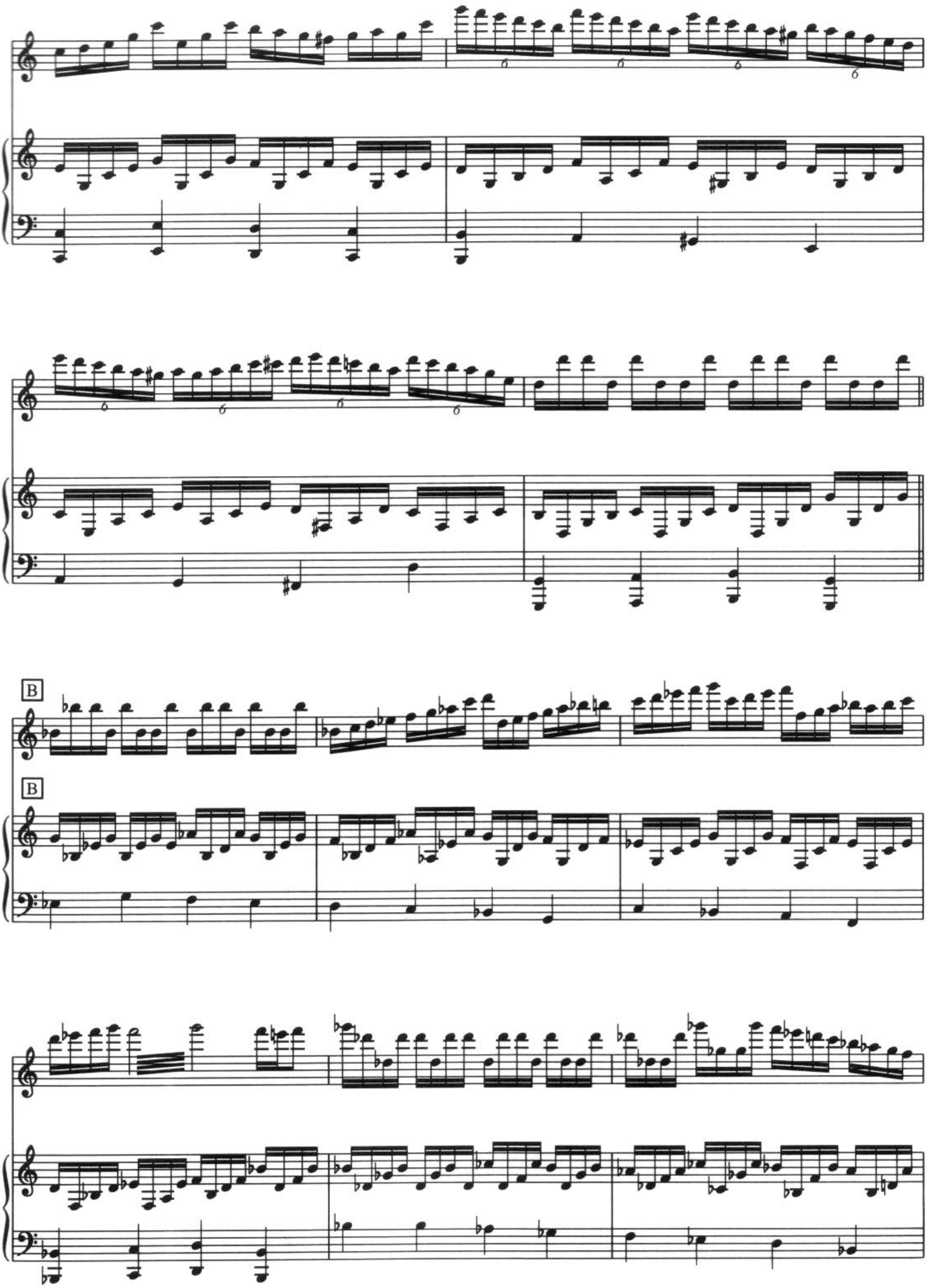
Study for Three Hands
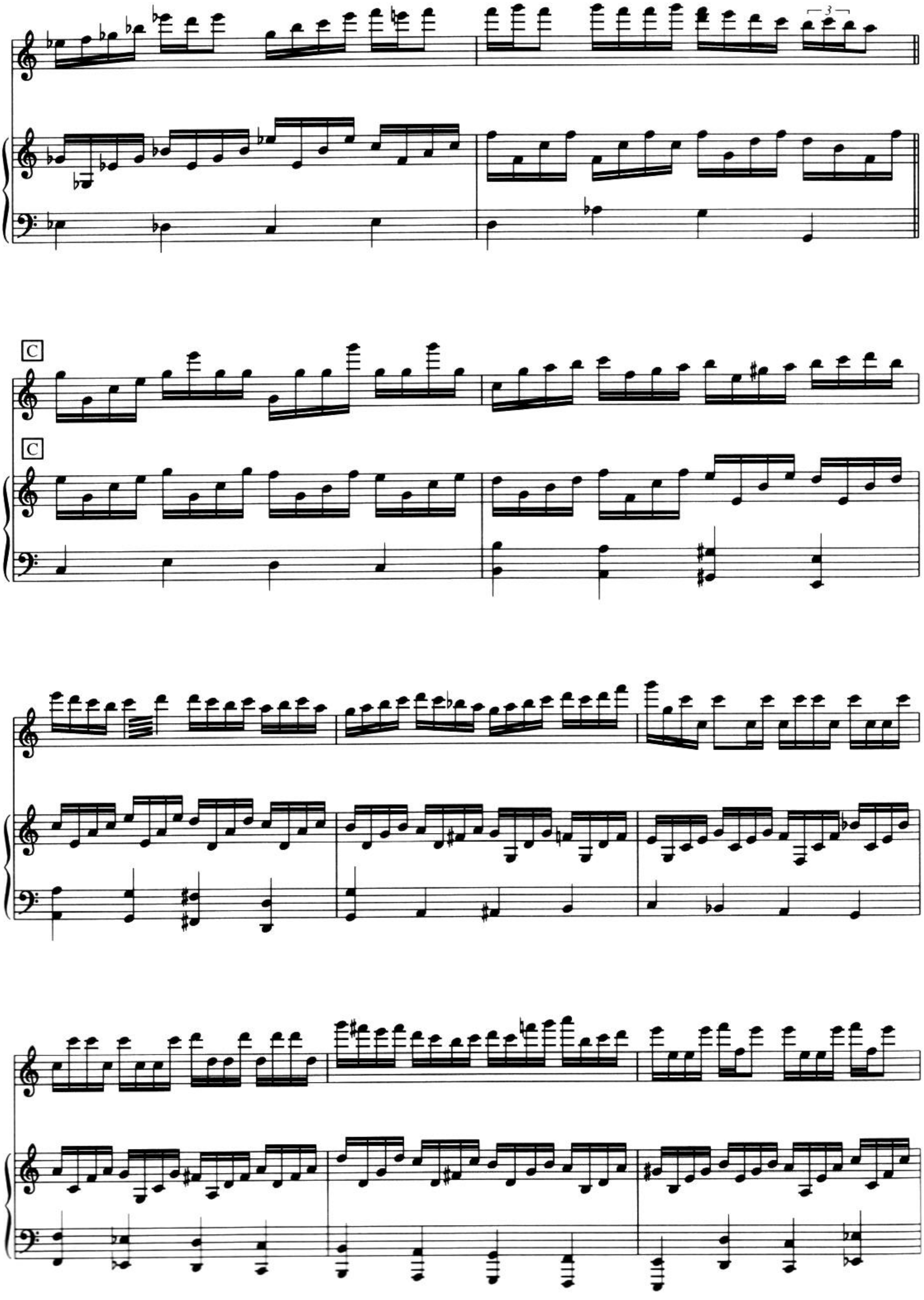
【3手のための練習曲】
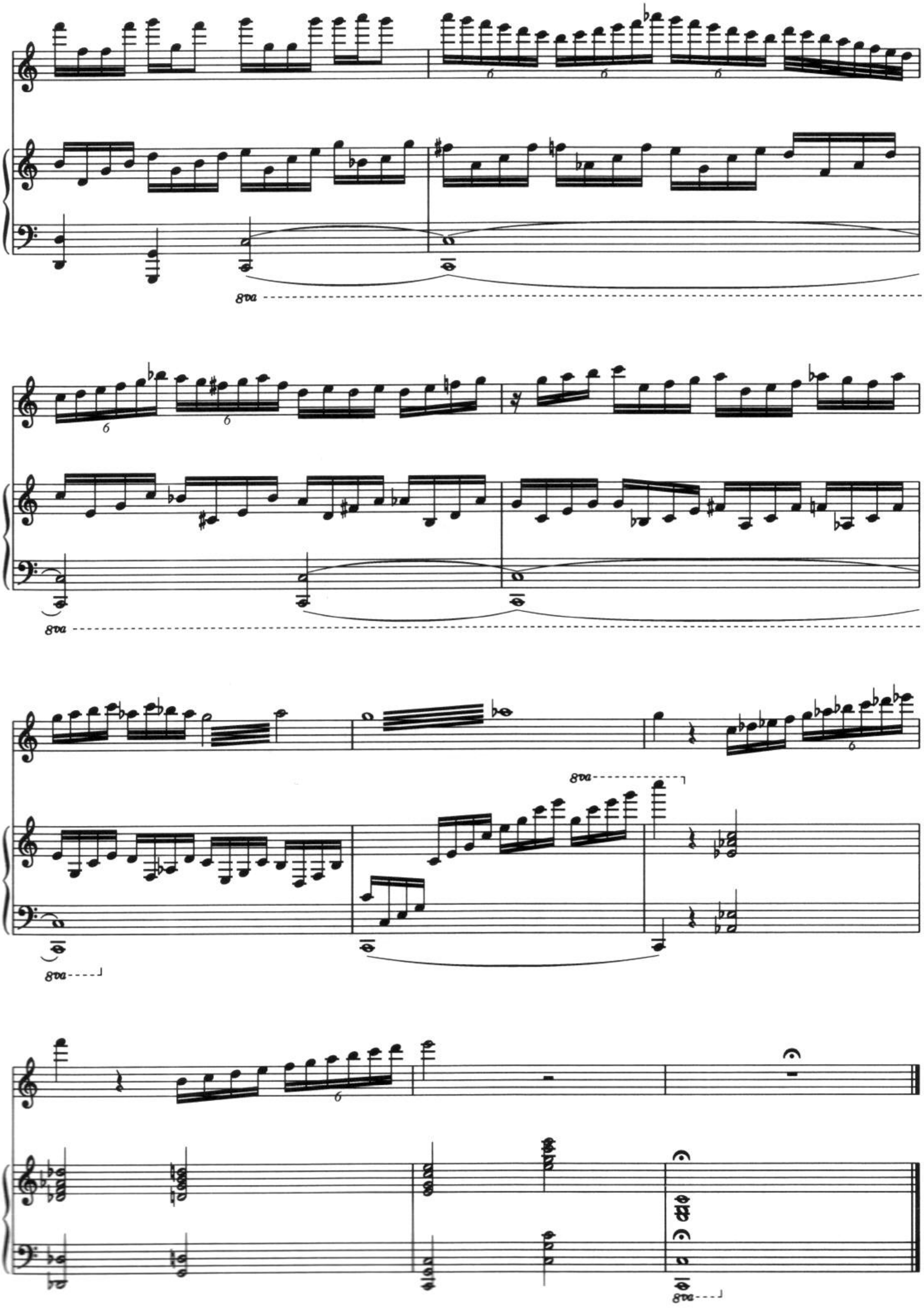
music by Ennio Morricone & Amedeo Tommasi

コロコロ、パラリと息もつかせぬスピードに乗り、よどみなく駆け抜けていきましょう。3手がめまぐるしく動きながら、ひとつのゴールに向かって快走していく様子を色でたとえるなら…虹色の風速50メートル！？高音域を受け持つパートは、連打の部分などは両手を使ってスムーズに運指する事もOKですね。では大きな流れを形作って下さい。




B
B


C
C
3
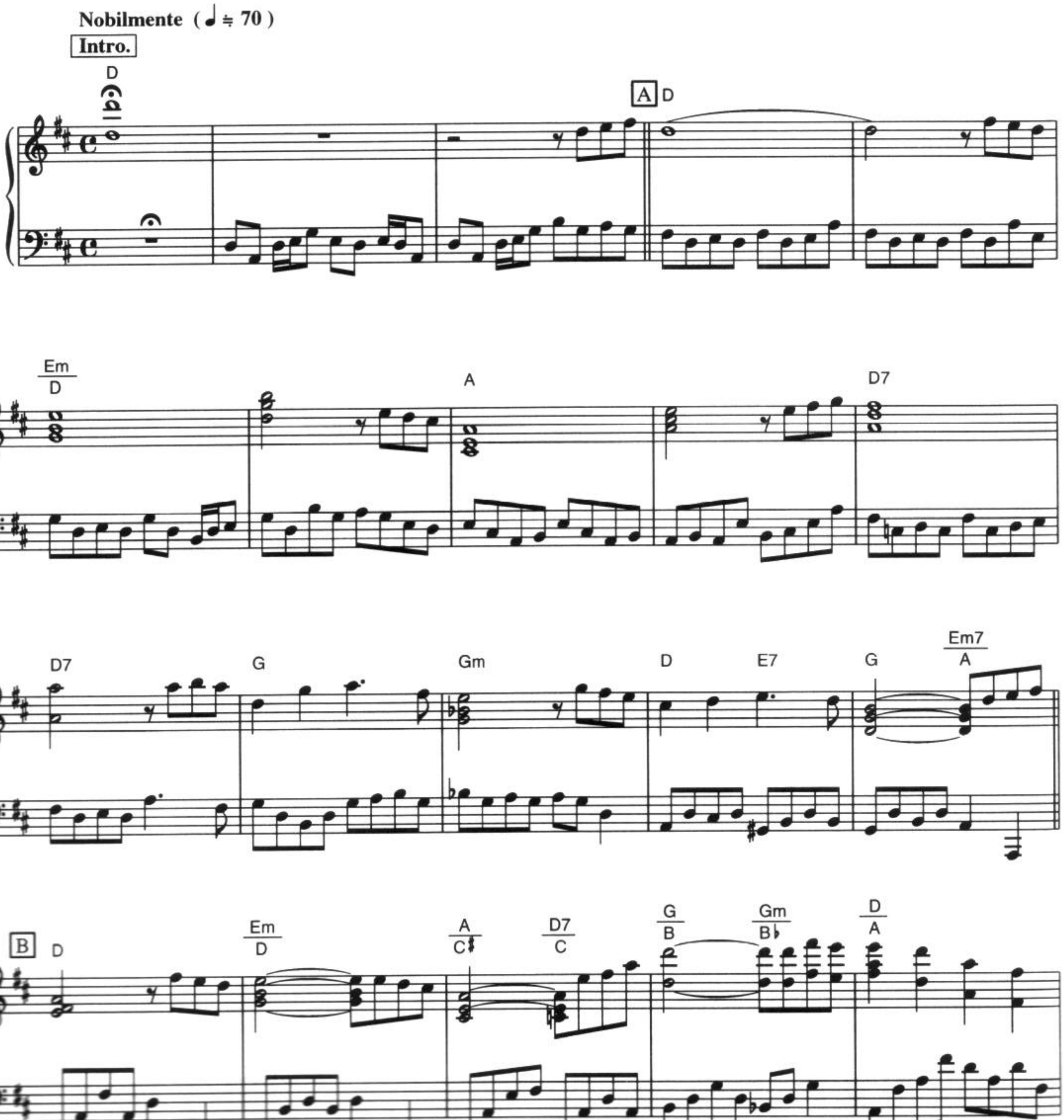

8va
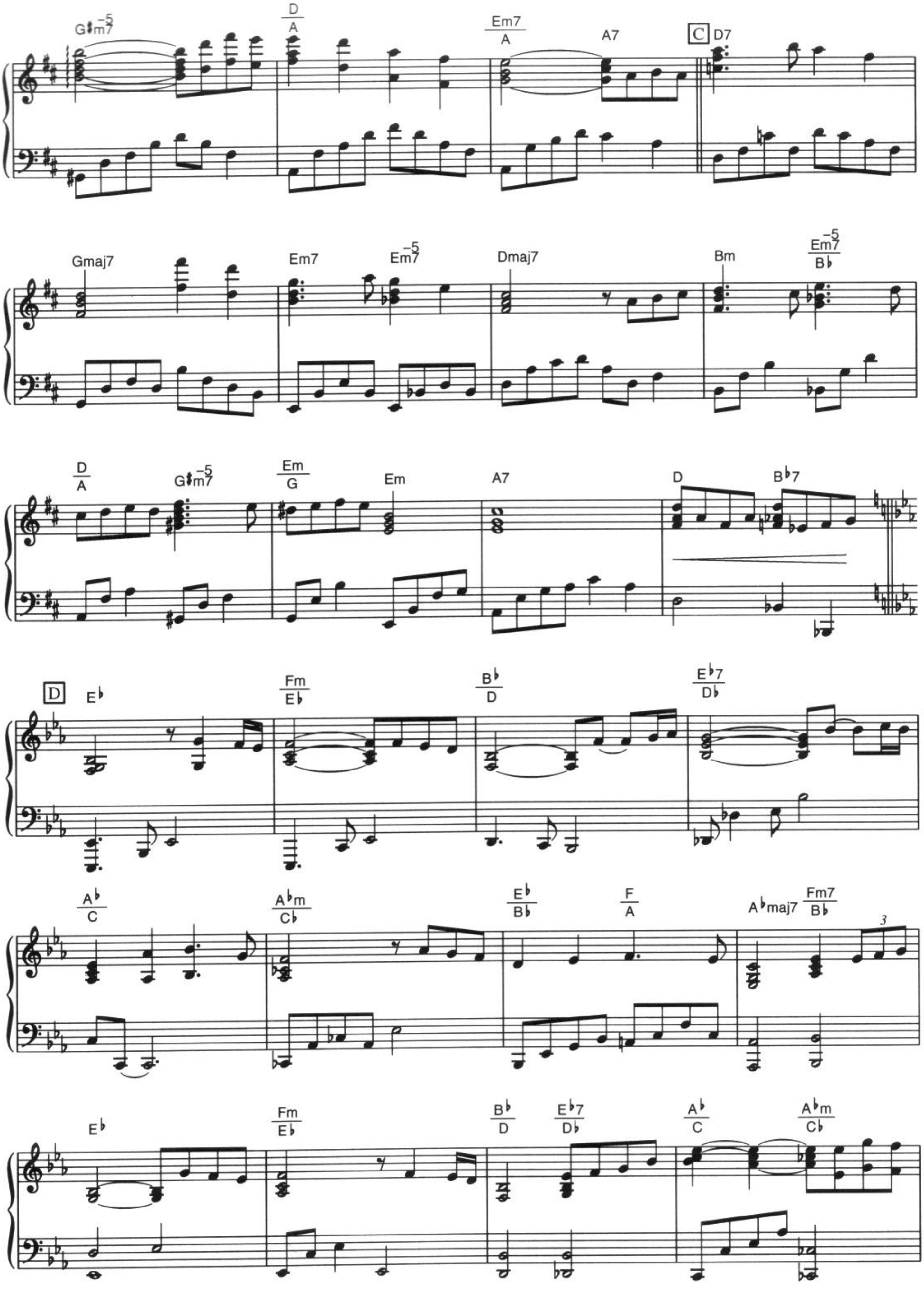
Playing Love
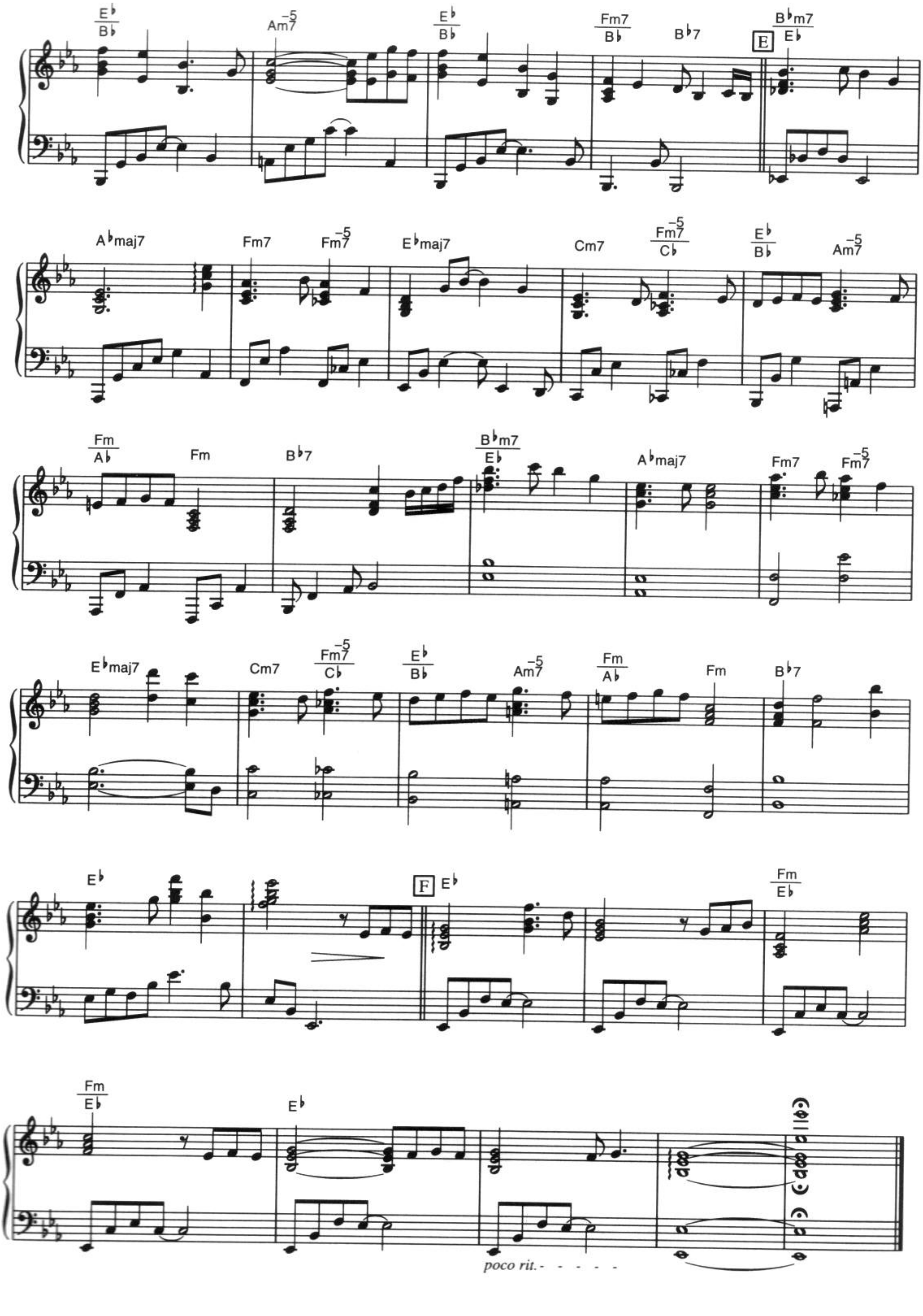
【愛を奏でて】

music by Ennio Morricone

ゆったり優しく柔らかに奏でましょう。自然とほほえみが浮かんでくるような、穏やかな安らぎのナンバーです。♩≒70ですから落ち着いて、イントロ左手の16分パッセージもすべり込まないようにきれいに弾いて下さい。サスティンペダルを駆使し、レガートプレイを心がけましょう。[E]は、ドラマチックFeelin'をプラスして。[F]はdim.し、クールダウンです。




G♯m7-5
D/A
Em7/A
A7
C
D7
Gmaj7
Em7
Em7-5
Dmaj7
Bm
Em7-5/B♭
D/A
G♯m7-5
Em/G
Em
A7
D
B♭7
D
E♭
Fm/E♭
B♭/D
E♭7/D♭
A♭/C
A♭m/C♭
E♭/B♭
F/A
A♭maj7
Fm7/B♭
3
E♭
Fm/E♭
B♭/D
E♭7/D♭
A♭/C
A♭m/C♭
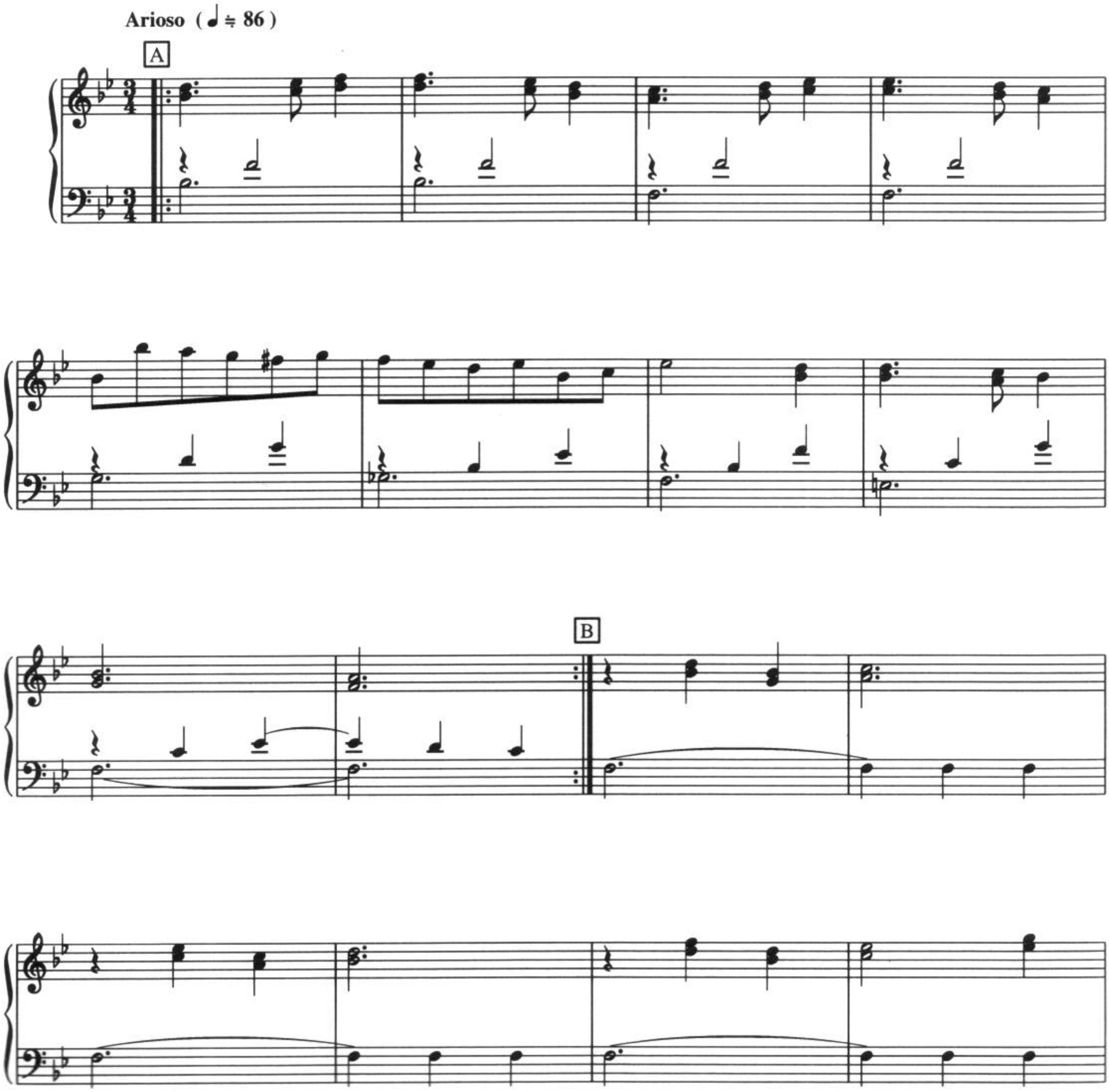

E♭/B♭
Am7-5
E♭/B♭
Fm7/B♭
B♭7
E
B♭m7/E♭
A♭maj7
Fm7
Fm7-5
E♭maj7
Cm7
Fm7-5/C♭
E♭/B♭
Am7-5
Fm/A♭
Fm
B♭7
B♭m7/E♭
A♭maj7
Fm7
Fm7-5
E♭maj7
Cm7
Fm7-5/C♭
E♭/B♭
Am7-5
Fm/A♭
Fm
B♭7
E♭
F
E♭
Fm/E♭
Fm/E♭
E♭
poco rit.
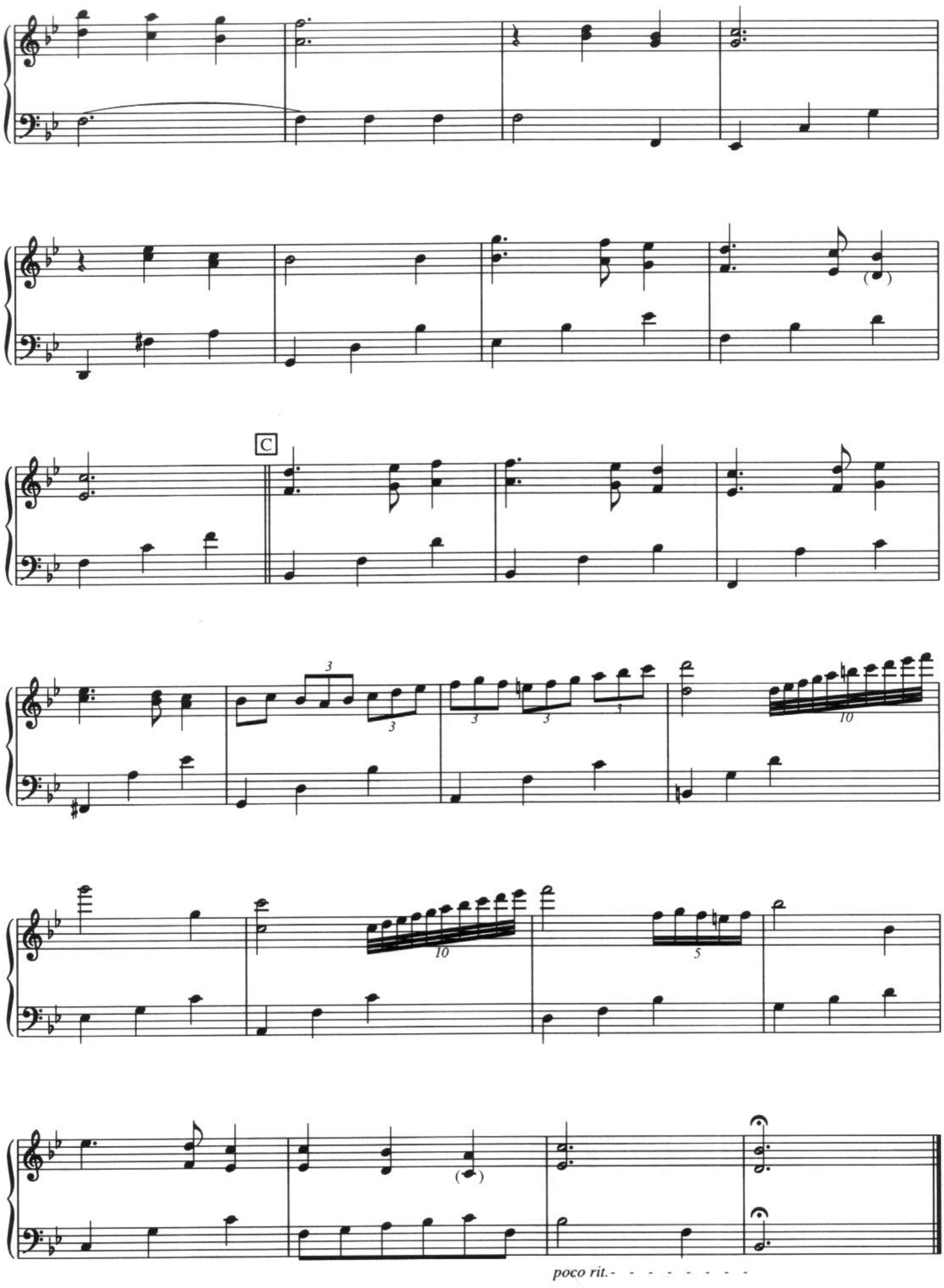
A Mozart Reincarnated

【モーツァルト再来】

music by Ennio Morricone

きれいに、丁寧に、安らかなるひとときを形作りましょう。右手2和音の着地をそろえて、ピアノをよく歌わせて下さい。声高に聴かせるのではなく、優しく奏でていきます。カチカチのインテンポではなく、少し、心地よい揺れをまじえながら、ゆったり進んでいきましょう。右手上昇パッセージは、スルスルリ…とスムーズに。
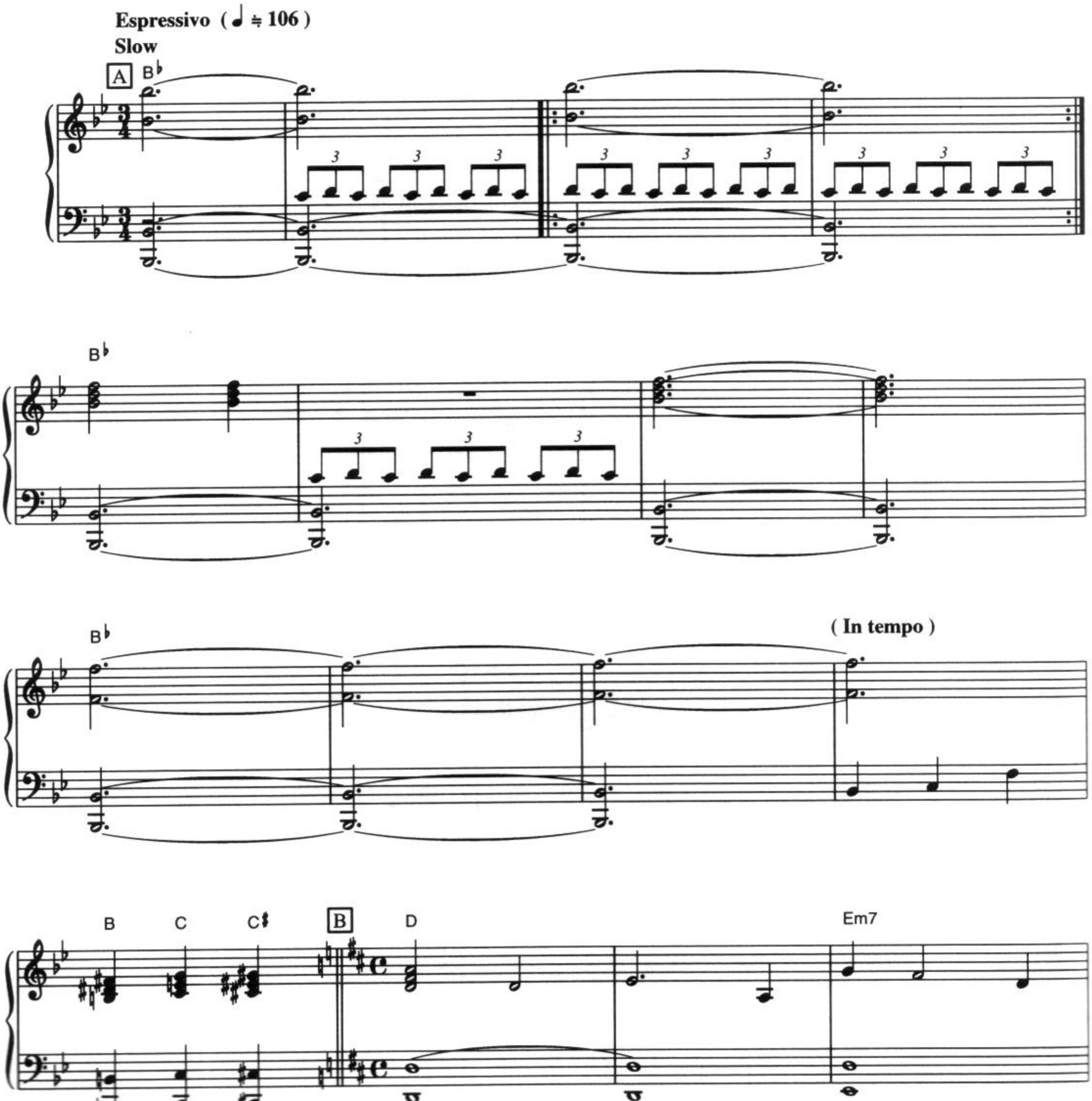



C
3
3
3
3
3
10
10
5
poco rit.
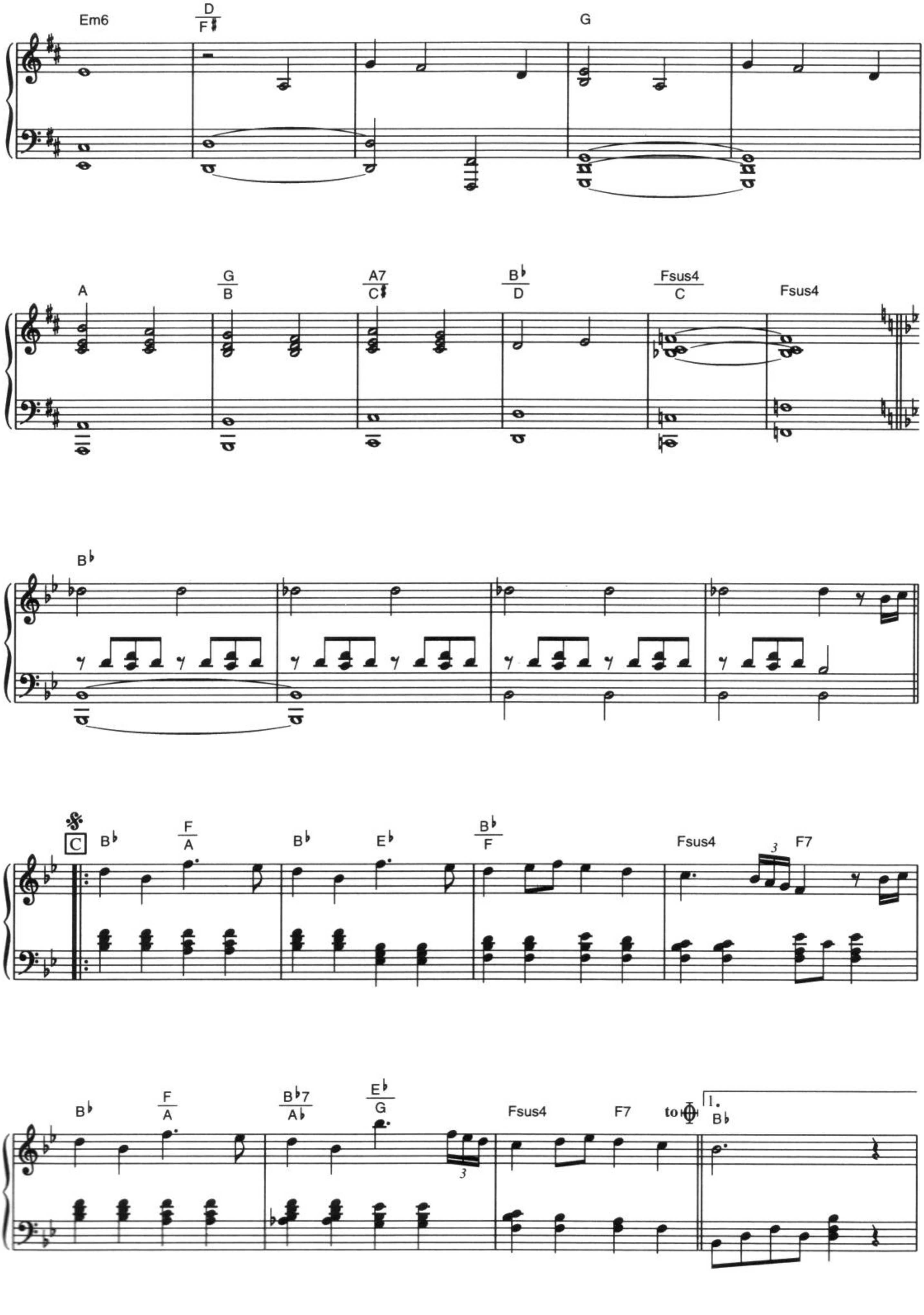
Child
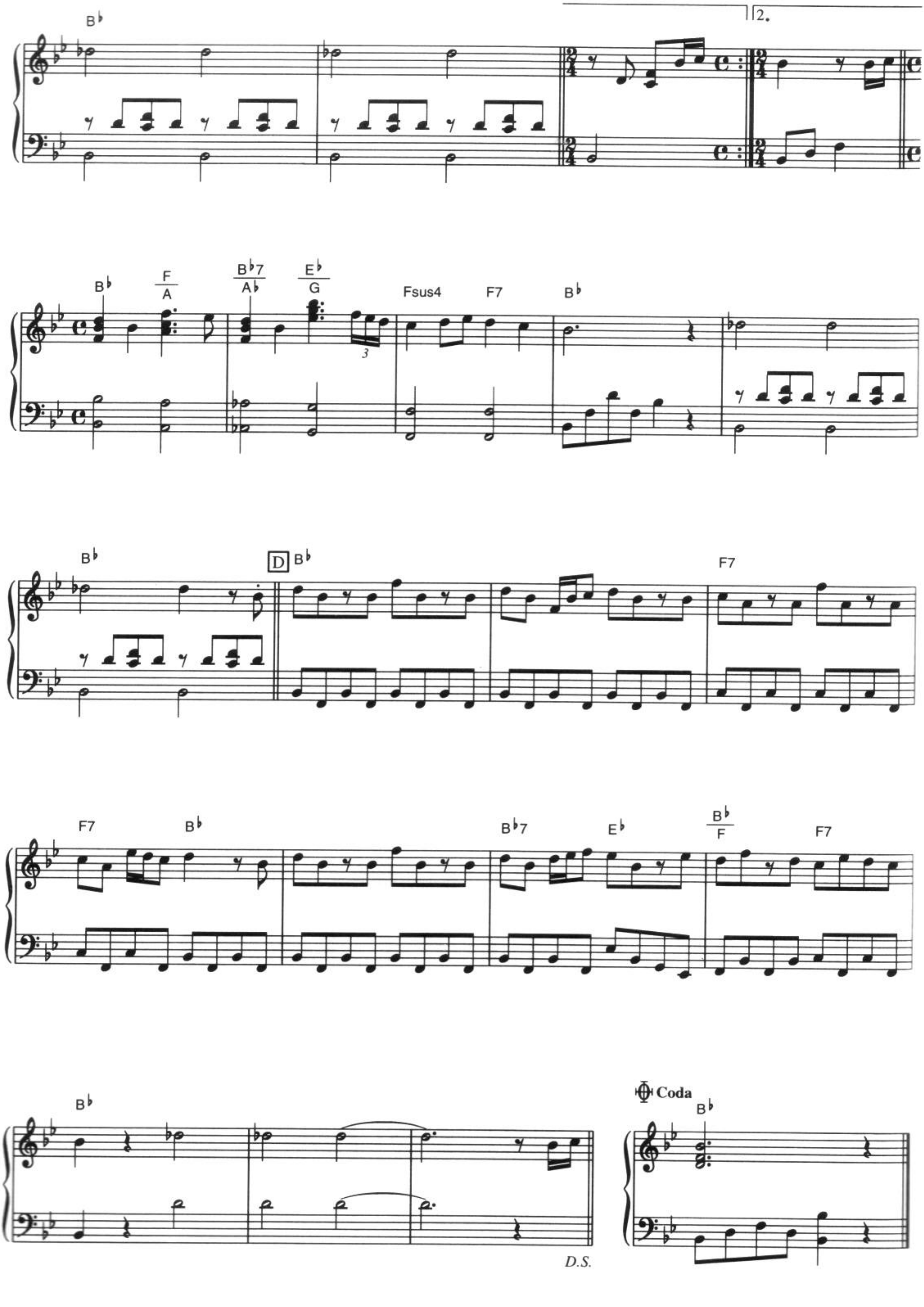
【チャイルド】

music by Ennio Morricone

B♭サウンドがフワーッと響いて、もやに包まれたようにスタートします。B前のクロマチック上昇和音で、サーッと視界が開け、動きが出てきますね。C 4小節前から、B♭の和声の中にD♭音が印象的に鳴らされます。うーん、"恐るべし、チャイルド！" C以降、右手メロは軽やかに奏でられ、その途中でまた不意に聴こえるD♭音、そして、Dでは短２度の威力！？をお楽しみ下さい。




Em6
D/F♯
G
A
G/B
A7/C♯
B♭/D
Fsus4/C
Fsus4
B♭
C
B♭
F/A
B♭
E♭
B♭/F
Fsus4
F7
B♭
F/A
B♭7/A♭
E♭/G
Fsus4
F7
to
1.
B♭
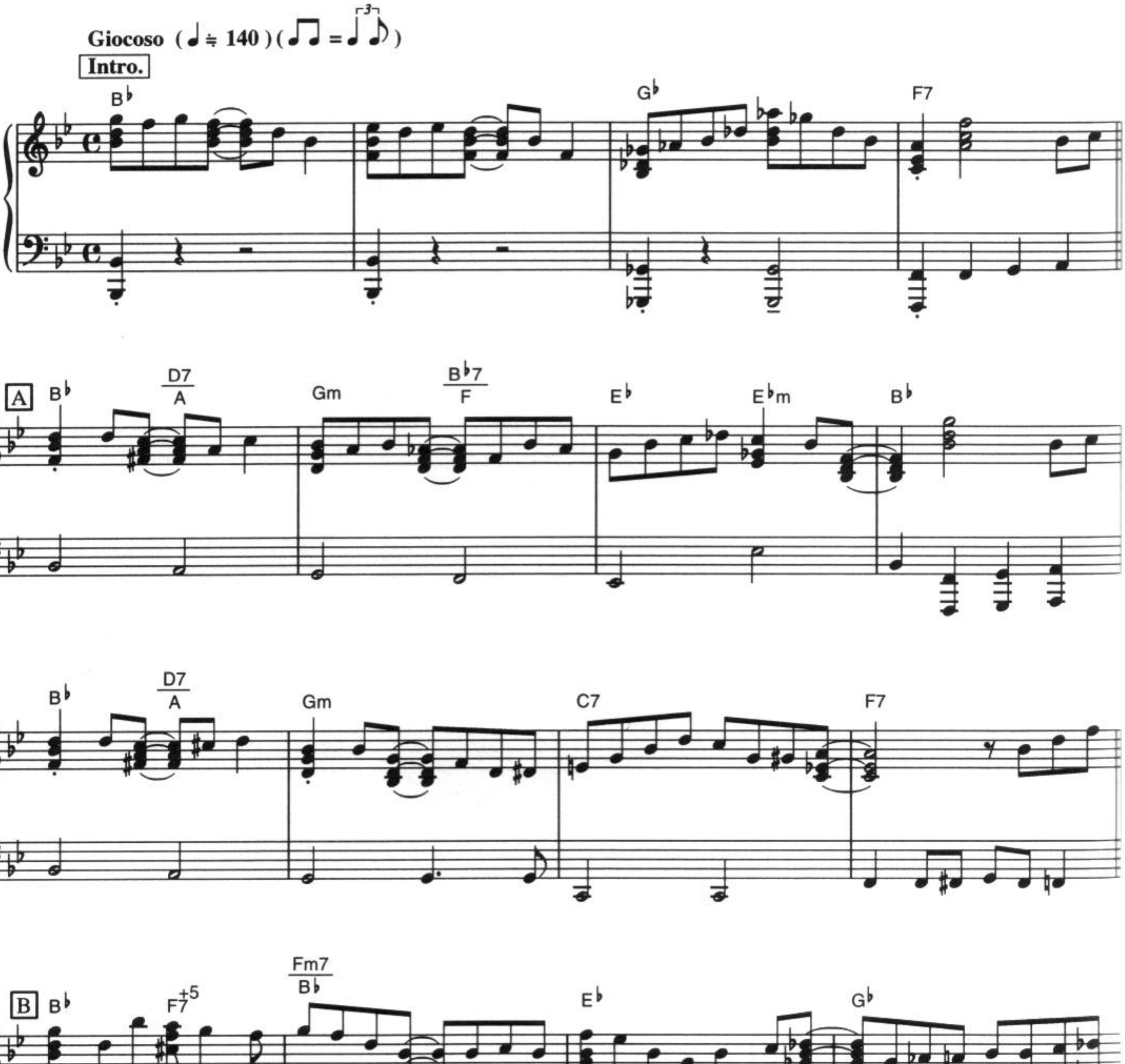

B♭
2.
B♭
F/A
B♭7/A♭
E♭/G
3
Fsus4
F7
B♭
B♭
D
B♭
F7
F7
B♭
B♭7
E♭
B♭/F
F7
B♭
D.S.
Coda
B♭
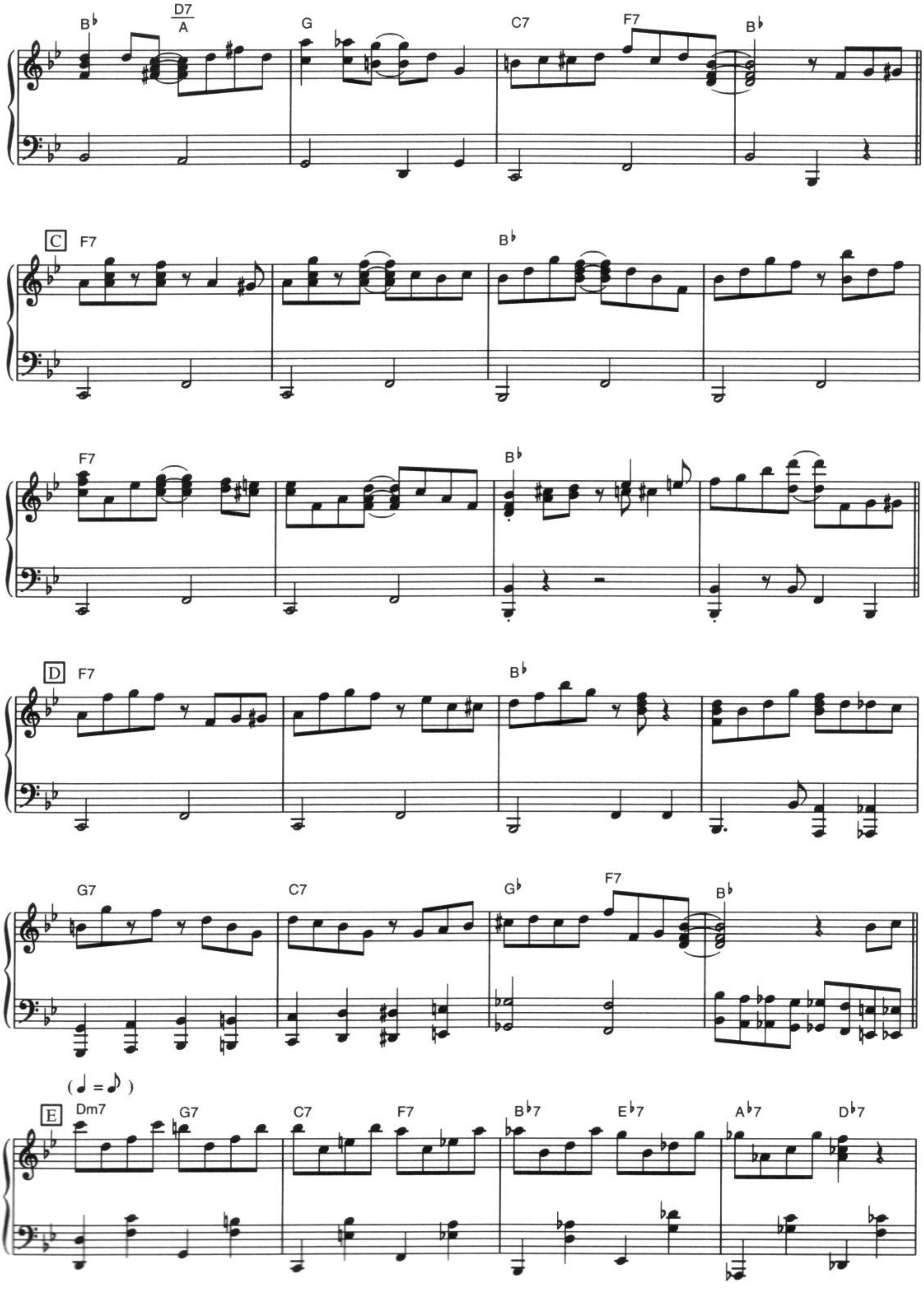
1900's Madness #1
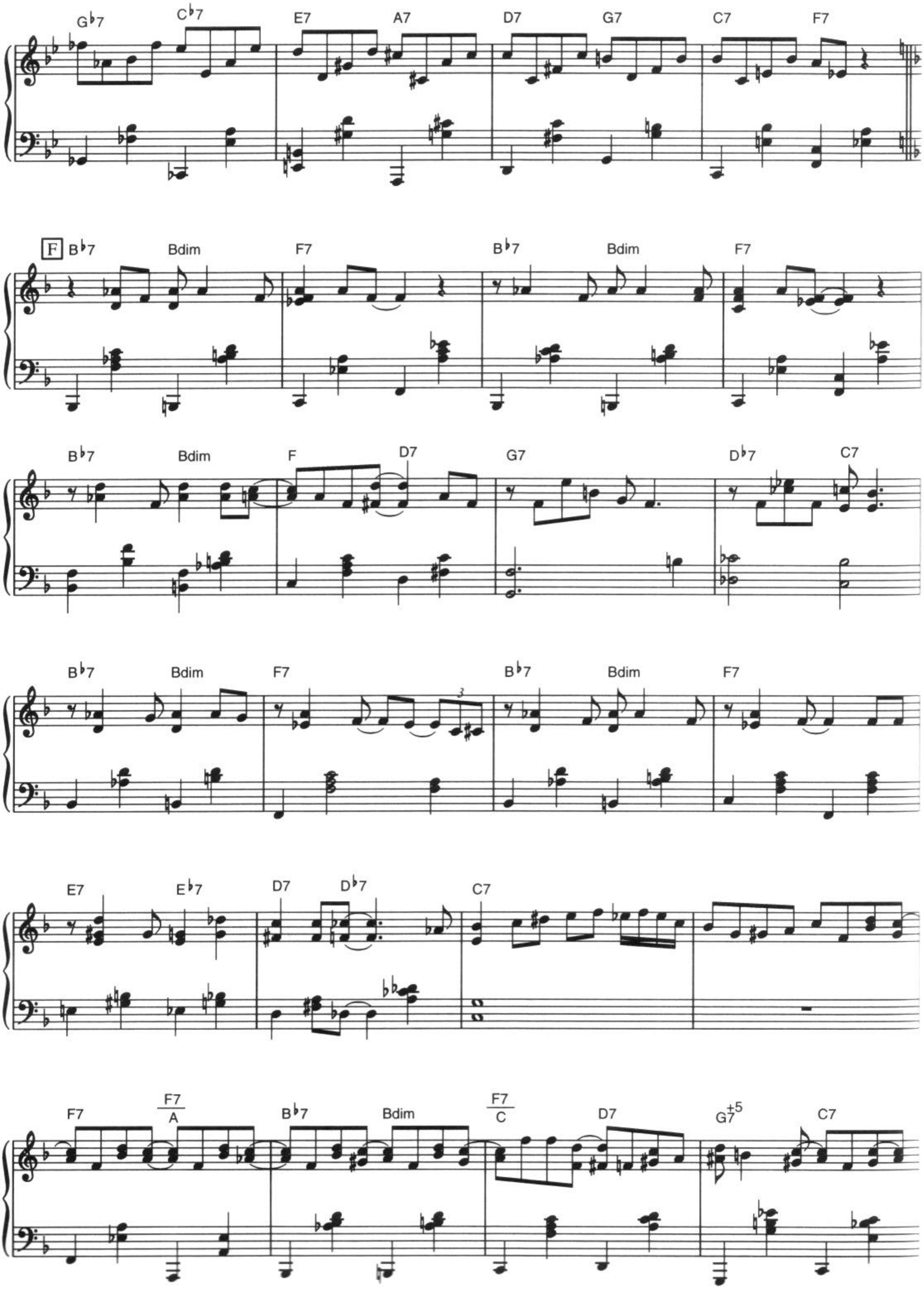
【"1900" マッドネス No.1】
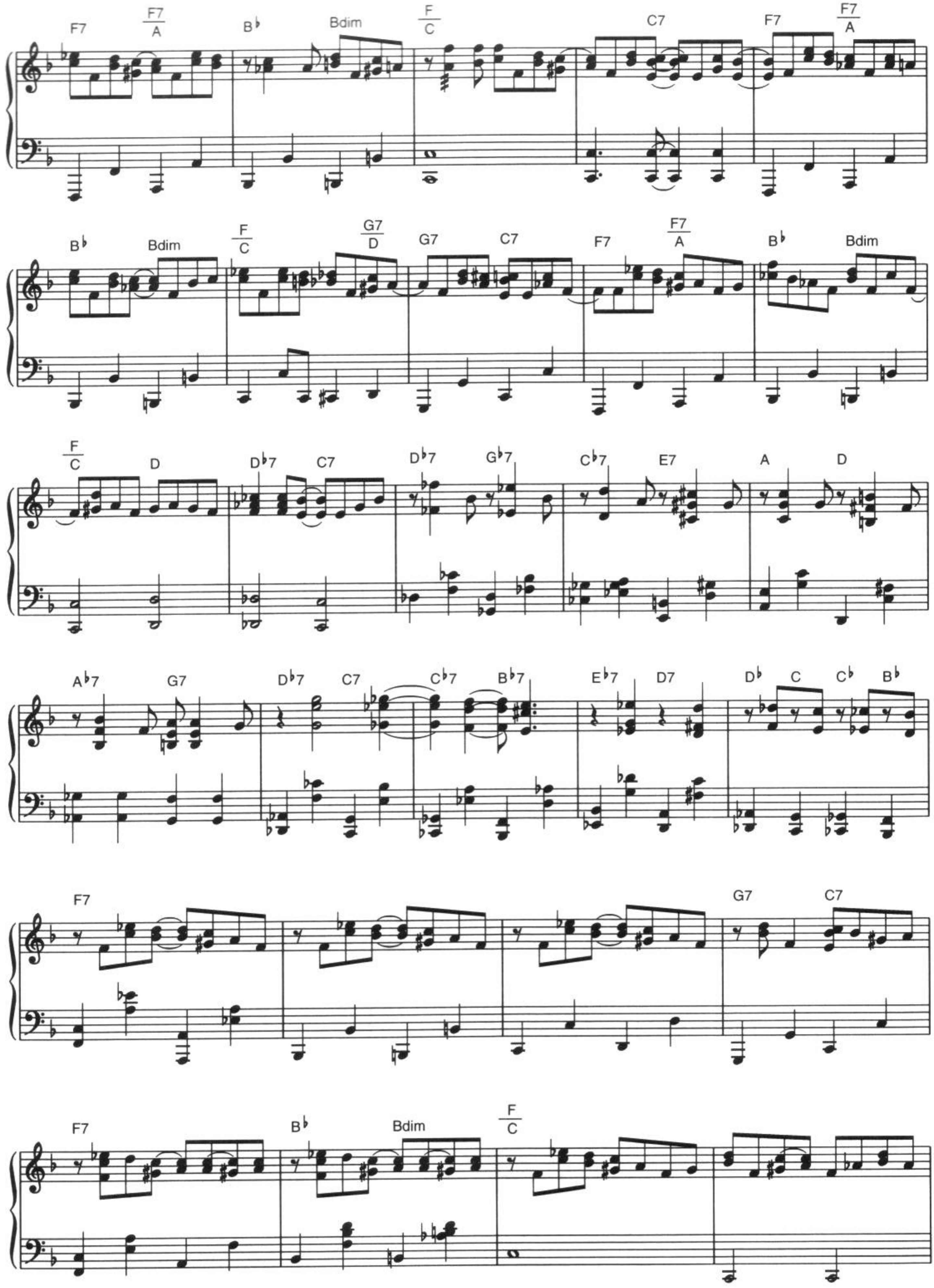
music by Ennio Morricone & Amedeo Tommasi
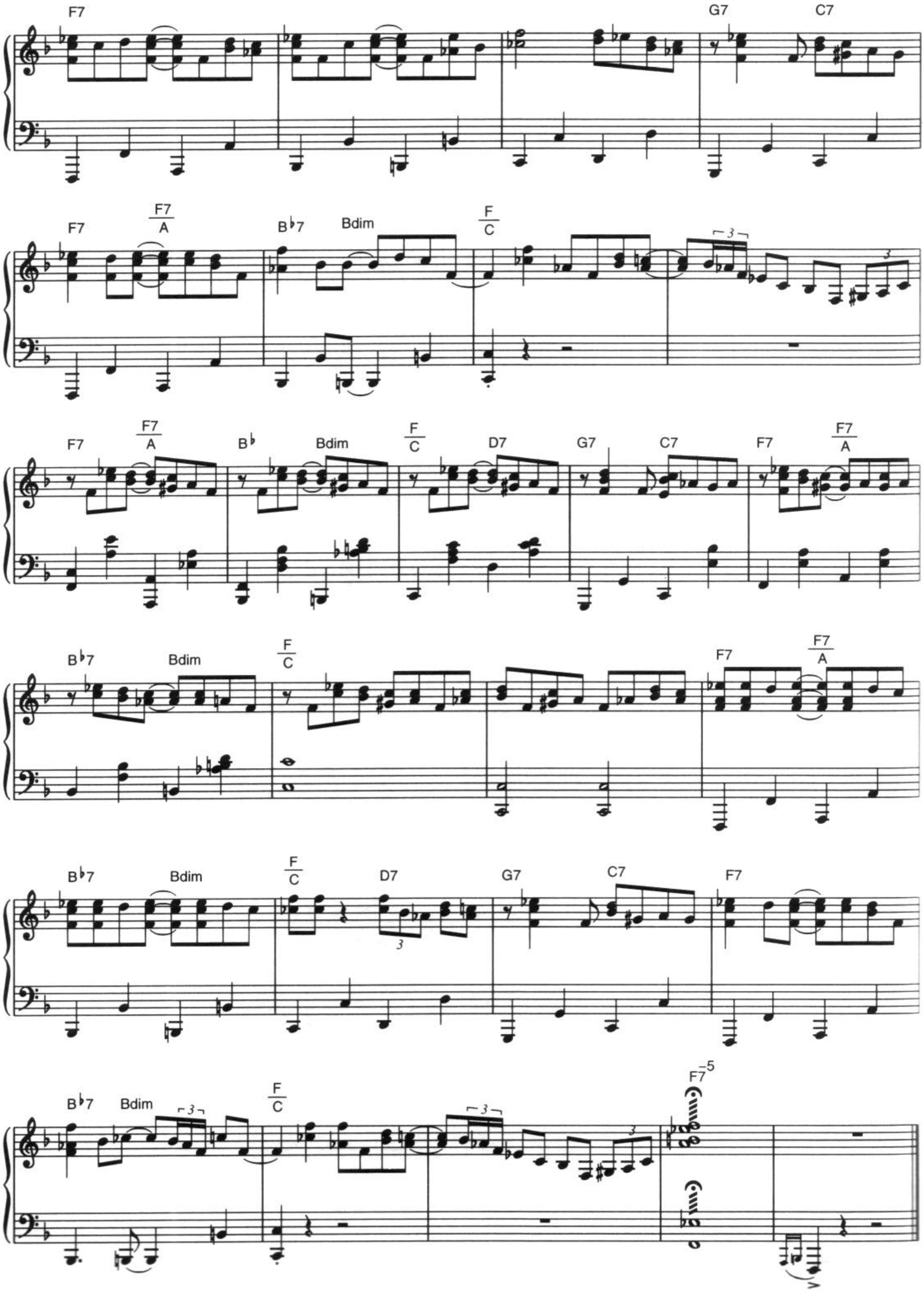
Dいっぱいまでは、ふんわり、リラックスムードで、3連リズムによるSwingを楽しみながら奏でましょう。そして、E前1小節左手下降オクターヴで次への導入を図り、Eからは、それまでの2倍のテンポとなり、軽快にとばしていきたい…ものですね。めまぐるしく動くパッセージ、左手伴奏のスライドによる音程跳び、まずはスローテンポからリハーサルを積みましょう。慣れてきたら心地よいグルーヴが作り出され、ぐんぐん、止まらないほどいい気持ちとなることでしょう。




B♭ D7/A G C7 F7 B♭
C F7 B♭
F7 B♭
D F7 B♭
G7 C7 G♭ F7 B♭
(♩ = ♪)
E Dm7 G7 C7 F7 B♭7 E♭7 A♭7 D♭7


G♭7 C♭7 E7 A7 D7 G7 C7 F7
F B♭7 Bdim F7 B♭7 Bdim F7
B♭7 Bdim F D7 G7 D♭7 C7
B♭7 Bdim F7 B♭7 Bdim F7
E7 E♭7 D7 D♭7 C7
F7 F7/A B♭7 Bdim F7/C D7 G7+5 C7


F7 F7/A B♭ Bdim F/C C7 F7 F7/A
B♭ Bdim F/C G7/D G7 C7 F7 F7/A B♭ Bdim
F/C D D♭7 C7 D♭7 G♭7 C♭7 E7 A D
A♭7 G7 D♭7 C7 C♭7 B♭7 E♭7 D7 D♭ C C♭ B♭
F7 G7 C7
F7 B♭ Bdim F/C
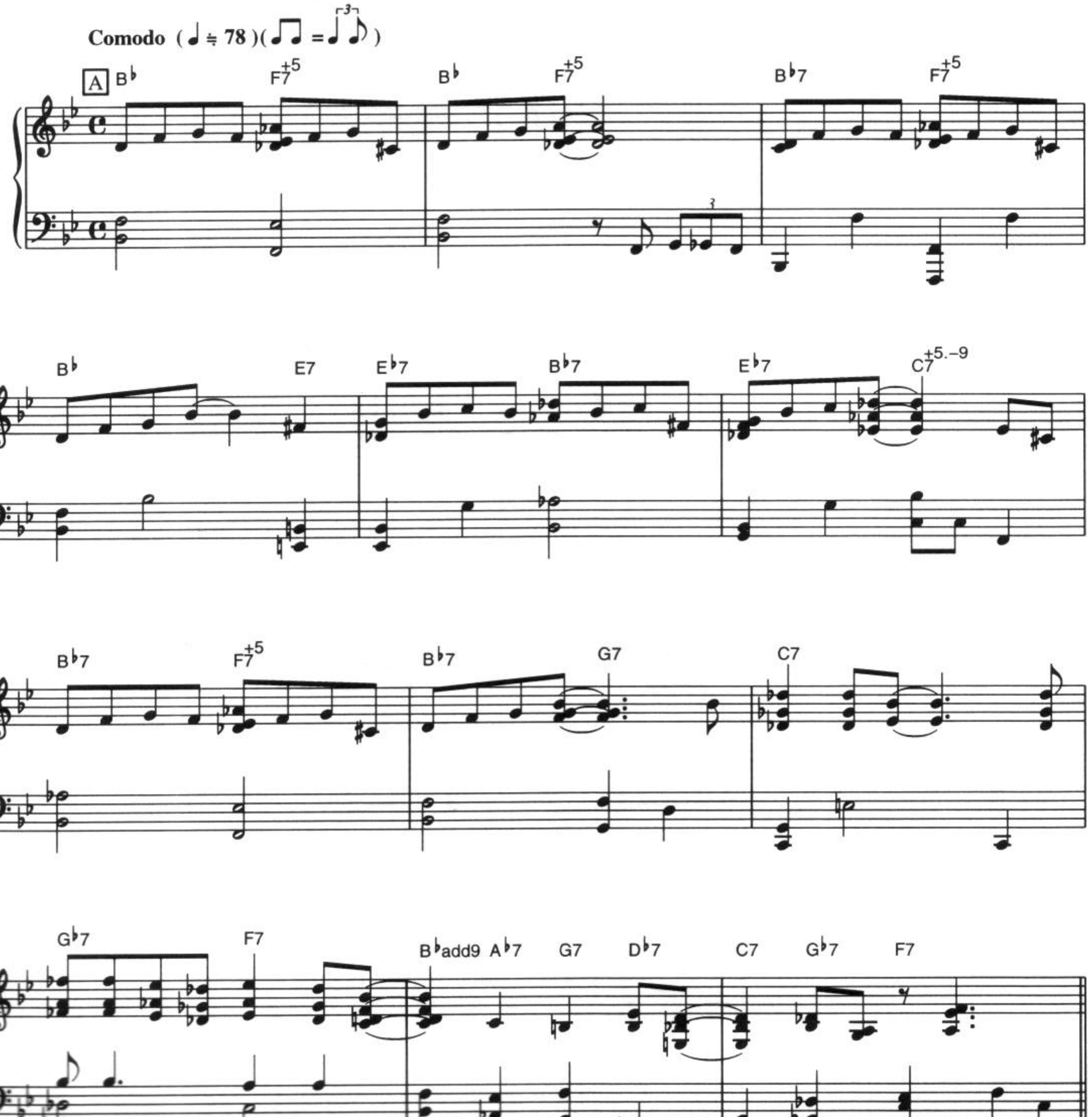

F7 G7 C7
F7 F7/A B♭7 Bdim F/C
F7 F7/A B♭ Bdim F/C D7 G7 C7 F7 F7/A
B♭7 Bdim F/C F7 F7/A
B♭7 Bdim F/C D7 G7 C7 F7
B♭7 Bdim F/C F7−5
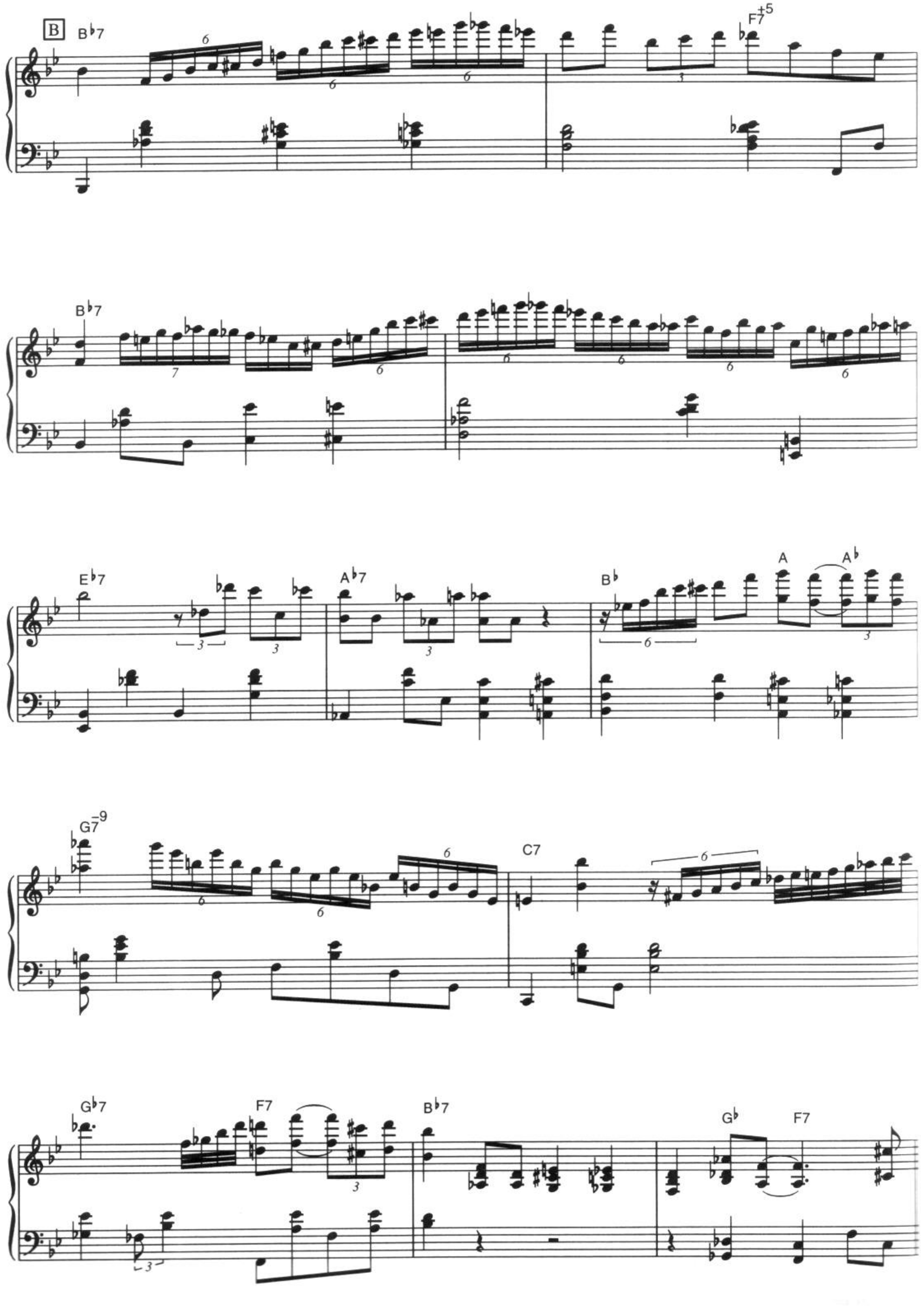
Danny's Blues
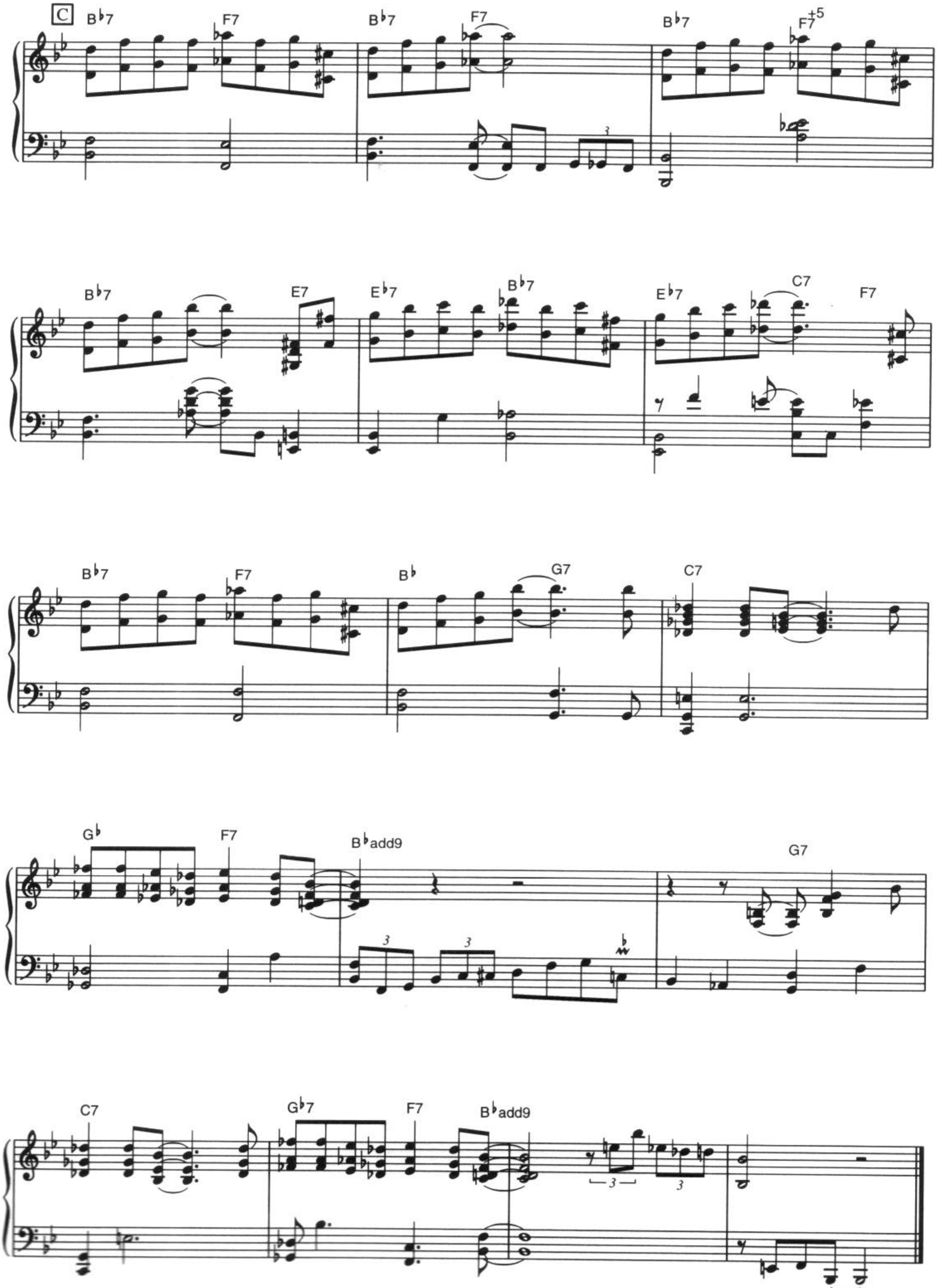
【ダニーズ・ブルース】

music by Amedeo Tommasi

ゆったり、気ままなblues feelin'を楽しみましょう。３連が付点にまでなってしまわないよう、程良いあとひきタッチ、ネバリを持って奏でます。オリジナルをよく聴き、参考にして下さい。Bからアドリブ展開で、音数がぐっと増します。あまりにインテンポにこだわらずに、快い揺れを加味してアプローチしましょう。左手10度の和音の部分は、アルペジオでも可です。




B
B♭7
F7+5
B♭7
E♭7
A♭7
B♭
A
A♭
G7-9
C7
G♭7
F7
B♭7
G♭
F7

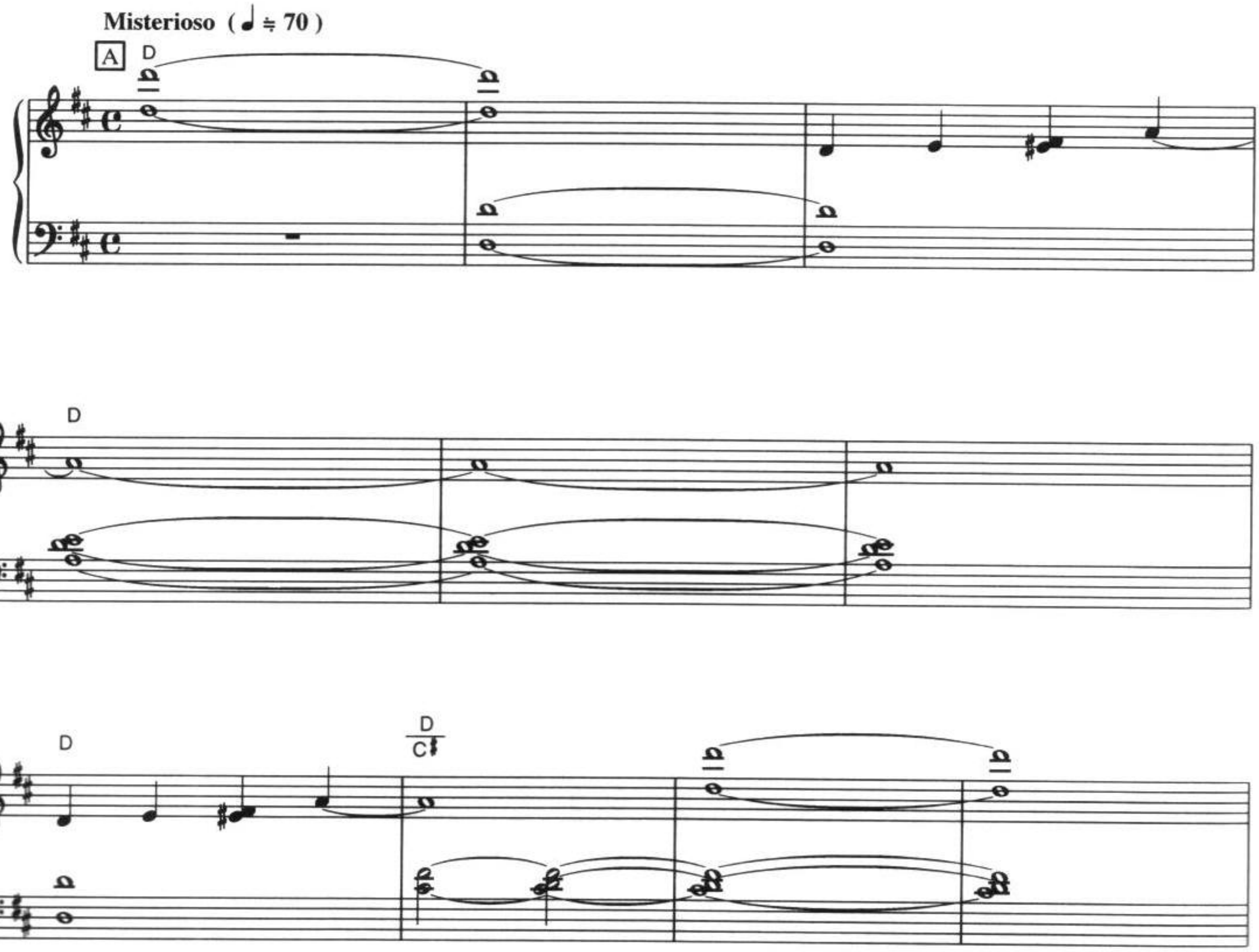

C
B♭7
F7
B♭7
F7
B♭7
F7+5
B♭7
E7
E♭7
B♭7
E♭7
C7
F7
B♭7
F7
B♭
G7
C7
G♭
F7
B♭add9
G7
C7
G♭7
F7
B♭add9
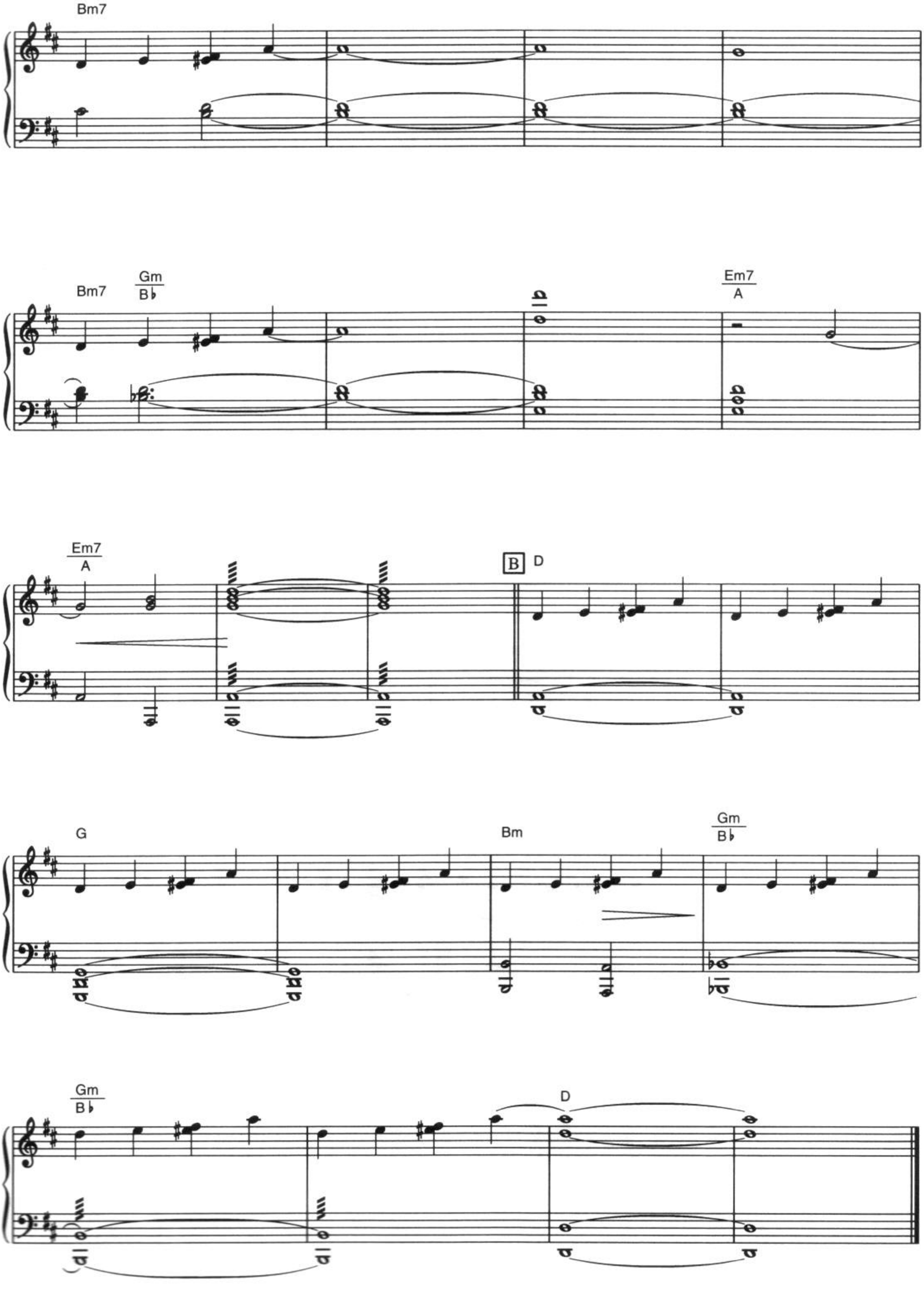
Second Crisis

【セカンド・クライシス】

music by Ennio Morricone

もやのなかから、ミステリアスサウンドがひそやかに流れてきます。右手３小節目３拍目の短２度和音がポイントですね。エ？アレ？の妙を味わいながら奏でましょう。B前でぐんぐんクレシェンドして、どーんと深みのある音色でBを鳴らします。エンディングへ向けて、dim。静けさのなかへと還っていきます。しんしん…と。
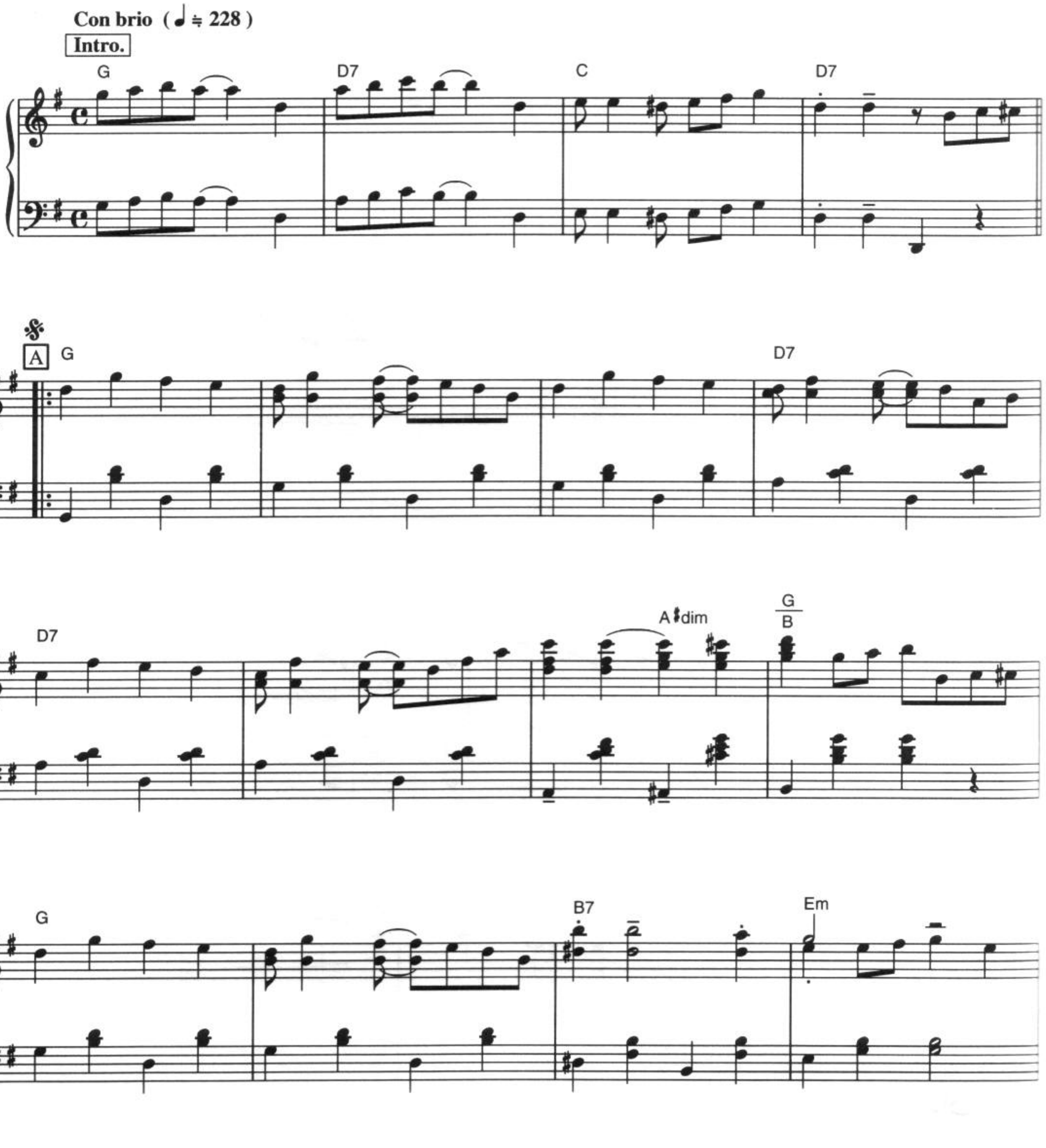



Bm7
Bm7
Gm/B♭
Em7/A
Em7/A
B
D
G
Bm
Gm/B♭
Gm/B♭
D
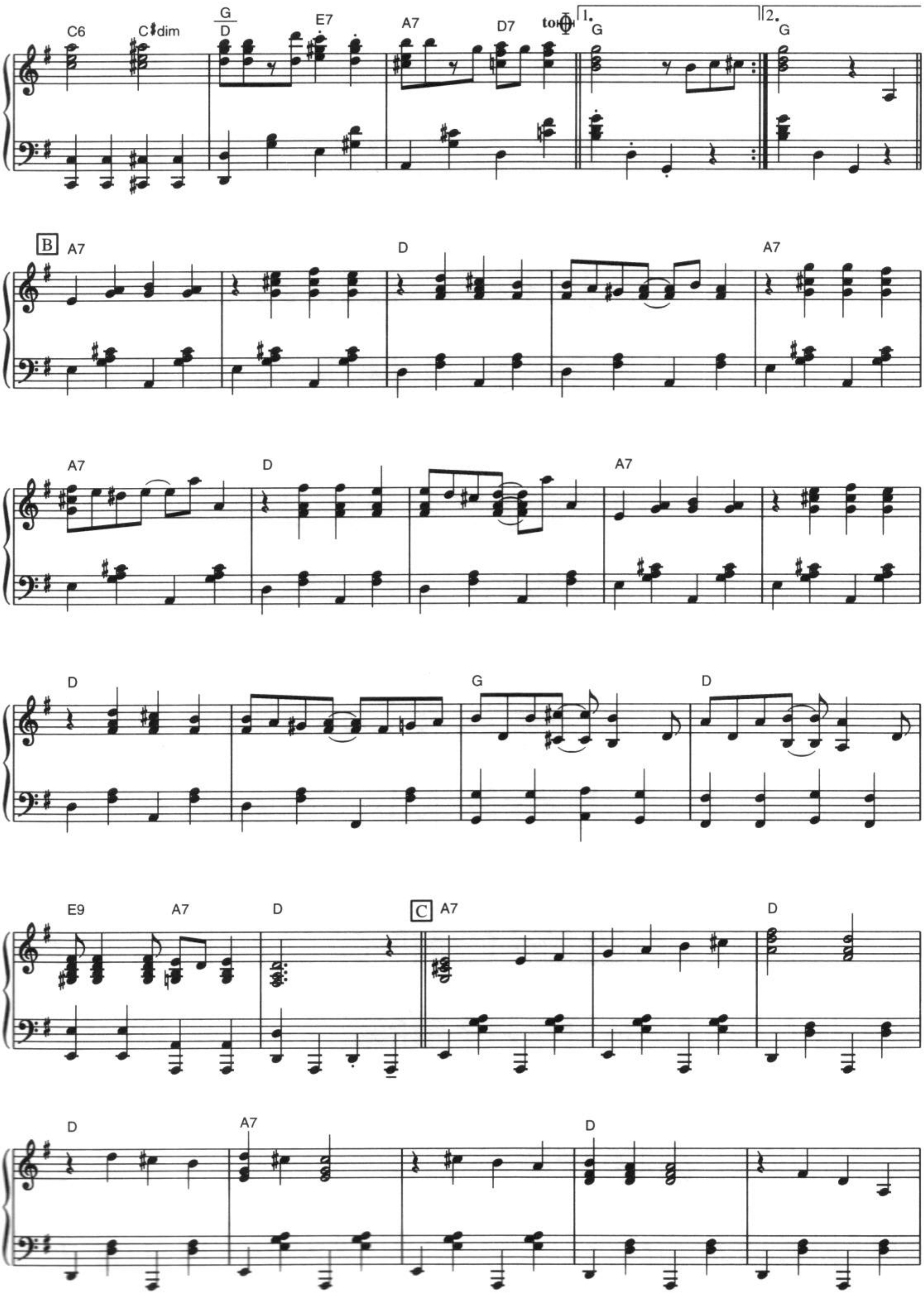
Peacherine Rag
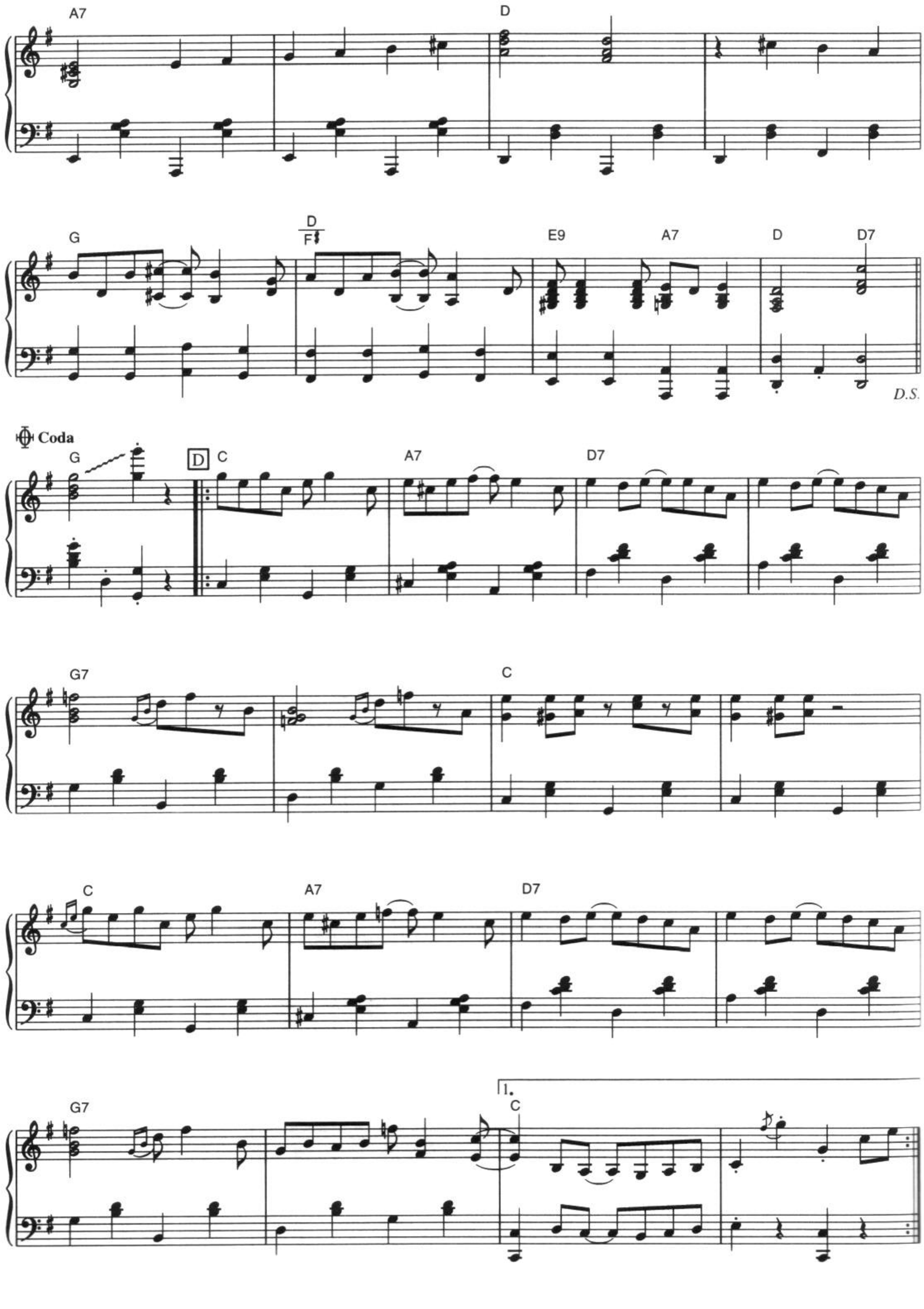
【ピーチェリン・ラグ】
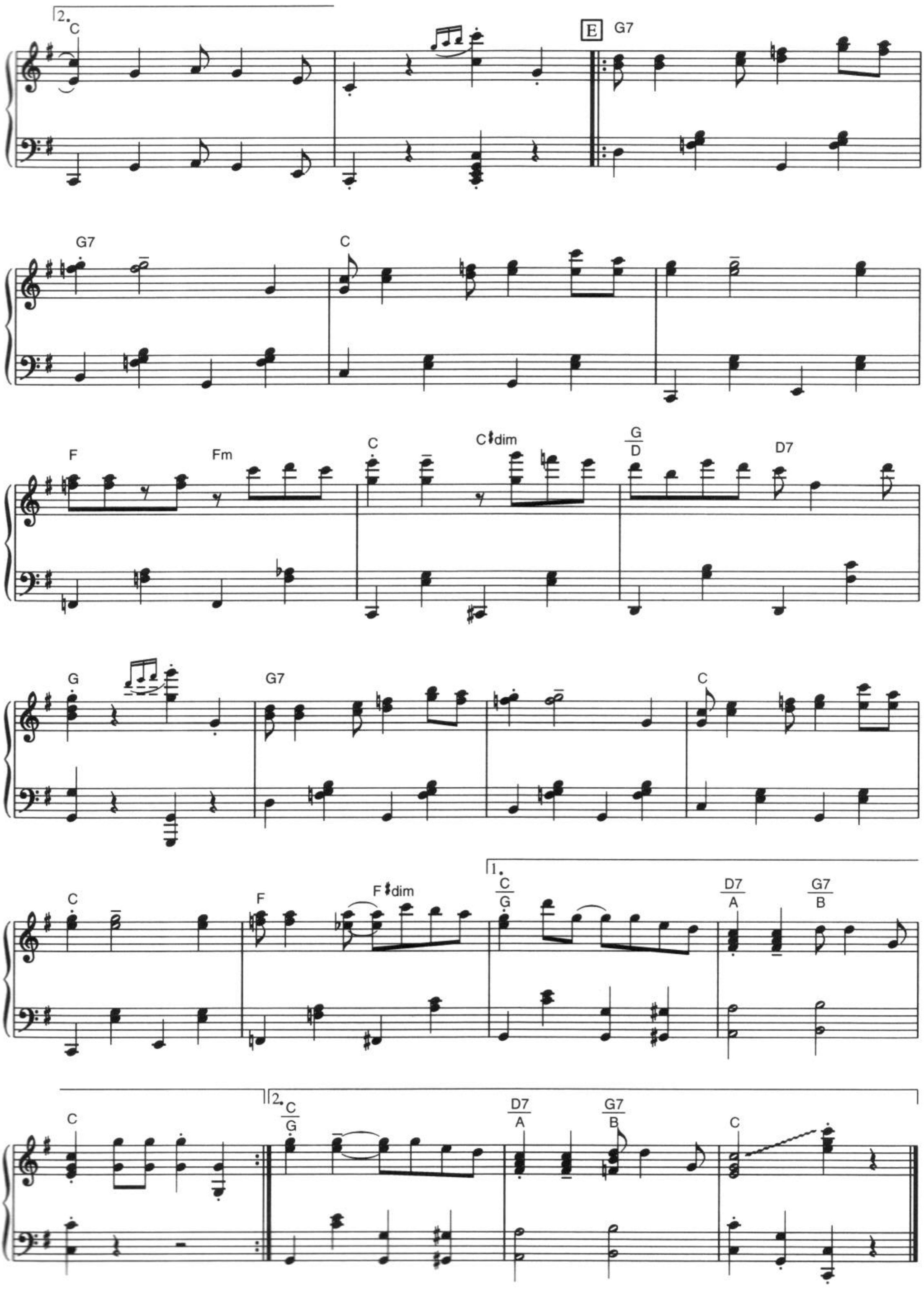
music by Scott Joplin

元気に、陽気に演って下さい。ニコニコ、笑顔がこぼれ、あたりがパアーッと明るくなりますように。イントロは両手にユニゾンフレーズがはっと耳を傾けさせます。アップテンポにびっくりせずに、ノリをつかめると、どんどん加速しても大丈夫…のようなWaveに乗っていけるはず、その快感をめざして、片手リハーサルも一考です。スタッカート、テヌートのニュアンスを楽しみながらど～ぞ～！




C6
C♯dim
G/D
E7
A7
D7
to Φ
1.
G
2.
G
B
A7
D
A7
A7
D
A7
D
G
D
E9
A7
D
C
A7
D
D
A7
D


A7
D
G
D
F♯
E9
A7
D
D7
D.S.
Coda
G
D
C
A7
D7
G7
C
C
A7
D7
G7
1.
C
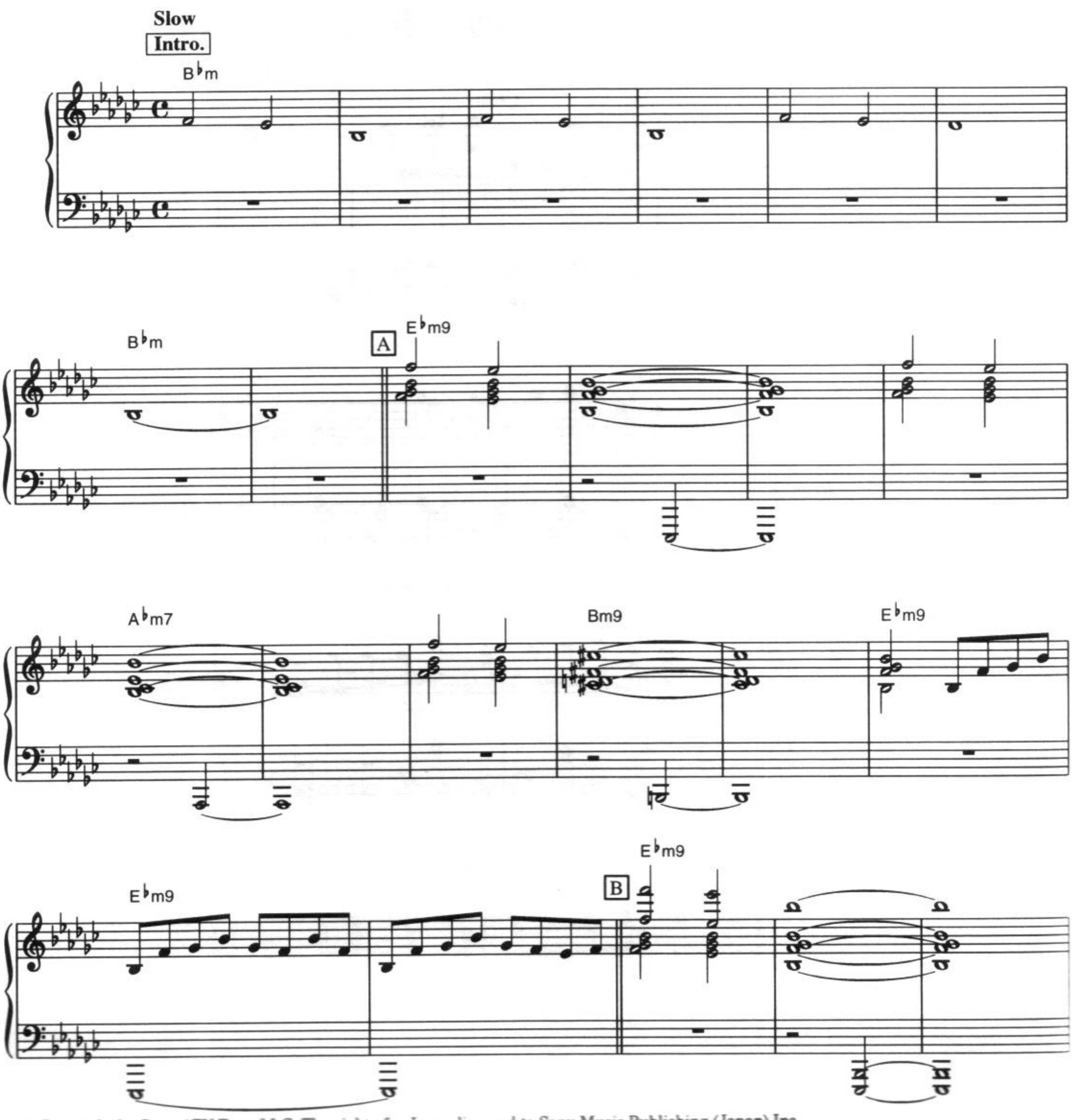

2. C
E G7
G7 C
F Fm C C♯dim G/D D7
G G7 C
C F F♯dim 1. C/G D7/A G7/B
C 2. C/G D7/A G7/B C
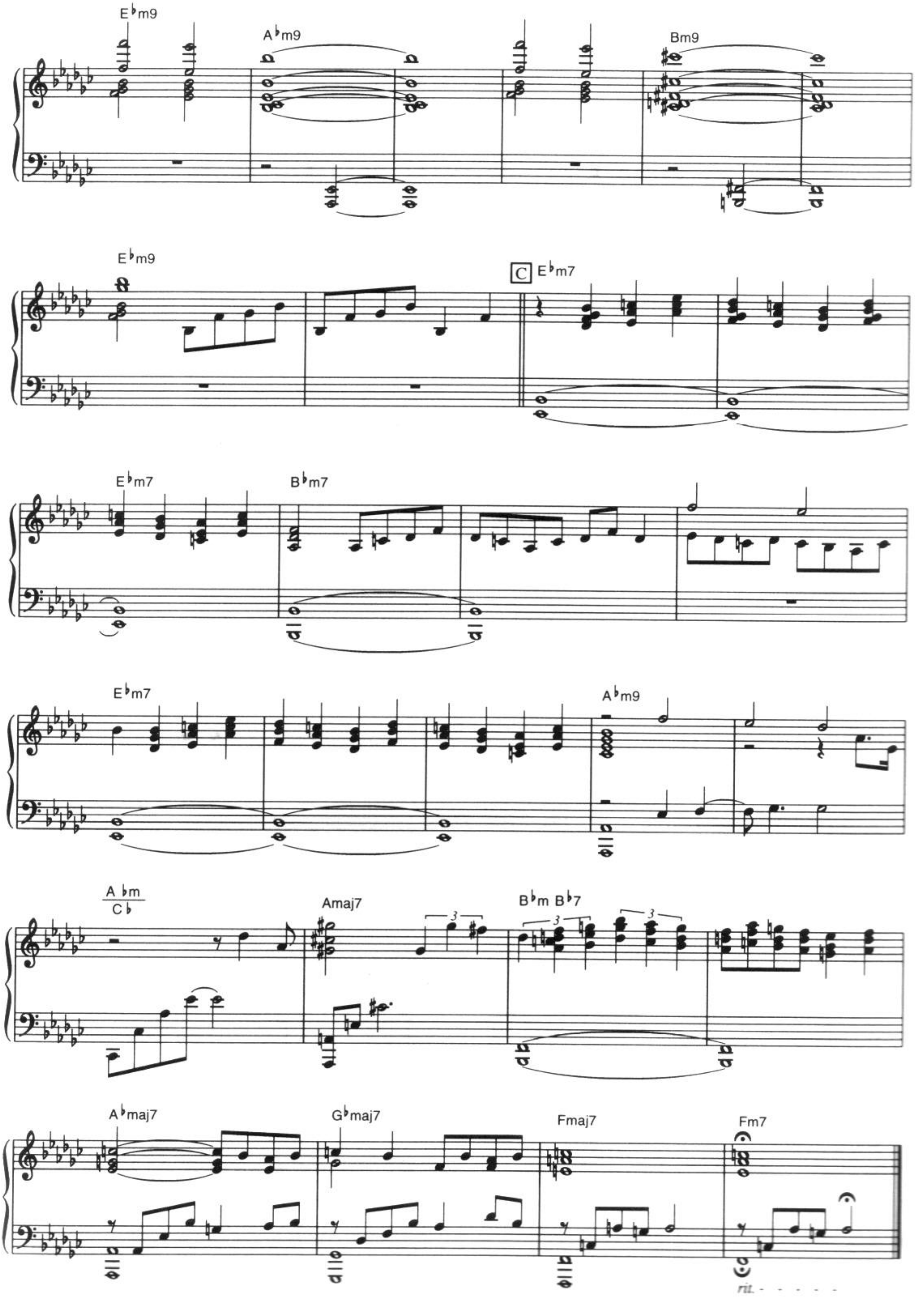
Nocturne with No Moon

【ノクターン・ウィズ・ノー・ムーン】

music by Ennio Morricone

しとーんと波紋が広がるように、音の粒が澄み切った空気の中したたり、落ちていきます。イントロは中域のゆらめき、そしてAからは左手低音域があたりを包み込みます。深みのある音色で、余韻を十分に感じながら奏でましょう。B以降は、さらに音数がプラスされ、彩りが増します。音群による響きを味わいつつ進みましょう。




E♭m9
A♭m9
Bm9
E♭m9
C
E♭m7
E♭m7
B♭m7
E♭m7
A♭m9
A♭m
C♭
Amaj7
B♭m B♭7
A♭maj7
G♭maj7
Fmaj7
Fm7
rit.

Before the End
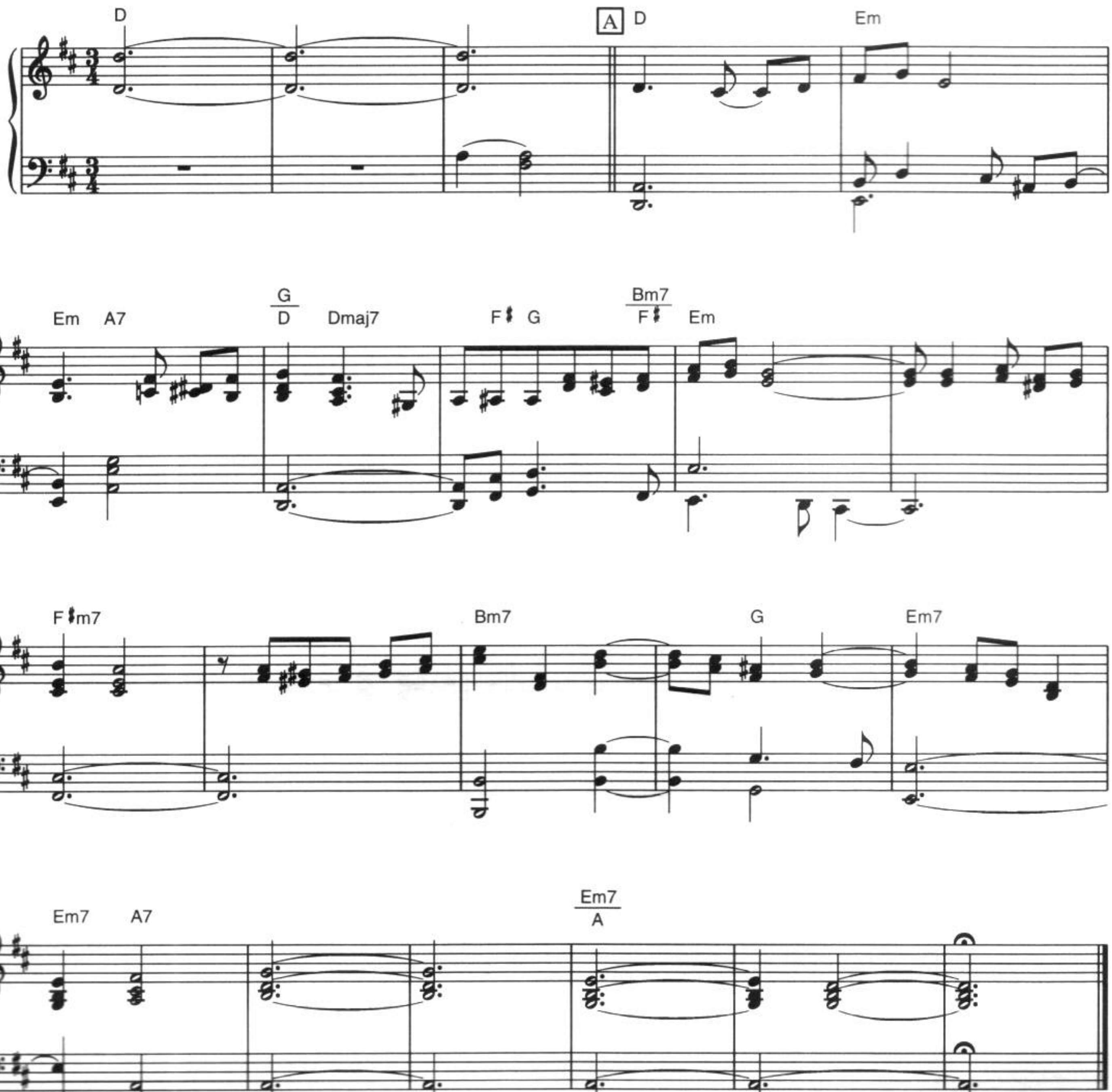
【ビフォー・ジ・エンド】

music by Ennio Morricone

厳かに、ゆったり流れる時を見つめるように進んでいきます。高貴ささえ漂わせ、地球の自転、宇宙の広がり、その大きさを把握できないような、それでいて身近に常に存在するものに想いをはせながら奏でてみて下さい。心にひそむ不思議な光へ到達したり、発見はいつまでも尽きないものですね。

Nobilmente (♩≒ 58)

Intro.

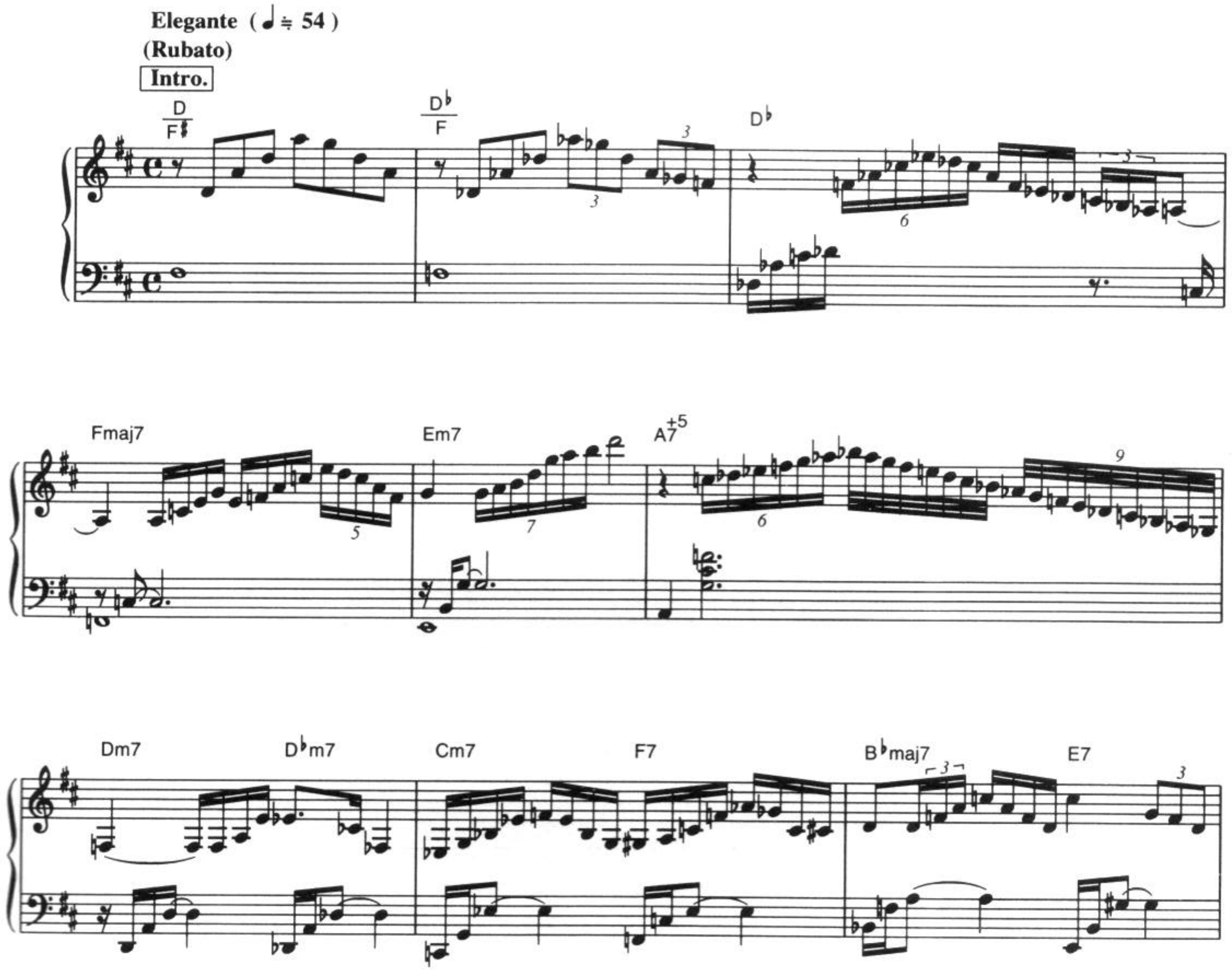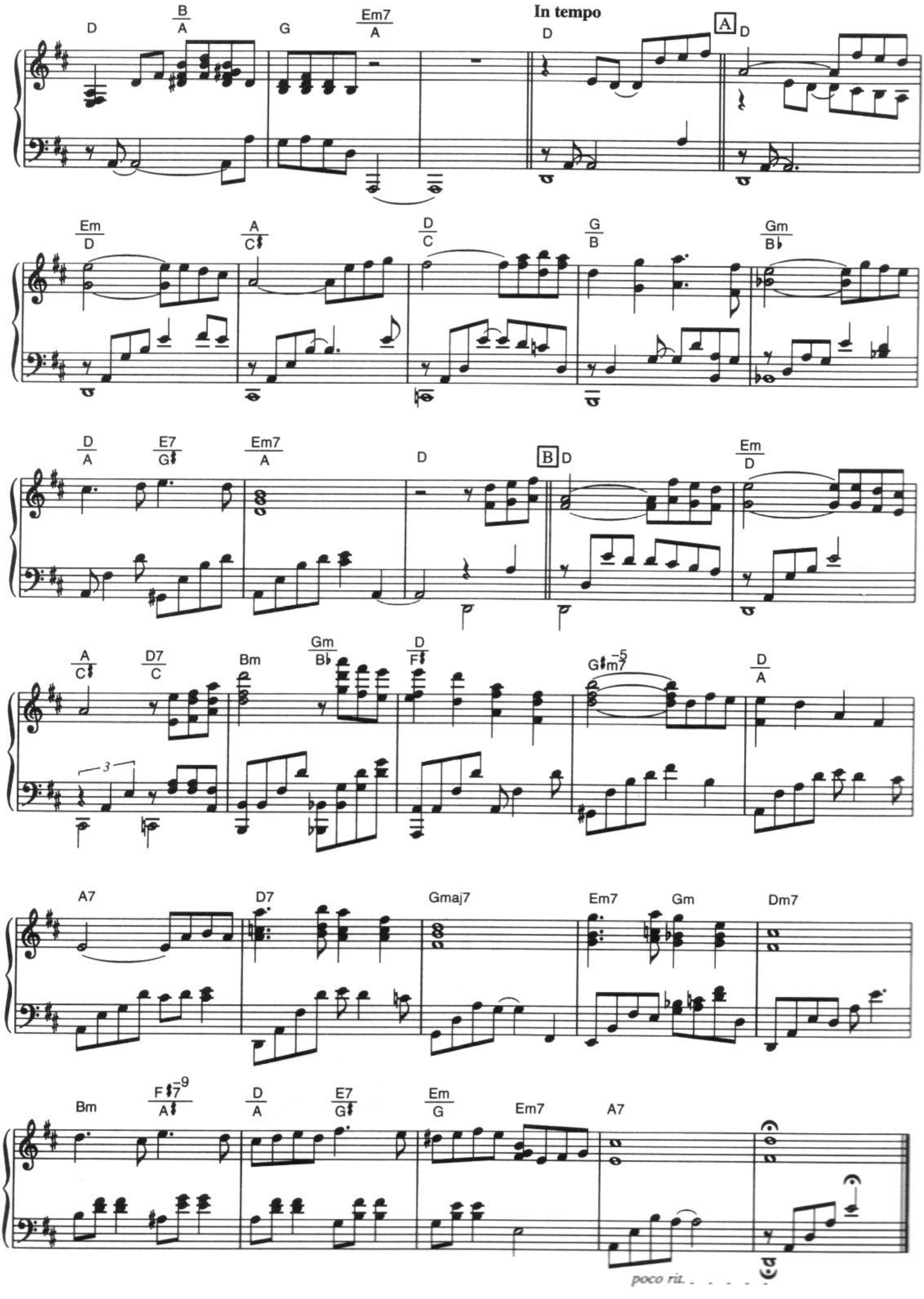


Playing Love

【愛を奏でて（ピアノ編）】

music by Ennio Morricone

うっとりする調べに、ゆったり身を任せて、流麗なるピアノプレイをお届けしましょう。華美な表現ではなく、心にしみ通るような、しっとりした情感を漂わせて進みます。イントロは、ルバートで自由な揺れのもと、サウンドの色彩を変化させつつ聴く人の耳を奪ってしまいましょう。B からは緩やかに、その「間」を待てずに焦ってしまわないように…。
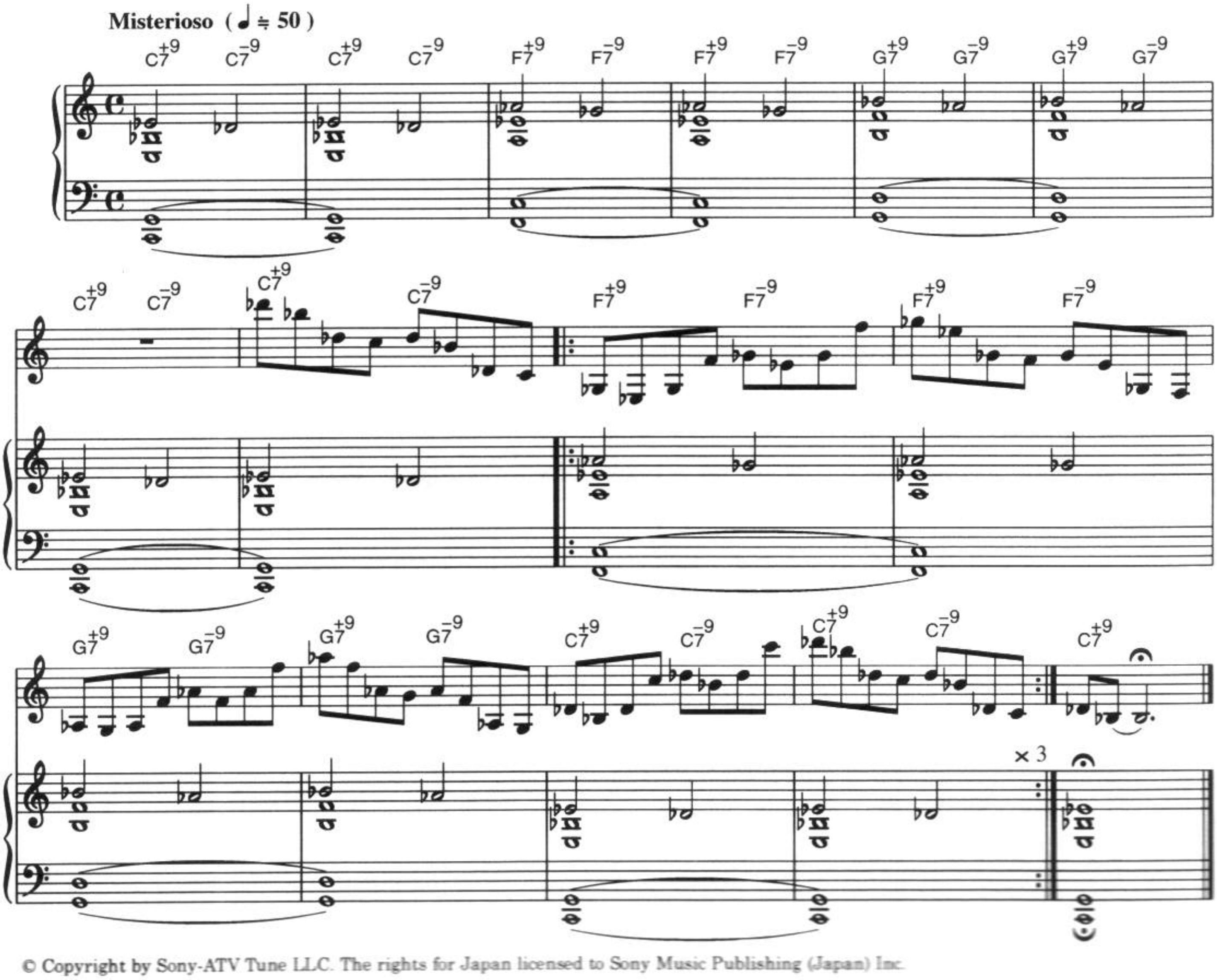



In tempo
A
B
D B/A G Em7/A D D
Em/D A/C♯ D/C G/B Gm/B♭
D/A E7/G♯ Em7/A D D
A/C♯ D7/C Bm Gm/B♭ D/F♯ G♯m7−5 D/A
A7 D7 Gmaj7 Em7 Gm Dm7
Bm F♯7−9/A♯ D/A E7/G♯ Em/G Em7 A7
poco rit.

I Can and Then

【アイ・キャン・アンド・ゼン】

music by Ennio Morricone

白玉を大事に、ふわーっとスタートします。+9、-9のサウンドが平行移動していきます。それぞれの色彩の妙をお楽しみ下さい。左手は、深～い音色で、重みを持って響かせます。そこへ8小節目から8分によるキラ音が登場です。淡々と、そして、透明感のある音と申しましょうか、一歩一歩、確実に動いていきます。
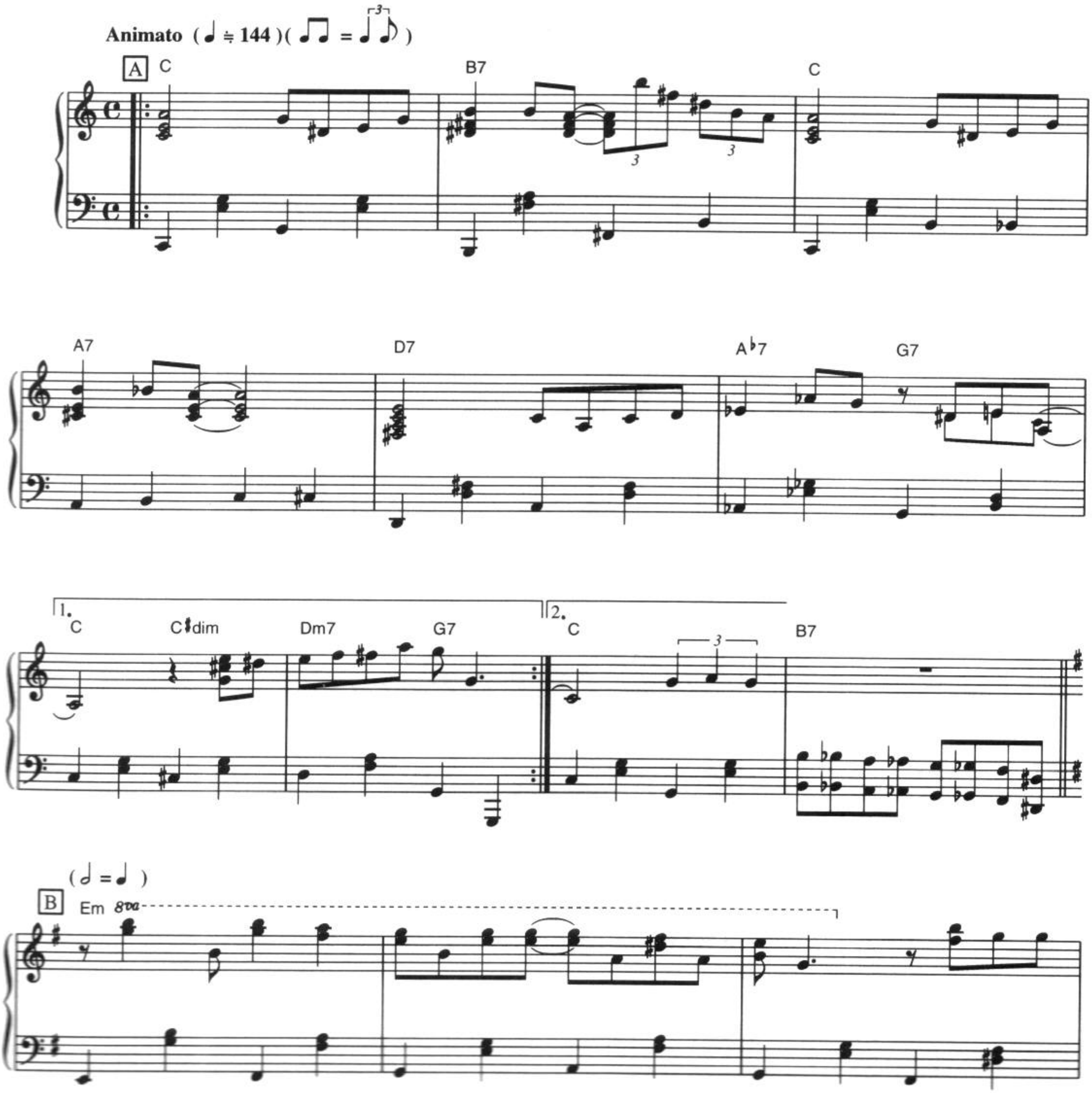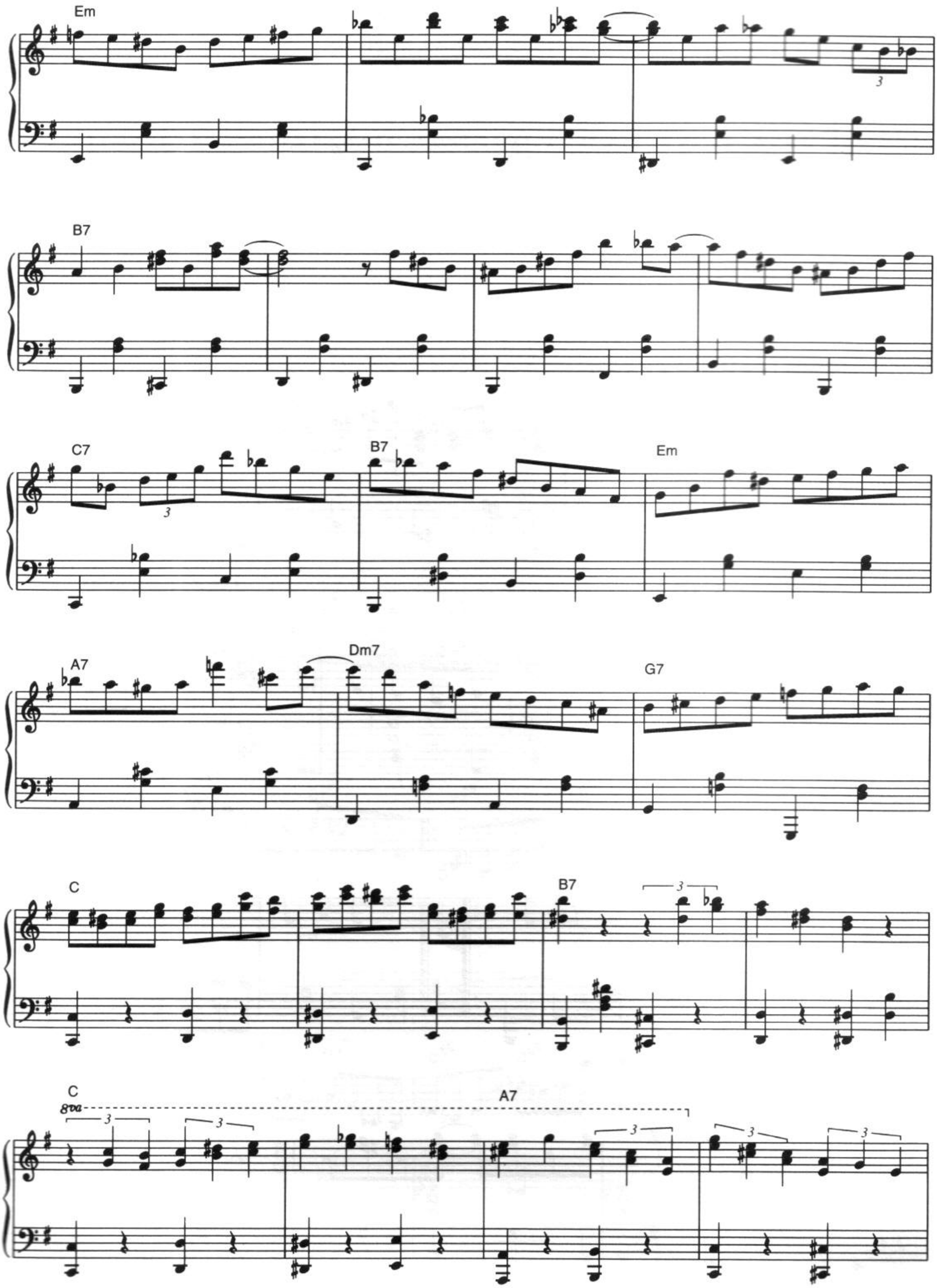


1900's Madness #2
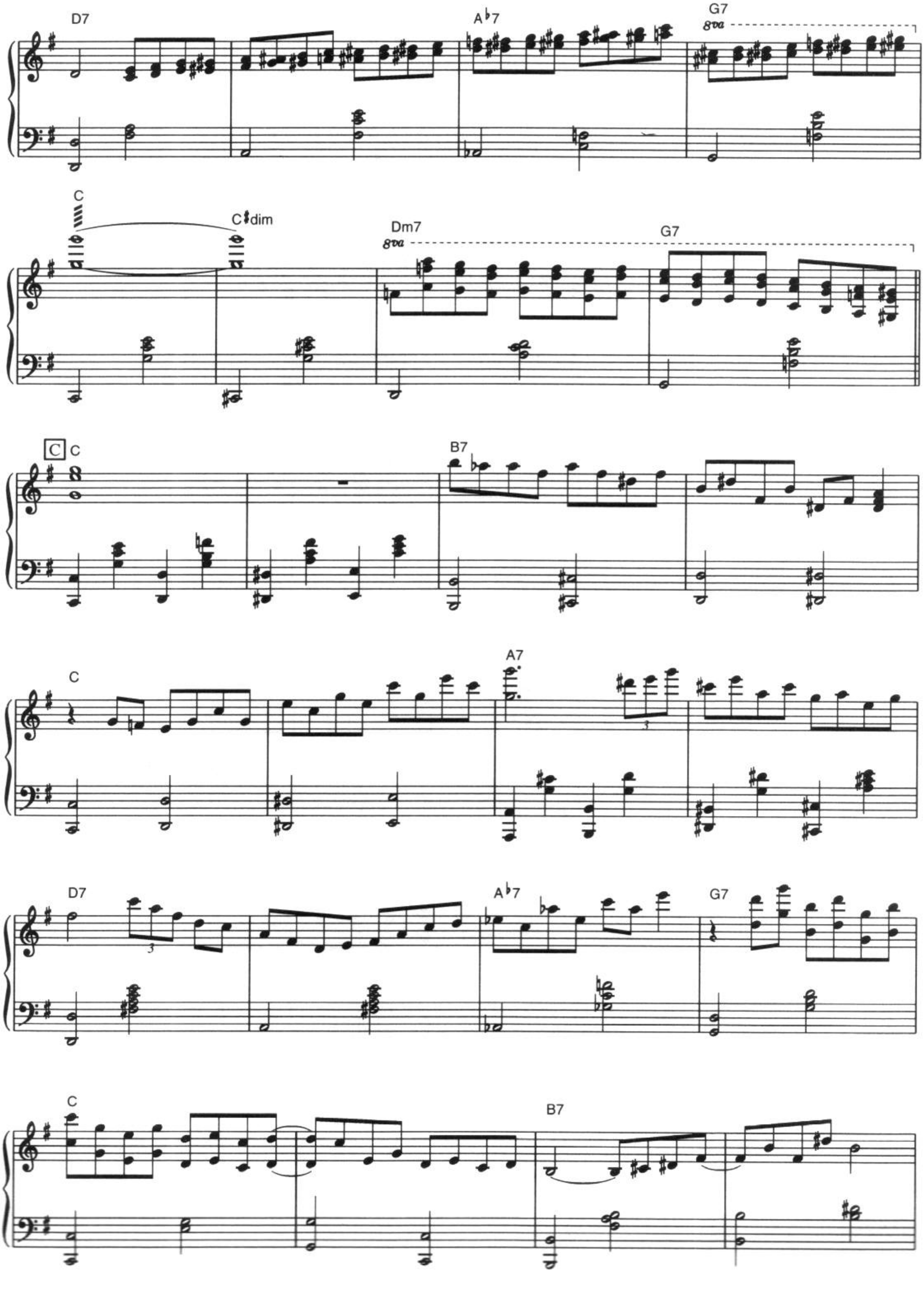
【"1900" マッドネス No.2】
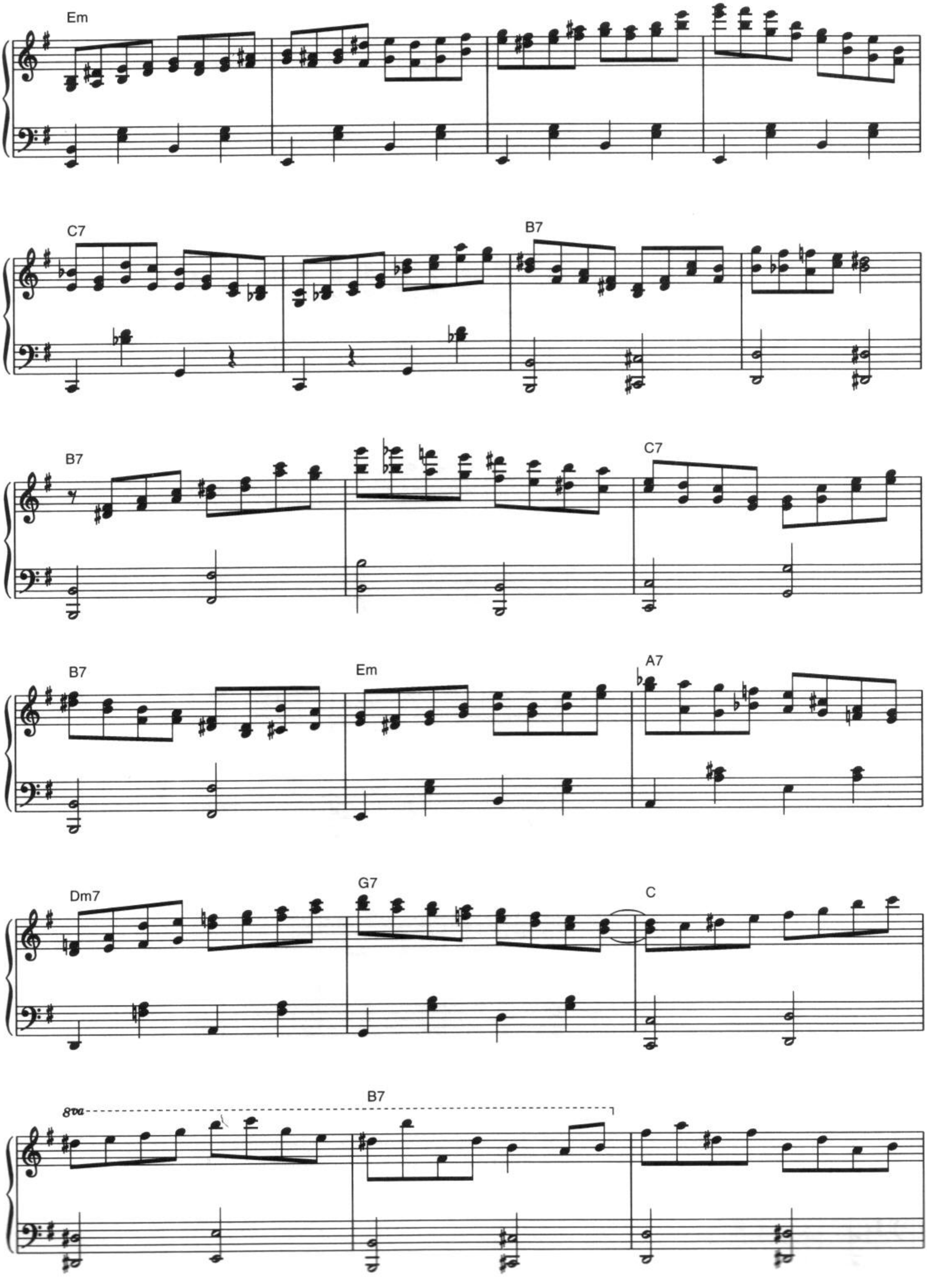
music by Ennio Morricone & Amedeo Tommasi
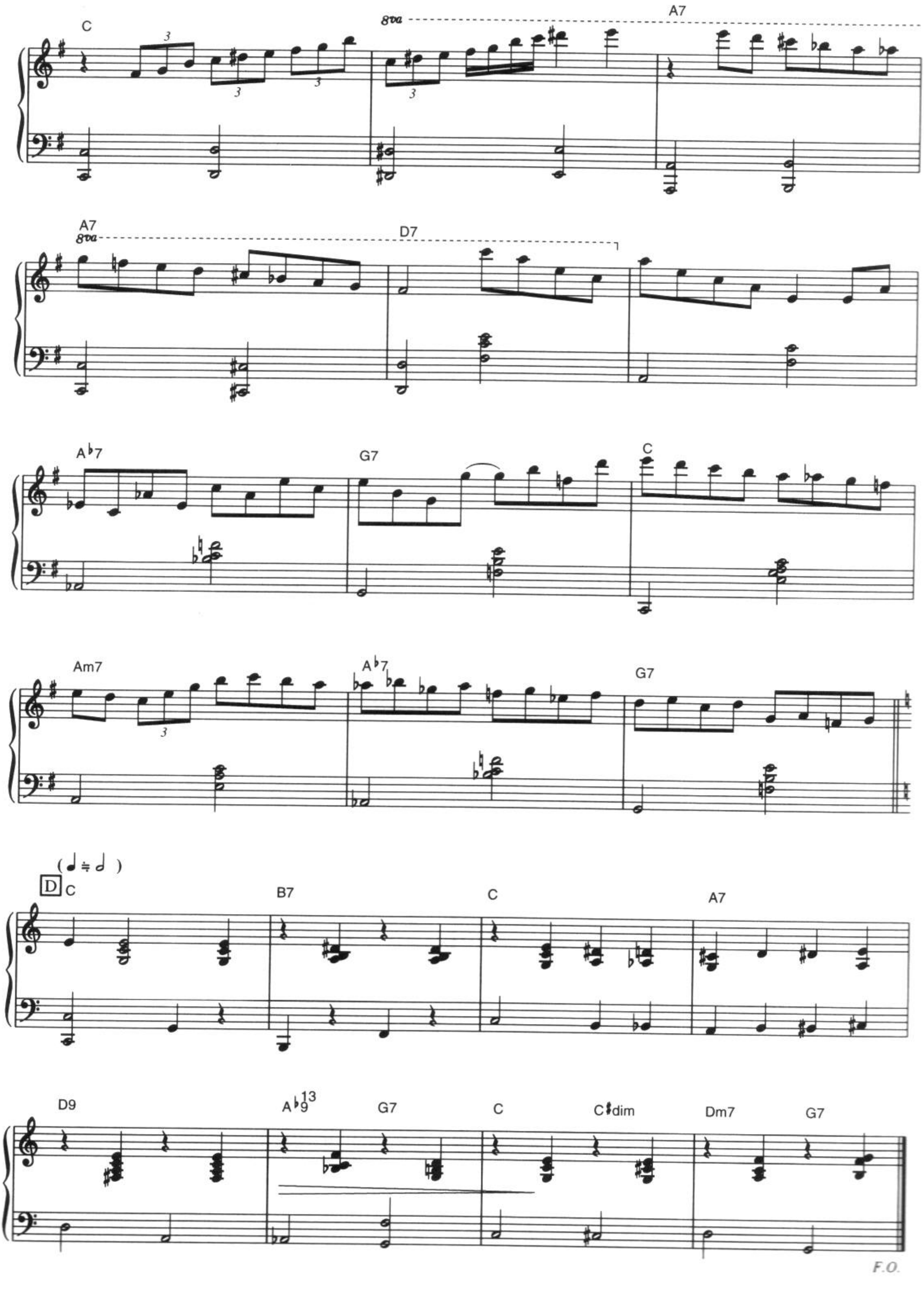
生き生き、楽しく演奏しましょう。…が、Aはまだ余裕でいけますね。B前１小節目左手オクターヴによる下降ラインでなにやら兆しが。そしてBから倍のテンポとなり、チャキチャキの跳躍が始まります。あわてず、ゆっくりリハーサルをしてみて下さい。可能な速さからチャレンジしていきましょう。左手伴奏は、スライド手法に体ごと慣れたいものですね。Dは、もとの早さに戻りF.O.です。




Em
B7
C7
B7
Em
A7
Dm7
G7
C
B7
C
8va
A7


D7
A♭7
G7
8va
C
C♯dim
Dm7
8va
G7
C
C
B7
C
A7
D7
A♭7
G7
C
B7


Em
C7
B7
B7
C7
B7
Em
A7
Dm7
G7
C
8va
B7
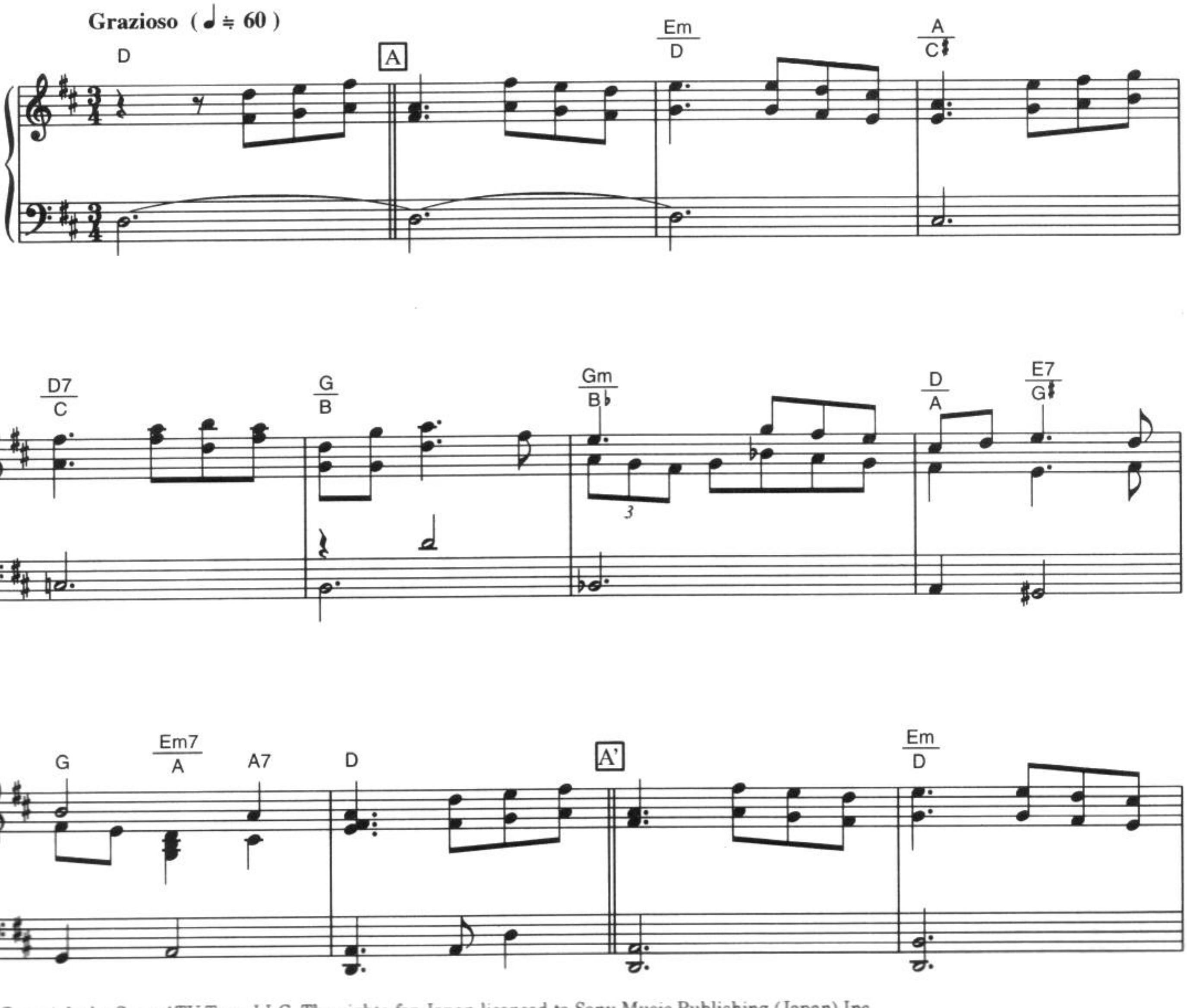

C
8va
A7
A7
8va
D7
A♭7
G7
C
Am7
A♭7
G7
D
C
B7
C
A7
D9
A♭9 13
G7
C
C♯dim
Dm7
G7
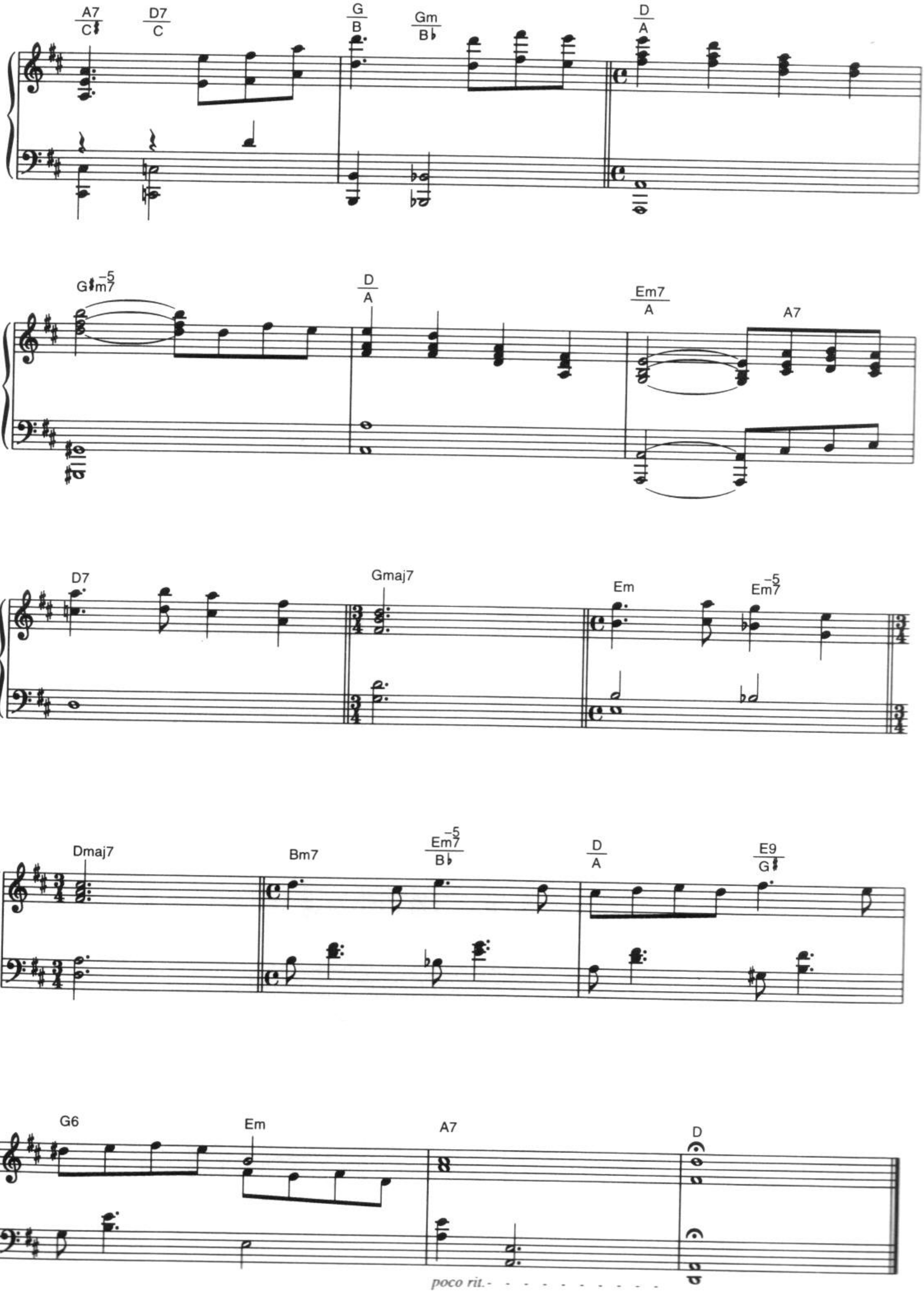
Silent Goodbye

【サイレント・グッドバイ】

music by Ennio Morricone

優雅に、どこか切ない調べを奏でます。美しい旋律に、思わず浸りきりモードですね。サスティンペダルと仲良く、なめらかに、おおらかに表現していきましょう。左手白玉は、よく響き渡る音、強いのではなく、深く、どこまでも伝わる音…そんなことを目指しながら弾いてみて下さい。
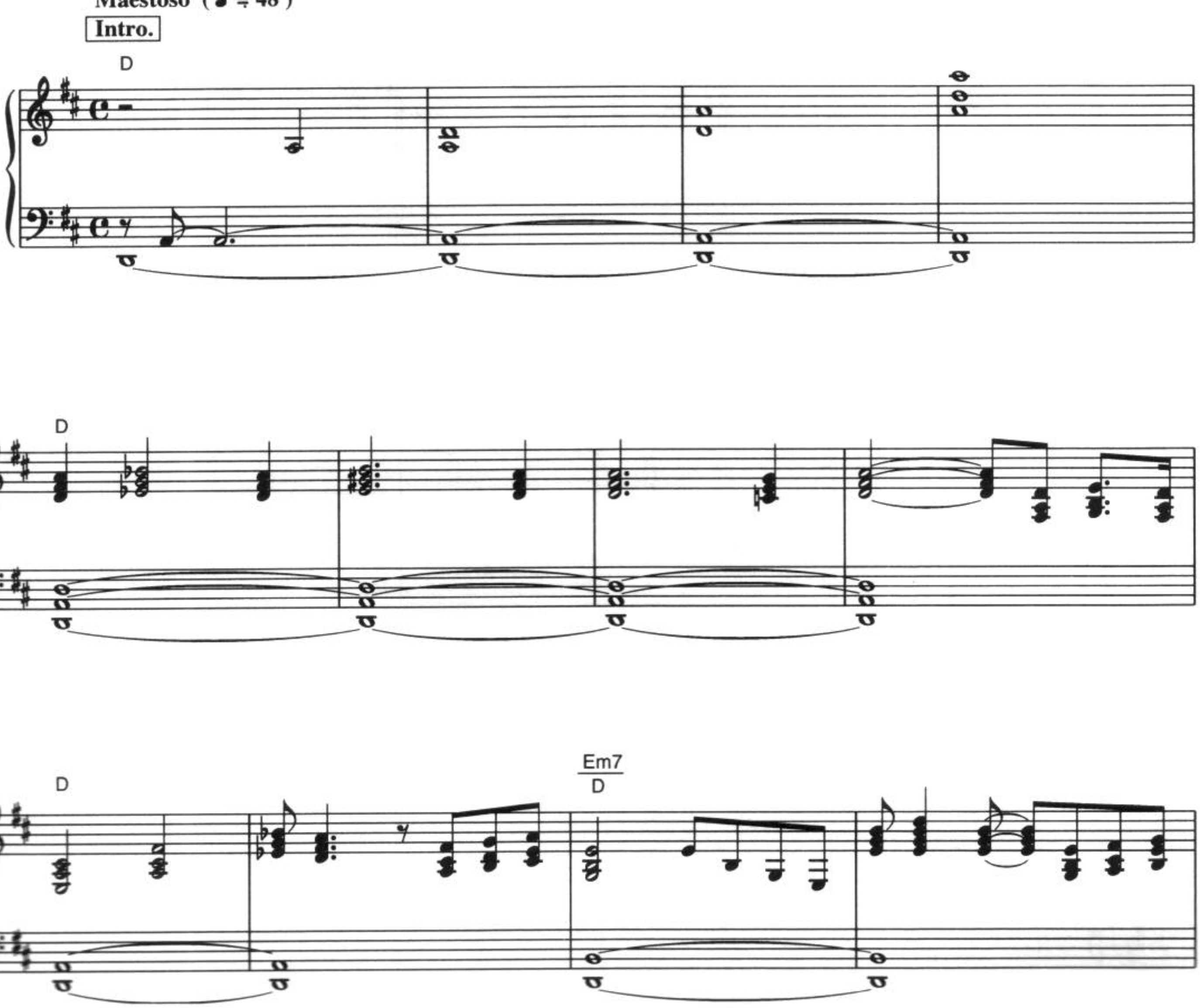



A7/C♯
D7/C
G/B
Gm/B♭
D/A
G♯m7-5
D/A
Em7/A
A7
D7
Gmaj7
Em
Em7-5
Dmaj7
Bm7
Em7-5/B♭
D/A
E9/G♯
G6
Em
A7
D
poco rit.
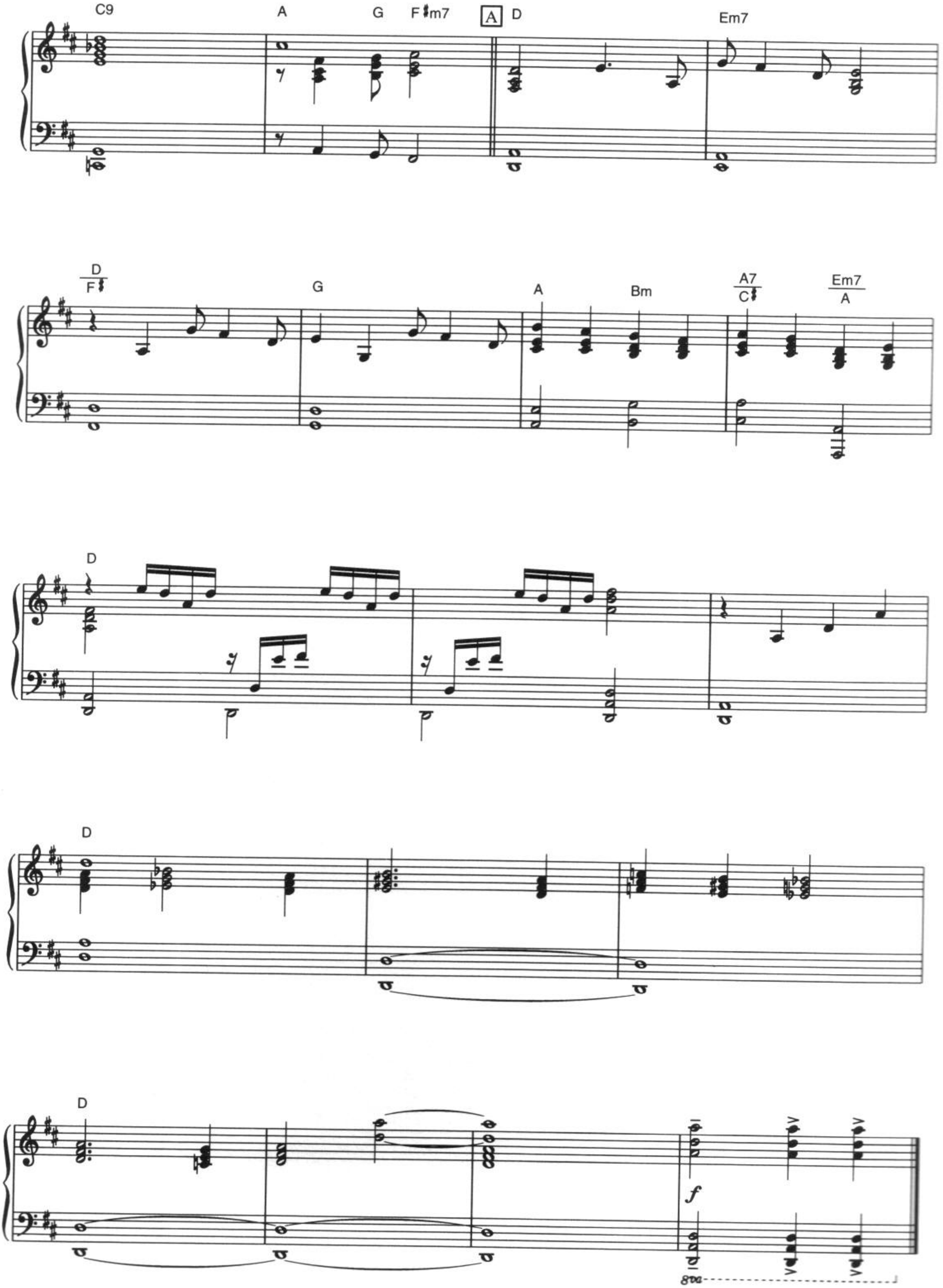
Ships and Snow

【シップス・アンド・スノウ】

music by Ennio Morricone

威厳さえ漂わせ、力強く、そして気品を持って進んでいきましょう。ピアノで白玉というのはなかなかムズカシイのですが、ストリングスの息の長い調べを思い描きながら深呼吸しつつ、ゆったり奏でましょう。5小節目からとエンディング近くにも出てきますが、ベース音Dで保持し、右手3和音が動いていくサウンド変化をじっくり味わってみて下さい。ラストは、印象的に、フォルテでしっかり鳴らします。地鳴りのようにズンッと。




C9
A
G
F♯m7
A
D
Em7
D/F♯
G
A
Bm
A7/C♯
Em7/A
D
D
D
f
8va

THE LEGEND OF 1900

1900's Theme 【"1900" のテーマ】

The Legend of the Pianist 【伝説のピアニスト】

The Crisis 【ザ・クライシス】

The Crave 【ザ・クレイヴ】

A Goodbye to Friends 【友との別れ】

Study for Three Hands 【3手のための練習曲】

Playing Love 【愛を奏でて】

A Mozart Reincarnated 【モーツァルト再来】

Child 【チャイルド】

1900's Madness #1 【"1900" マッドネス No.1】

Danny's Blues 【ダニーズ・ブルース】

Second Crisis 【セカンド・クライシス】

Peacherine Rag 【ピーチェリン・ラグ】

Nocturne with No Moon 【ノクターン・ウィズ・ノー・ムーン】

Before the End 【ビフォー・ジ・エンド】

Playing Love 【愛を奏でて（ピアノ編）】

I Can and Then 【アイ・キャン・アンド・ゼン】

1900's Madness #2 【"1900" マッドネス No.2】

Silent Goodbye 【サイレント・グッドバイ】

Ships and Snow 【シップス・アンド・スノウ】